

佐伯市環境に関するアンケート調査  
とりまとめ結果

平成 30 年 3 月

佐 伯 市



# 目 次

1	市民アンケート調査結果	
(1)	調査概要	1
1)	調査期間	1
2)	調査方法	1
3)	調査対象	1
4)	調査項目	1
5)	回収率	1
(2)	回答者の属性	1
(3)	調査結果	2
1)	環境問題への関心	2
2)	環境用語の認知度	3
3)	環境保全活動への参加	4
4)	身近な環境の満足度	6
5)	環境保全行動の実施状況、意向	31
6)	環境保全のために個人レベルでできそうな目標	33
7)	家庭でのエネルギー使用状況	37
8)	市の施策について	38
9)	環境への取り組み主体	41
10)	守るべき環境、改善すべき環境	42
11)	自由意見	48
2	事業者アンケート調査結果	
(1)	調査概要	61
1)	調査期間	61
2)	調査方法	61
3)	調査対象	61
4)	調査項目	61
5)	回収率	61
(2)	回答者の属性	61
(3)	調査結果	63
1)	環境保全対策の取組状況と今後の意向	63
2)	環境保全活動の実施状況	68
3)	環境保全活動への参加意向	77
4)	環境教育の実施状況	78
5)	環境マネジメントシステムについて	80
6)	省エネルギー設備・新エネルギー設備の導入状況	82
7)	環境行政への要望	84
8)	行政に提供してほしい環境情報	86
9)	自由意見	87

3	小中学生アンケート調査結果	
(1)	調査概要	90
1)	調査期間	90
2)	調査方法	90
3)	回答者属性	90
(2)	調査結果	91
1)	環境保全行動の実施状況	91
2)	佐伯市の環境のあるべき姿	92
3)	身近な環境の評価	94
4)	環境に関する言葉の認知度	103
5)	自由意見	105
4	高校生アンケート調査結果	
(1)	調査概要	107
1)	調査期間	107
2)	調査方法	107
3)	回答者属性	107
(2)	調査結果	108
1)	環境問題への関心	108
2)	環境用語の認知度	109
3)	身近な環境の満足度	110
4)	環境保全行動の実施状況、意向	123
5)	ごみの減量意向	125
6)	市の施策について	125
7)	自由意見	128

[資料編]

調査票

1.	市民アンケート調査票	(1)
2.	事業所アンケート調査票	(16)
3.	小中学生アンケート調査票 (小学生用)	(27)
4.	高校生アンケート調査票	(31)

# 1 市民アンケート調査結果

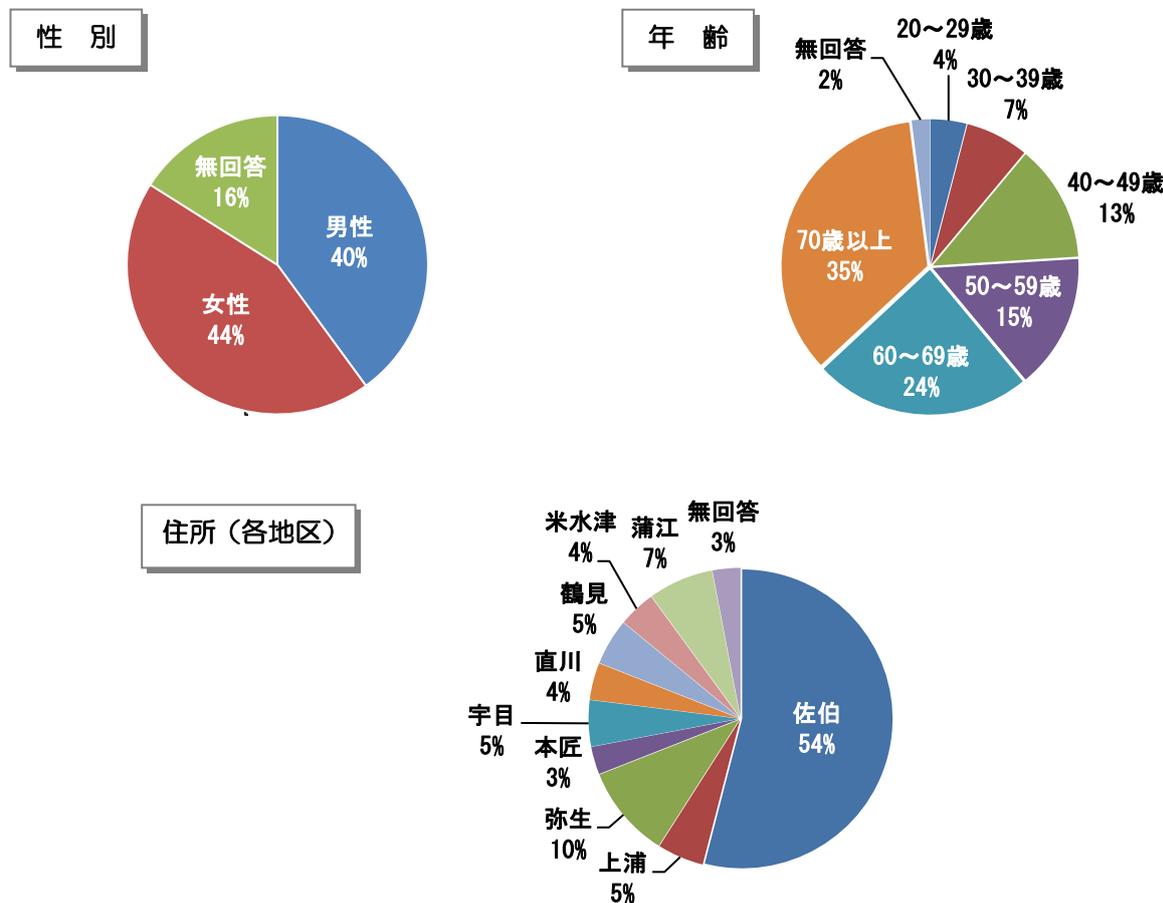
## (1) 調査概要

- 1) **調査期間**：平成 29 年 4 月 24 日発送（4 月 25 日～6 月 10 日：配布回収）
- 2) **調査方法**：郵送法
- 3) **調査対象**：旧市町村を単位とした各地区に 30 票ずつ計 270 票を割り振り、残り 1,730 票については、平成 29 年 2 月末時点の世帯数比で配分した。その結果、以下のように 2,000 世帯を決定した。その後、地区ごとに無作為に 20 歳以上の住民を抽出した。

区 分	佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	米水津	蒲江	合計
基本の割り振り	30	30	30	30	30	30	30	30	30	270
世帯数比で配分	1,085	50	152	34	68	48	79	47	167	1,730
配布数(計)	1,115	80	182	64	98	78	109	77	197	2,000
世帯数(平成 29 年 2 月末)	20,995	969	2,921	656	1,315	933	1,528	912	3,234	33,463

- 4) **調査項目**：基本計画策定時に実施した、平成 19 年度 4 月と平成 24 年 4 月及び今回のアンケート内容と比較をするため、同じ内容とし設問内容は変えていない。
- 5) **回収率**：
  - ※平成 29 年 35.4%（708 件/2,000 件） 前回比 2.1 ポイント（41 件）減
  - ※平成 24 年 37.5%（749 件/2,000 件） 前回比 2.9 ポイント（58 件）減
  - ※平成 19 年 40.4%（807 件/2,000 件）

## (2) 回答者の属性



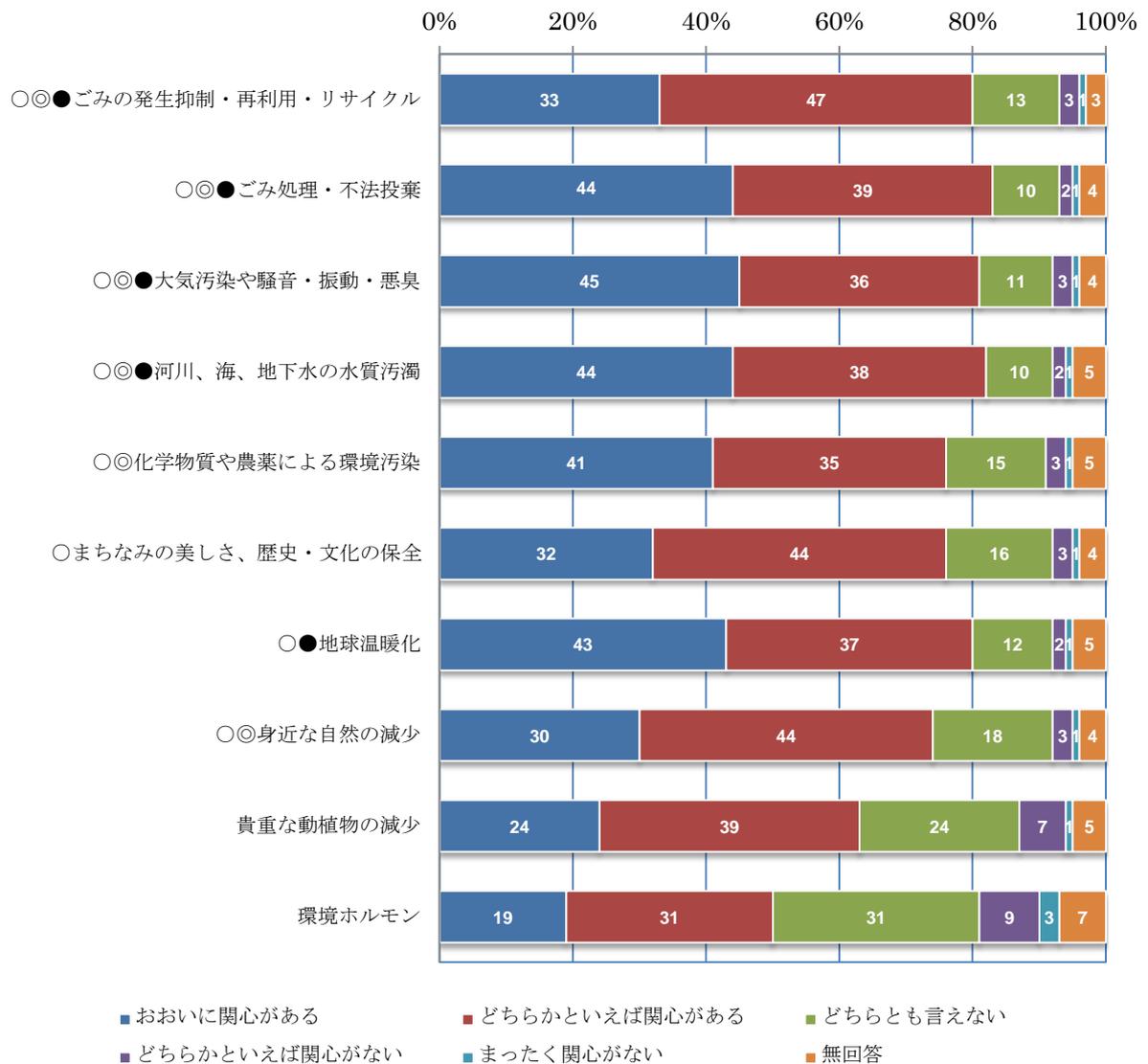
### (3) 調査結果

#### 1) 環境問題への関心

10 項目の環境問題について関心の度合いについて聞いたところ、前回・前々回と同様に 10 項目全てについて「おおいに関心がある」又は「どちらかといえば関心がある」と回答した人の割合が、「どちらかといえば関心がない」又は「全く関心がない」と回答した人の割合を上回っている。

また、「おおいに関心がある」又は「どちらかといえば関心がある」と回答した人の割合が 80%以上となっている項目は、10 項目の内、5 項目であった。(前回 6 項目・前々回 8 項目)

■ 環境に関することがらについての関心度

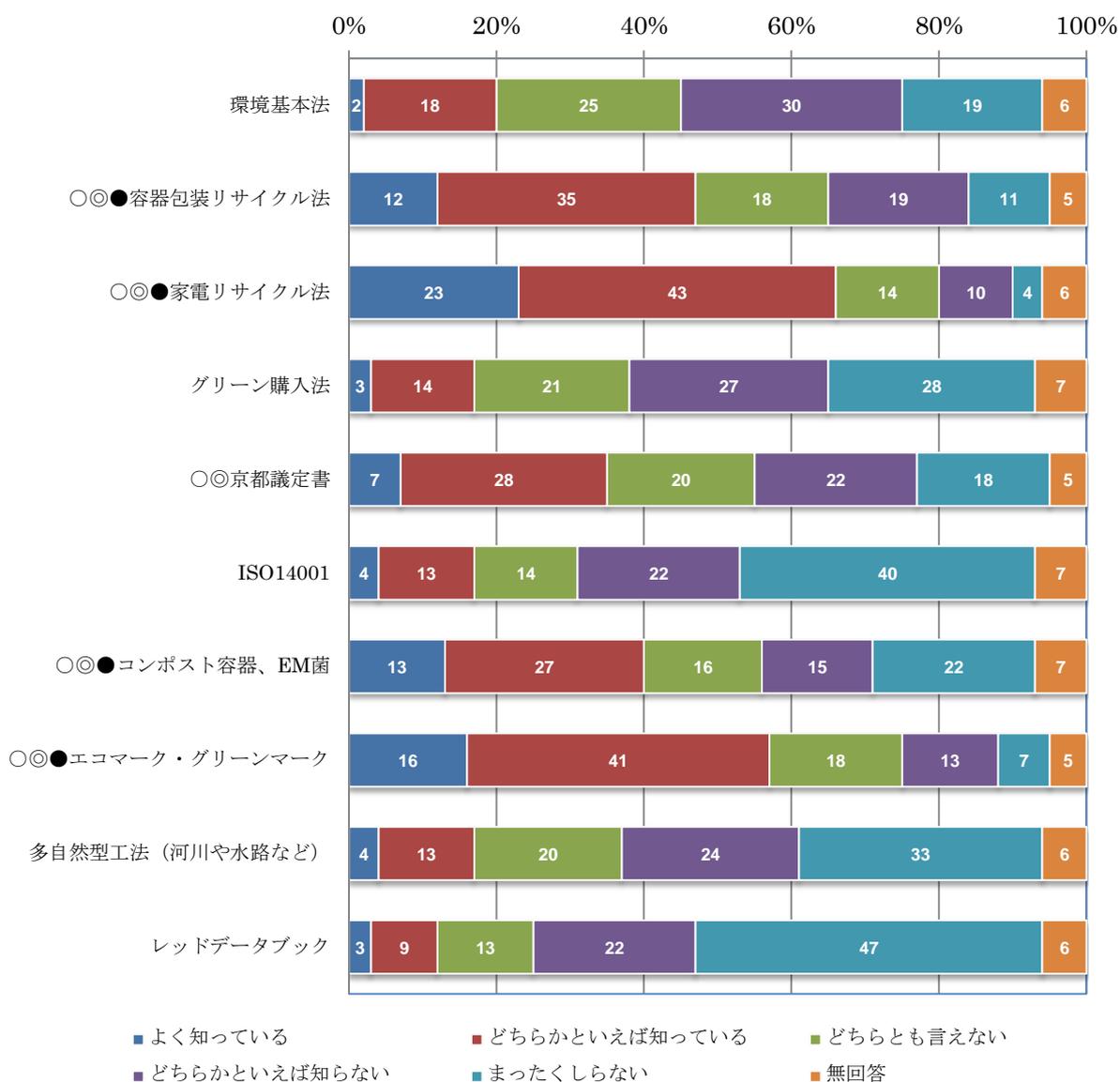


※「おおいに関心がある」又は「どちらかといえば関心がある」と回答した人の割合が 80%以上の項目に●(前回該当分は◎・前々回該当分○)をつけている。

## 2) 環境用語の認知度

10項目の環境に関する用語について認知度を聞いたところ、前回と同じ4項目について「よく知っている」又は「どちらかといえば知っている」と回答した人の割合が、「どちらかといえば知らない」又は「まったく知らない」と回答した人の割合を上回っている。「よく知っている」又は「どちらかといえば知っている」と回答した人の割合が高い項目としては、「家電リサイクル法（約66%：前回比16ポイント・前々回比7ポイント減）」、「エコマーク、グリーンマーク（約57%：前回比15ポイント減・前々回比2ポイント増）」、「容器包装リサイクル法（約47%：前回比7ポイント・前々回比9ポイント減）」の順となっている。

### ■ 環境用語についての認知度



※「よく知っている」又は「どちらかといえば知っている」と回答した人が「どちらかといえば知らない」又は「全く知らない」と回答した人の割合を上回る項目に●（前回該当分は◎・前々回分は○）をつけている。

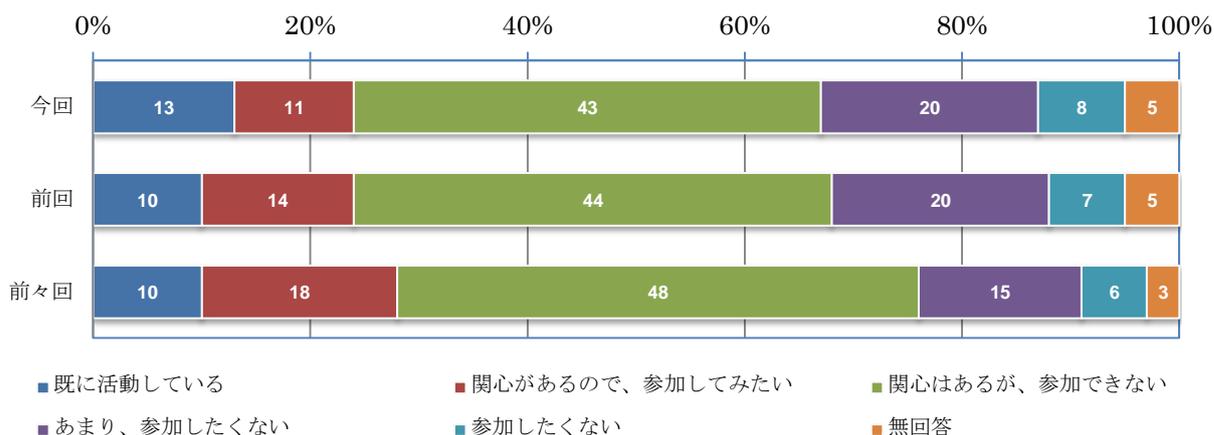
### 3) 環境保全活動への参加

環境保全活動への参加意向について聞いたところ、「既に活動している」が13%（前回比・前々回比3ポイント増）、「関心があるので参加してみたい」が約11%（前回比3ポイント減・前々回比7ポイント減）となっている。「関心はあるが、参加できない」は約43%（前回比1ポイント減・前々回比5ポイント減）、「あまり参加したくない」又は「参加したくない」をあわせて約28%（前回比1ポイント増・前々回比7ポイント増）となっている。

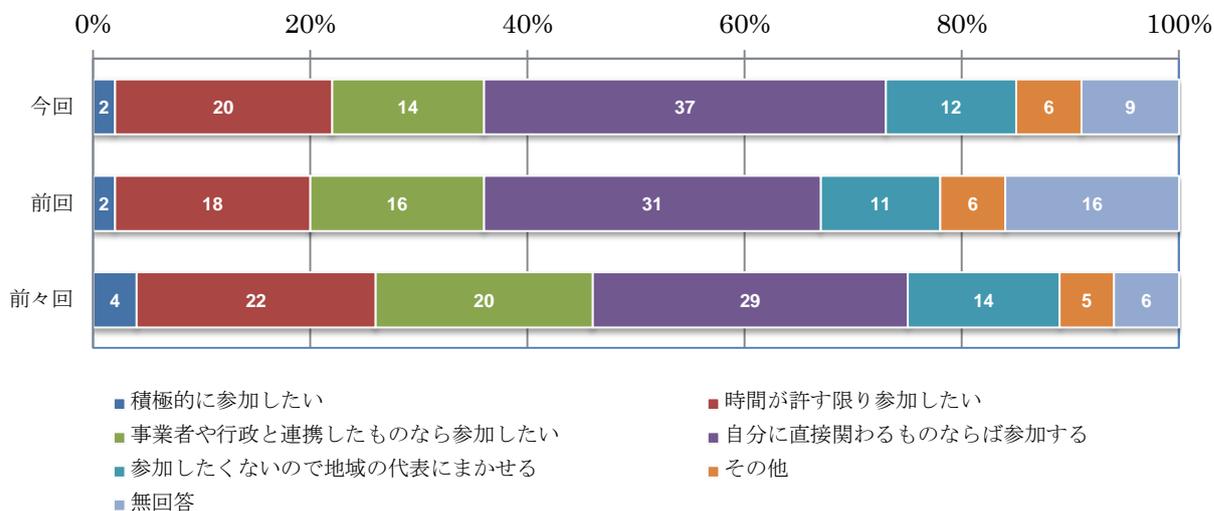
既に活動している人に対して、活動内容を聞いたところ、多いものは、「買い物袋の持参やグリーン購入（77%：前回比12ポイント増・前々回比48ポイント増）」、「花壇作りや植樹などの緑化活動（30%：前回比2ポイント増・前々回比5ポイント増）」「生ごみの堆肥化（28%：前回比11ポイント減・前々回比17ポイント減）」の順となっている。また、既に参加している人に加え、今後参加してみたい人や関心がある人に対して、活動してみたい内容を聞いたところ、「買い物袋の持参やグリーン購入（49%：前回比9ポイント減・前々回比4ポイント増）」、「地域の清掃活動（42%：前回比3ポイント減・前々回比2ポイント減）」、「花壇作りや植樹などの緑化活動（36%：前回比4ポイント減・前々回比2ポイント減）」の順となっている。

平成21年6月に開始された、レジ袋の有料化により、買い物袋を持参する人が前回調査時より減少している。（H24.4の佐伯市のレジ袋持参率：86.7%・H29.4 レジ袋持参率：84.9%）

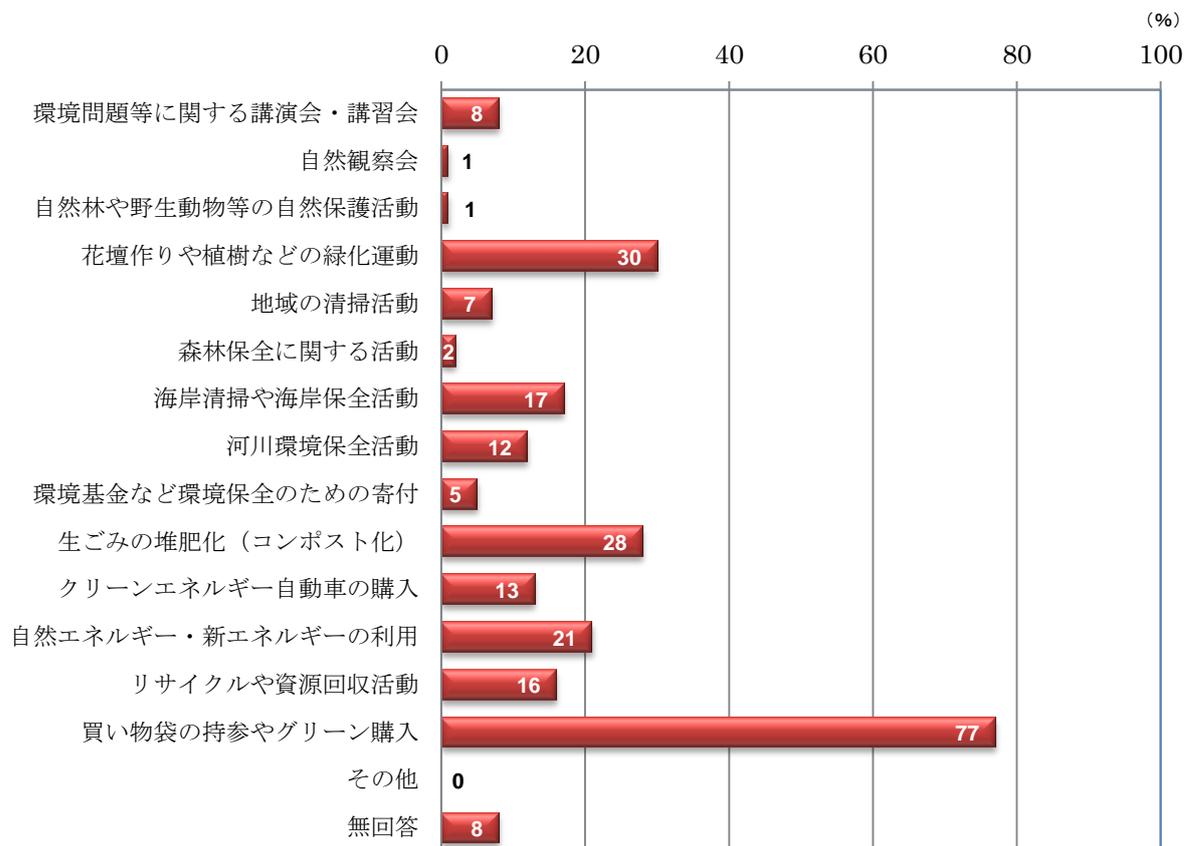
#### ■ 環境保全活動への参加の意向



#### ■ より良い環境のための市民活動への参加の意向

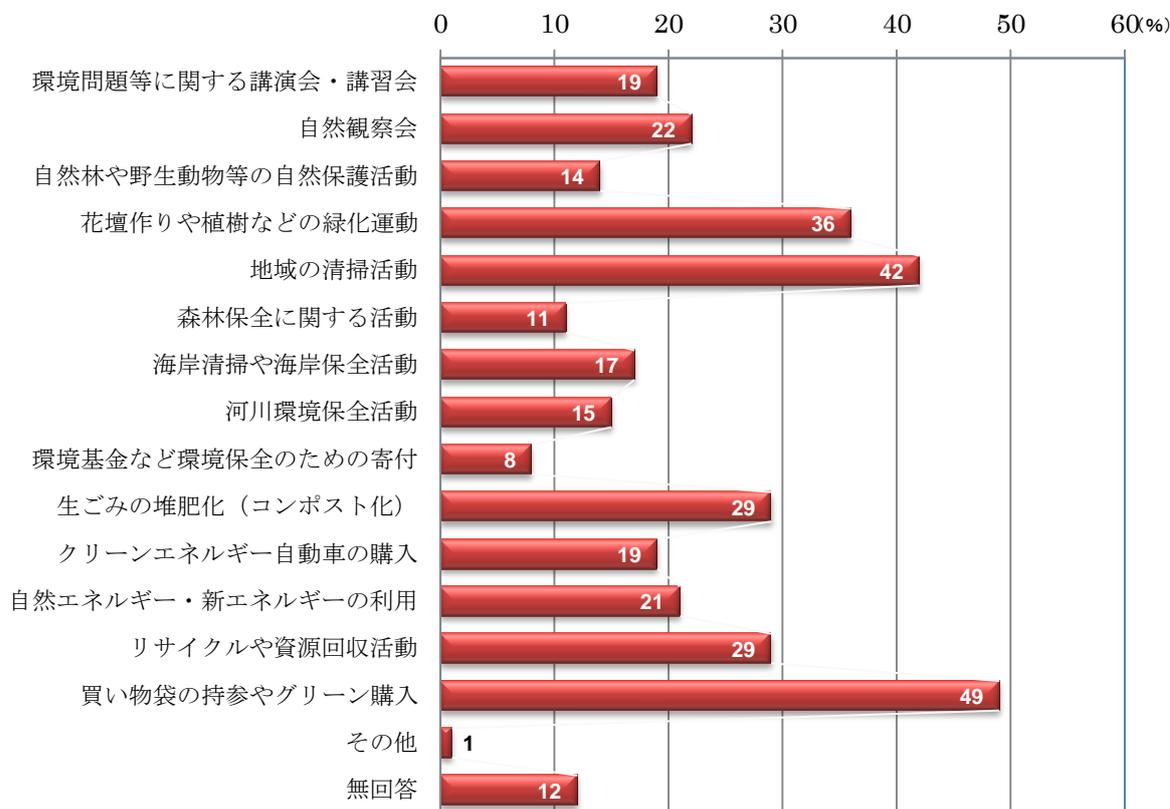


■ 現在の活動内容（既に活動している人のみに質問）



回答数: 95 人

■ 今後参加してみたい活動内容（既に活動している人、今後参加してみたい人、関心がある人に質問）



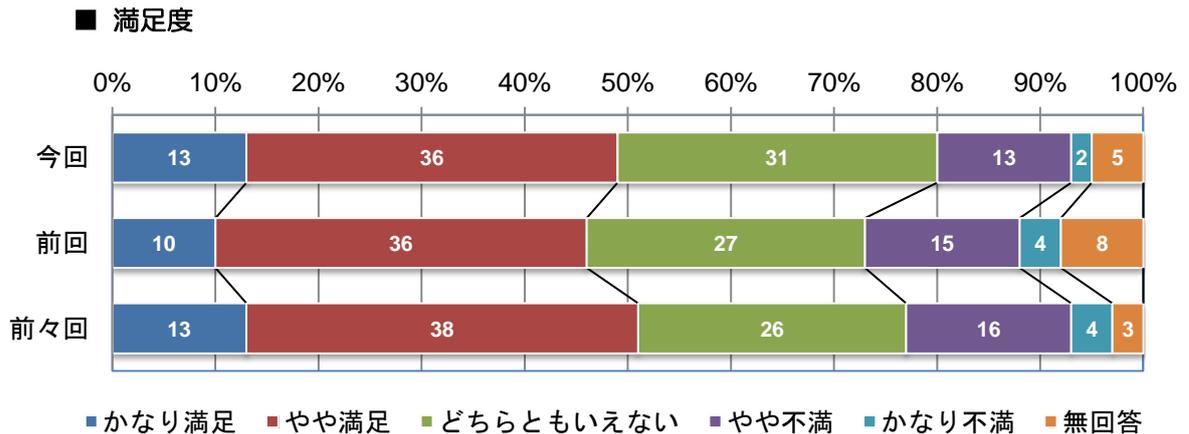
回答数: 477 人

## 4) 身近な環境の満足度

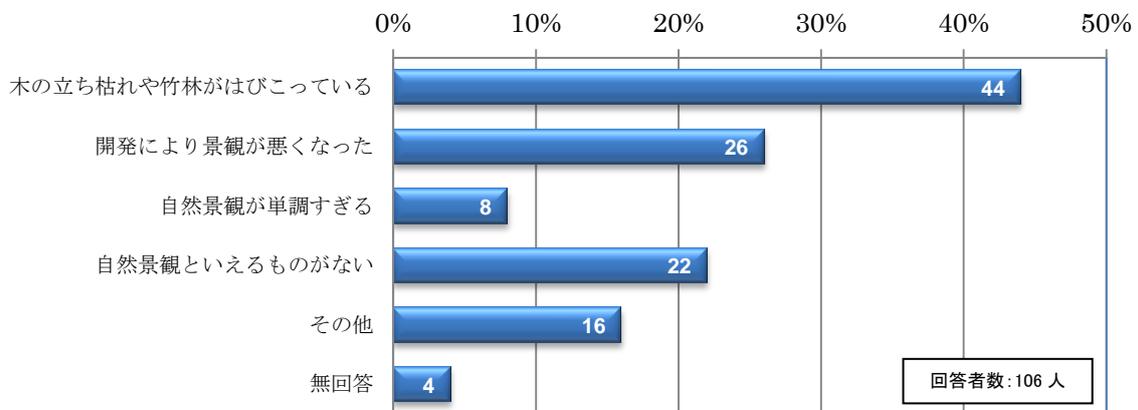
### ① 自然景観、農村景観の美しさ

自然景観、農村景観の美しさについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計約 49%（前回比 3 ポイント増・前々回比 2 ポイント減）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の割合（合計約 15%：前回比 4 ポイント減・前々回比 5 ポイント減）を上回っている。

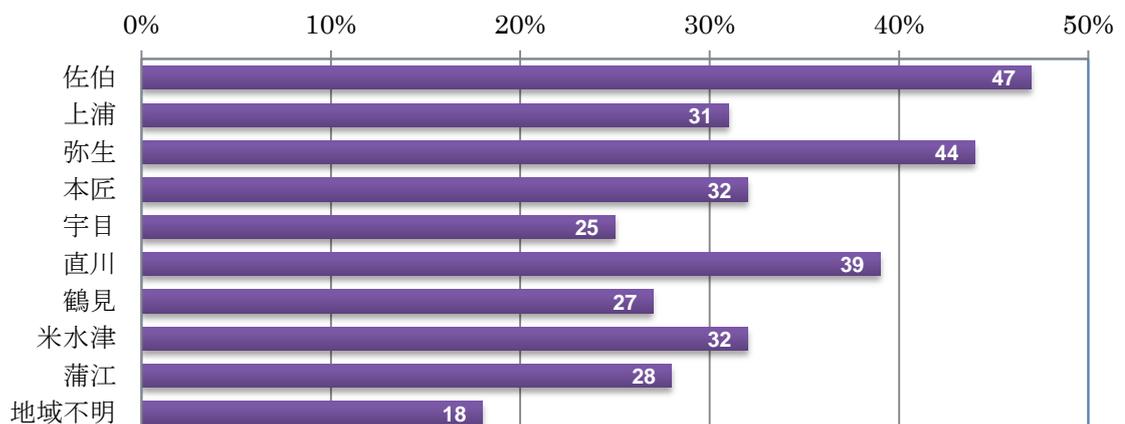
住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「佐伯」が最も高く、次いで「弥生」、「直川」の順となっている。



### ■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



### ■ 住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



■ 不満の原因で【その他】と回答した理由

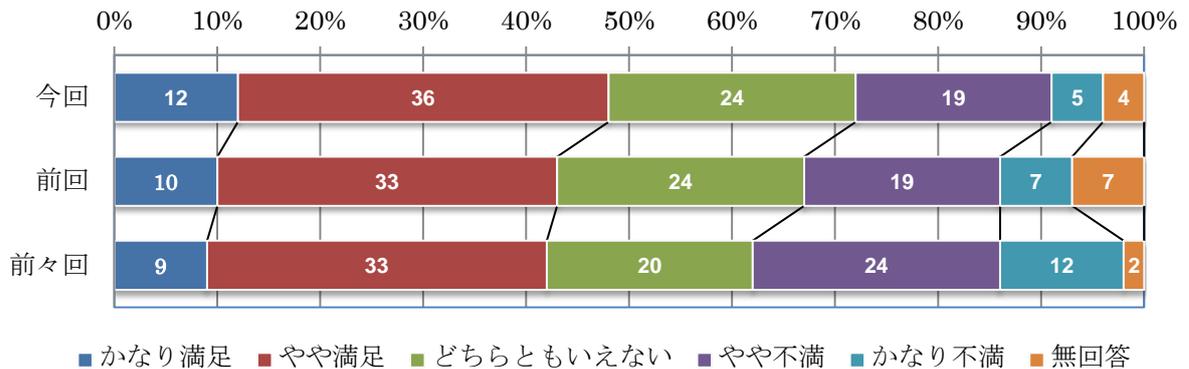
街路樹等増やしてはどうか。
ごみの不法投棄が多い。
海岸の漂流物の増加。
空き家放棄・車両放置。
空き家・空室の片づけ。
空き家、古い看板など、撤去されていない古いものが景観を損ねていると思う。
街路樹や植木はもっとこまめに手入れした方がよい。
農地の耕作放棄。
道路横などの草。
ごみの不法投棄。ポイ捨て。
山の近くで木の葉が落ちている。
冬は暖房の音がうるさい。ビニールハウスが目の前にズラリ。
自宅近くに山がある。
手入れをしない場所が多い。
夏になると牛糞の臭いがひどい。
壊れかけた空き家が放置されている。
隣が全て空き家で木が茂っていて、ハクビシン・ヘビ・ムカデが多くなった。
昔のように誰も手を入れない。
雑草の手入れ。

## ② 川や池、海の水のきれいさ

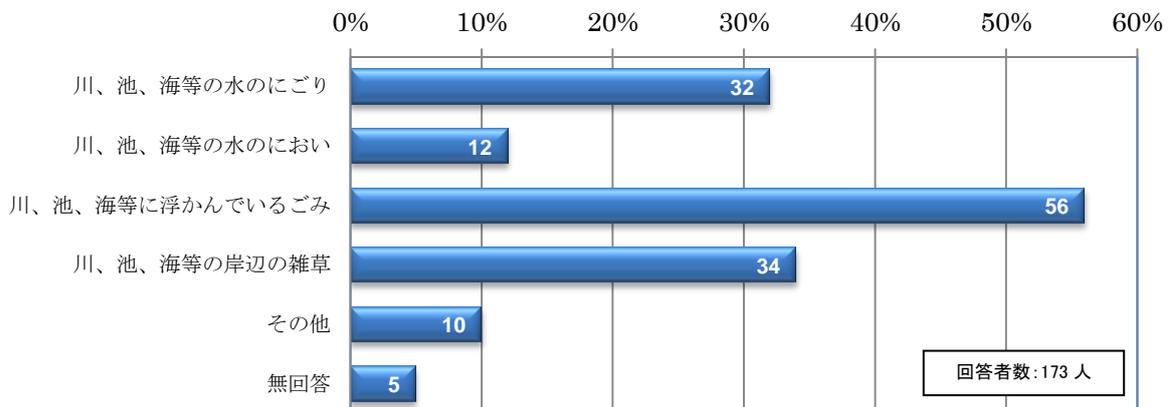
川や池、海の水のきれいさについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計約48%（前回比5ポイント増・前々回比6ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の割合（合計約24%：前回比2ポイント減・前々回比12ポイント減）を上回っている。

住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「上浦」及び「本匠」が同率で最も高く、次いで「弥生」の順となっている。

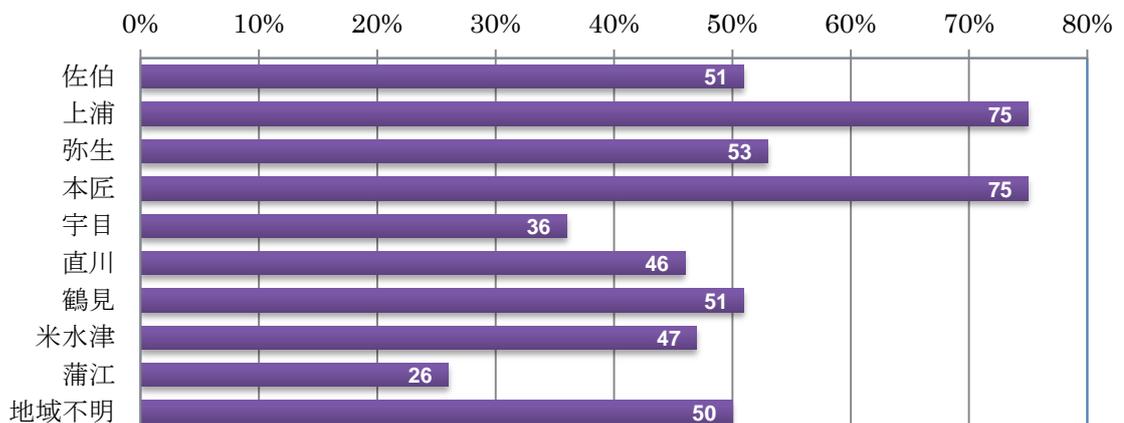
### ■ 満足度



### ■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



### ■ 住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



■ 不満の原因で【その他】と回答した理由

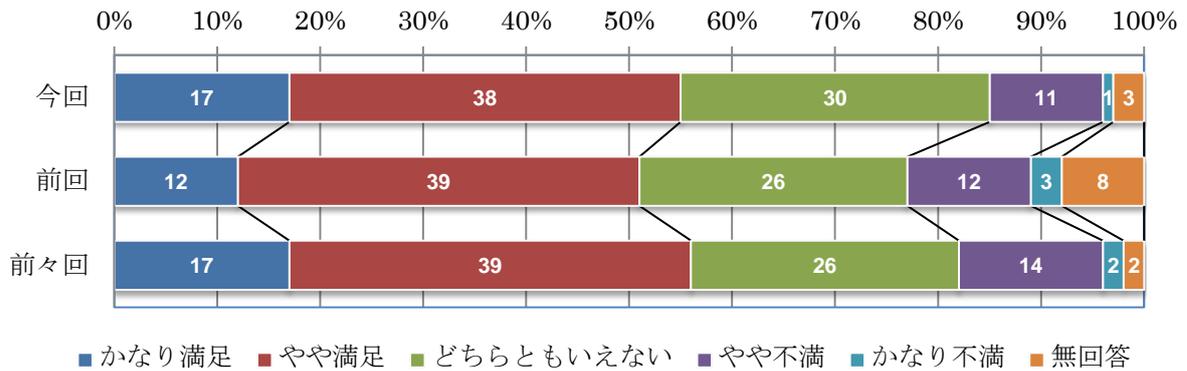
番匠のゴルフ場の跡地を、グラウンドゴルフ場などに活用しては。
水路にいつも水を充たしてほしい。
土砂等の堆積がひどい。(ボランティアでは限界がある)
餌の油。
海にごみを捨てる人がいる。
ドブ川になっている所は掃除してほしい。
川の上流の採石場からの土砂の流入。
川はあしが多すぎて川の美がない。
台風の時など、流木や雑草が沢山流れてきて困る。
ヨシゴばかり。
溝の水が汚い。
川に砂利が溜り水位が上がる。
海の生物が少なくなっている。
沼が多い。
森林伐採時の山道造りによる河川川床の上埋。
ごみの不法投棄。ポイ捨て。

### ③ (樹木、草花) とのふれあい

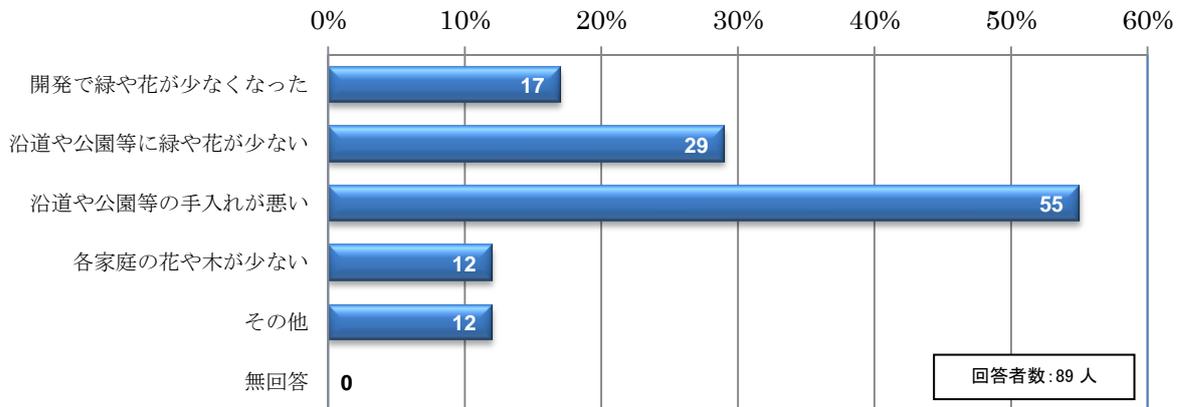
緑とのふれあいについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計約 55%（前回比 4 ポイント増・前々回比 1 ポイント減）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の割合（合計約 12%：前回比 3 ポイント減・前々回比 4 ポイント減）を上回っている。

住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「本匠」最も高く、次いで「鶴見」、「上浦」の順となっている。

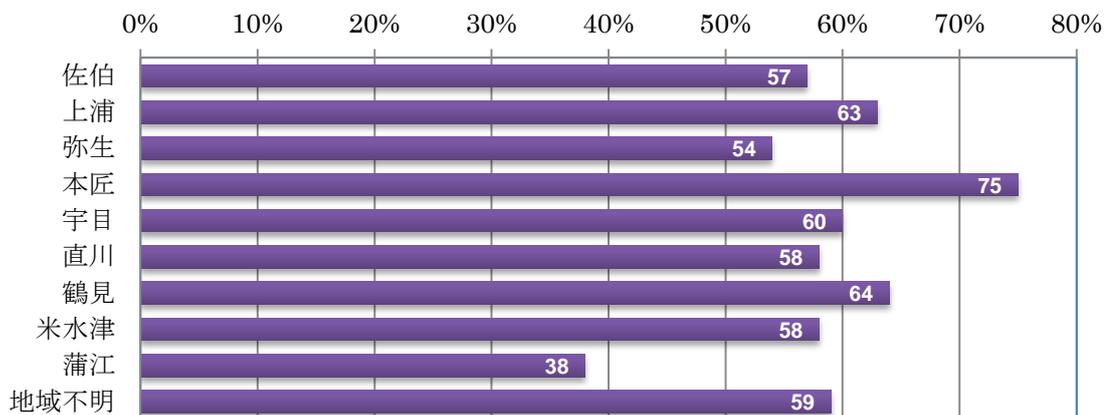
#### ■ 満足度



#### ■ 不満の原因 (やや不満、かなり不満と回答した人)



#### ■ 住まい (地区) 別の満足度 (「かなり満足」+「やや満足」の割合)



■ 不満の原因で【その他】と回答した理由

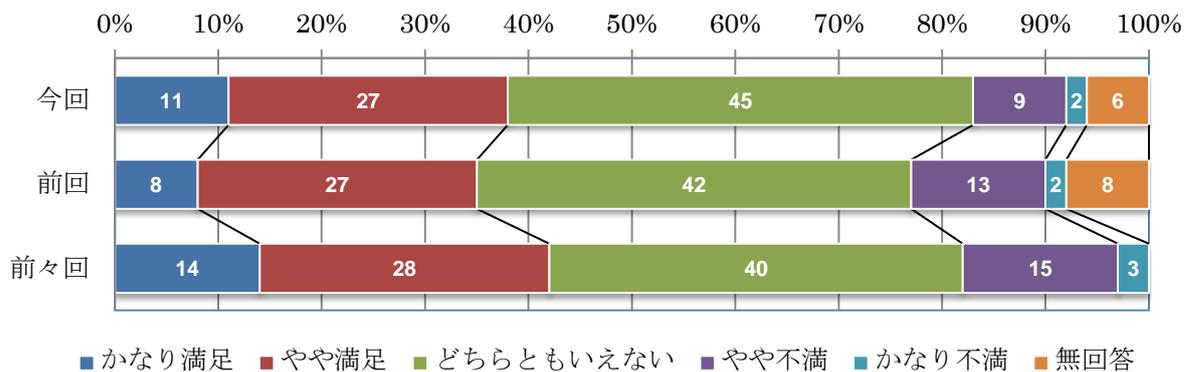
老人が出て手入れしますから大変です。
自分で草花を造り土手等にツツジを植えている。
野鳥や昆虫と触れ合うチャンスがない。
公園がない。
杉の材授で水が出れば楽しい。
沿道の木々が伸びっぱなし。
番匠川沿いに桜の木があればいいのに。残念。 桜の時期、期間を決めて佐伯小学校から養賢寺までの桜があるところを夜桜見物用にライトアップしてほしい。街灯だけでは物足りない。
シカの館。
沿道の木はいらない。
施設等の整備をする際、必要以上に植樹の伐採がされているように思う。
個人の自由だと思います。
杉などの木が一時的に小範囲で切られている地域がある。
せっかくきれいな花が草で覆われていてもったいない。草刈りを沢山してほしい。

#### ④ 野鳥や昆虫とのふれあい

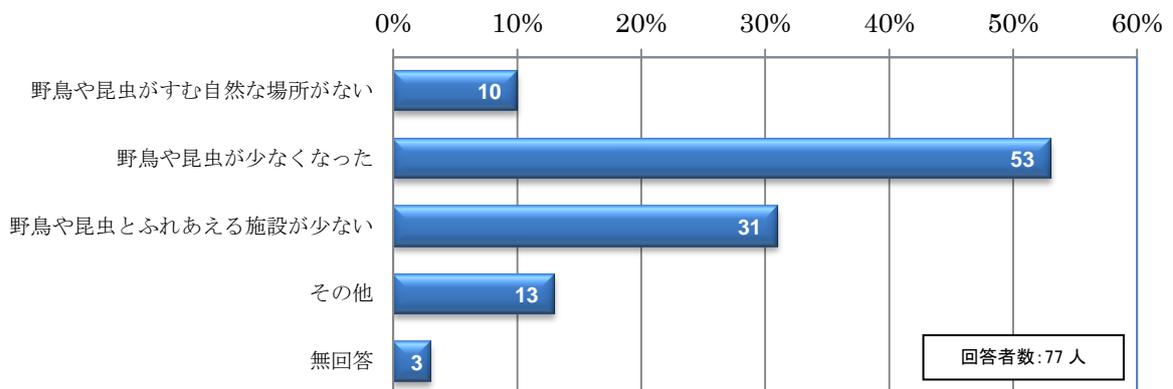
野鳥や昆虫とのふれあいについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計約 38%（前回比 3 ポイント増・前々回比 4 ポイント減）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の割合（合計約 11%：前回比 4 ポイント減・前々回比 7 ポイント減）を上回っている。

住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「本匠」最も高く、次いで「直川」、「米水津」の順となっている。

##### ■ 満足度



##### ■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



##### ■ 住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



■ 不満の原因で【その他】と回答した理由

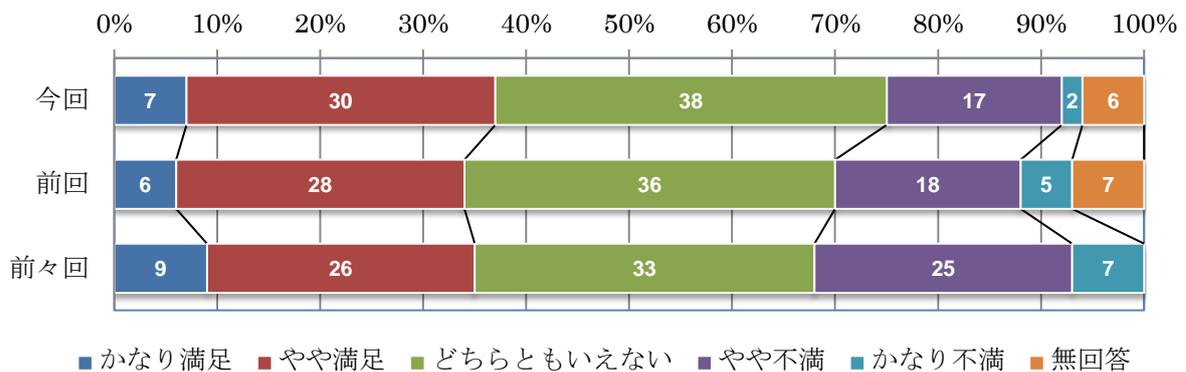
野鳥や昆虫は好きでない。
ヒヨドリが豆を食べるから大変です。
フランスカモが増えて、フナやコイが減った
いたずらカラスが多い。
ホタルなどが少なくなった。
野鳥と昆虫に野菜を荒される。
虫の鳴き声、鳥の鳴き声がとても良い。
家の近くで野鳥や虫が多い。
公園の近くですが、虫や昆虫がいない。
ハチ・蚊が多い。野鳥の糞害。

## ⑤ 水や水辺とのふれあい

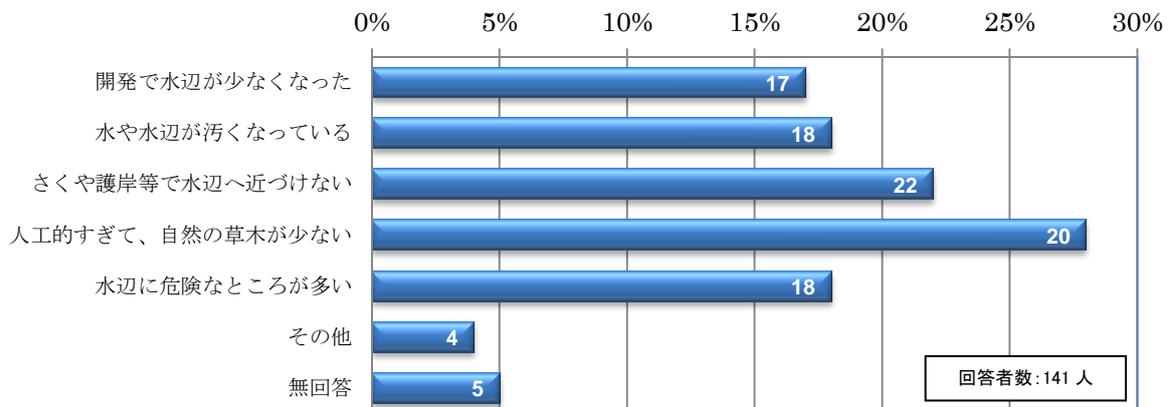
水や水辺とのふれあいについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計約 37%（前回比 3 ポイント増・前々回比 2 ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の割合（合計約 19%：前回比 4 ポイント減・前々回比 13 ポイント減）を上回っている。

住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「本匠」最も高く、次いで「上浦」、「直川」の順となっている。

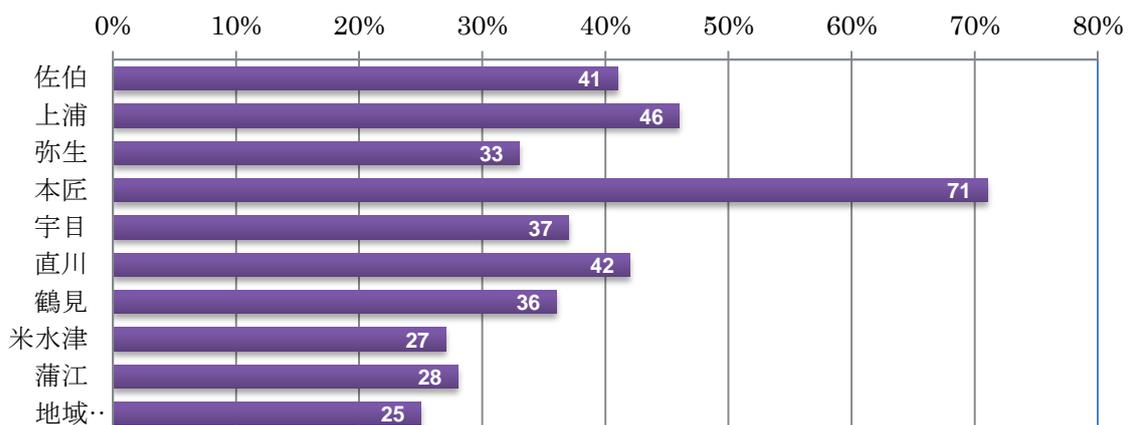
### ■ 満足度



### ■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



### ■ 住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



■ 不満の原因で【その他】と回答した理由

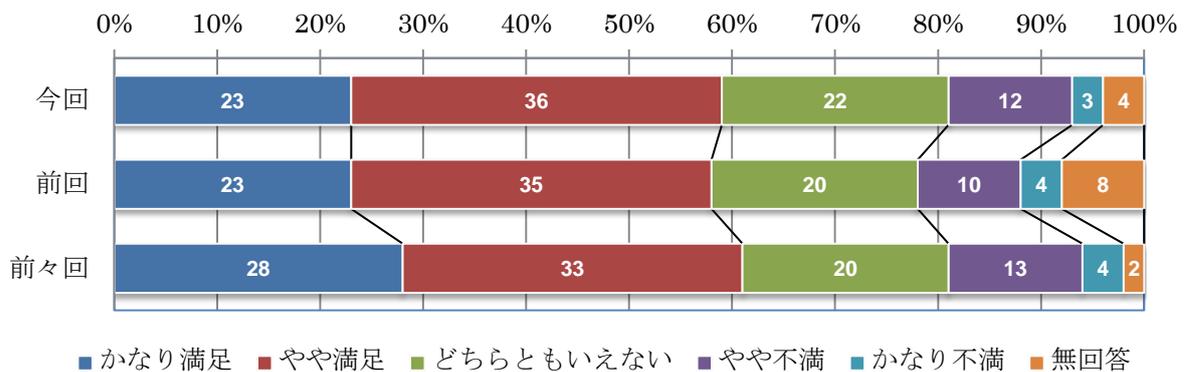
市の浄化作業が少ない。
以前は、番匠川の中でしじみを少しだけ取って楽しかったが、今は川に入ることができない。
下水処理があまい。
河床が上がってヨシゴが多くなっている。
生き物が減った。
谷川の水が少なくなっている。10年ほど前は流れていましたが、今はほとんど流れない谷川もあります。

## ⑥ 空気のきれいさ・におい

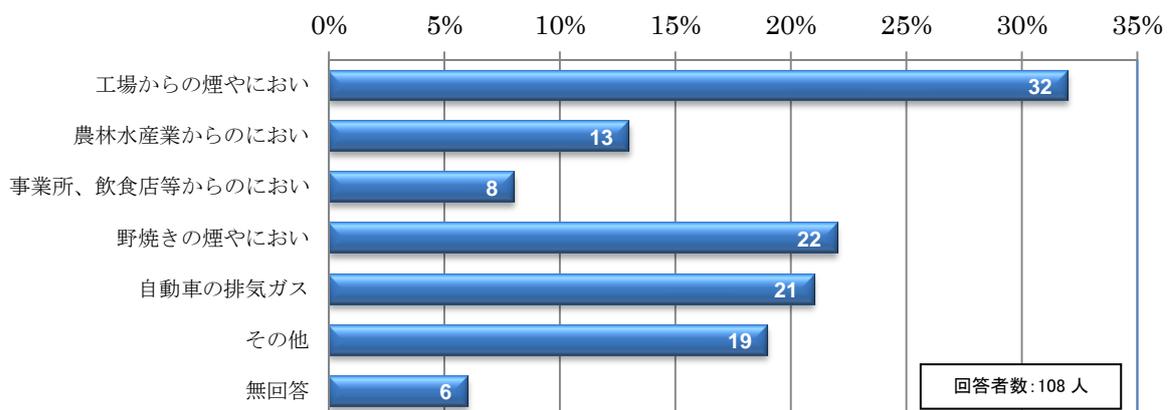
空気のきれいさ・においについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計約 59%（前回比 1 ポイント増・前々回比 2 ポイント減）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の割合（合計約 15%：前回比 1 ポイント増・前々回比 2 ポイント減）を上回っている。

住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「本匠」最も高く、次いで「上浦」、「地域不明」の順となっている。

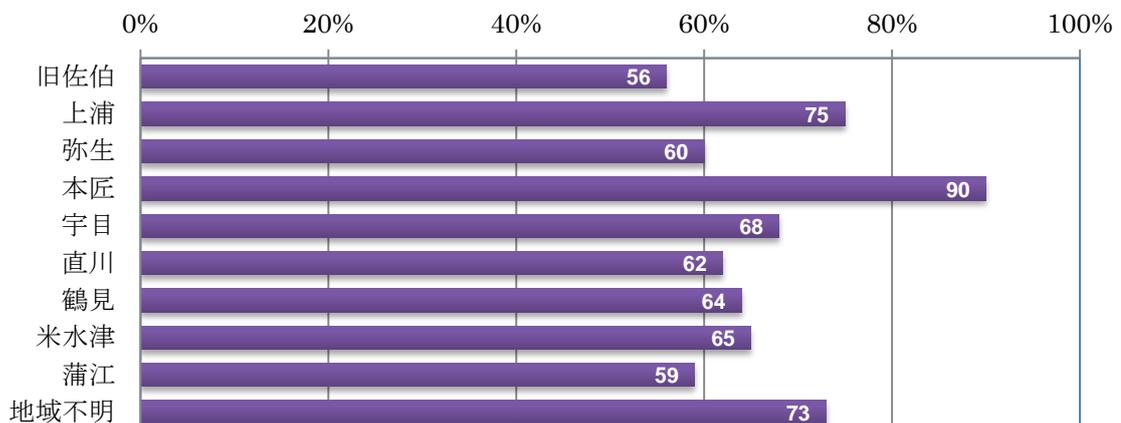
### ■ 満足度



### ■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



### ■ 住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



■ 不満の原因で【その他】と回答した理由

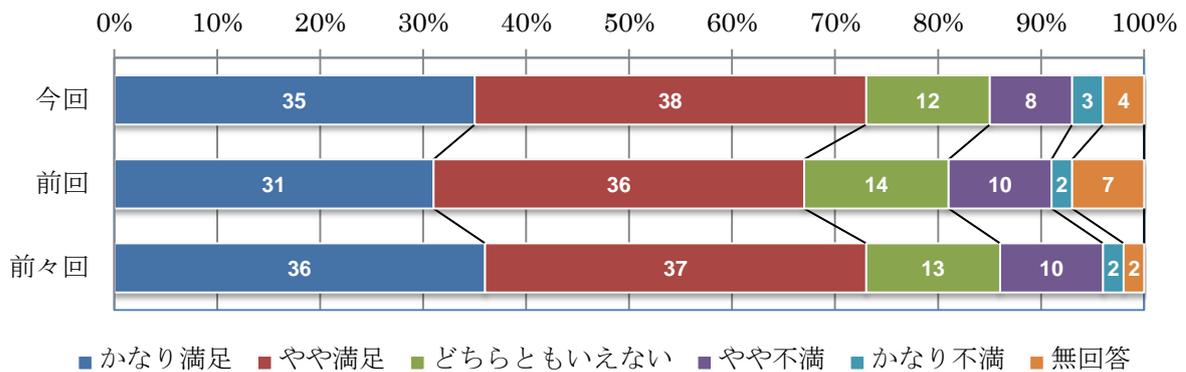
土ほこりが多い。
個人的にごみを焼いている方がまだまだいます。ごみ袋代がもったいないようです。
鶏舎からの臭い。死骸を焼却する時の臭い。
牛小屋からの異臭。
堆肥の臭い。
産廃の臭いがきつい。
PM2.5。黄砂
PM2.5。いつも「やや多い」から「多い」で不安。
養鶏場の臭い。
女島の臭さは異常。もう少しどうにか……。
全部あてはまらない。
PM2.5(登山等遠くが見えない)。
海や川の臭い。
家庭でビニール・プラスチックを焼く人がいる。
空気が悪い。
コインランドリーの臭い。

## ⑦ 周辺の静けさ

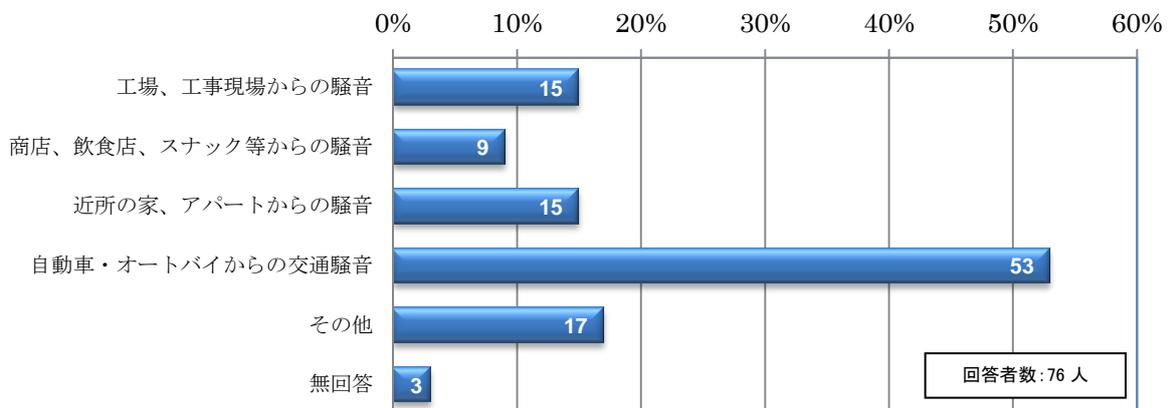
周辺の静けさについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計約 73%（前回比 6 ポイント増・前々回同ポイント）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の割合（合計約 11%：前回・前々回共に 1 ポイント減）を上回っている。

住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「本匠」最も高く、次いで「米水津」、「上浦」の順となっている。

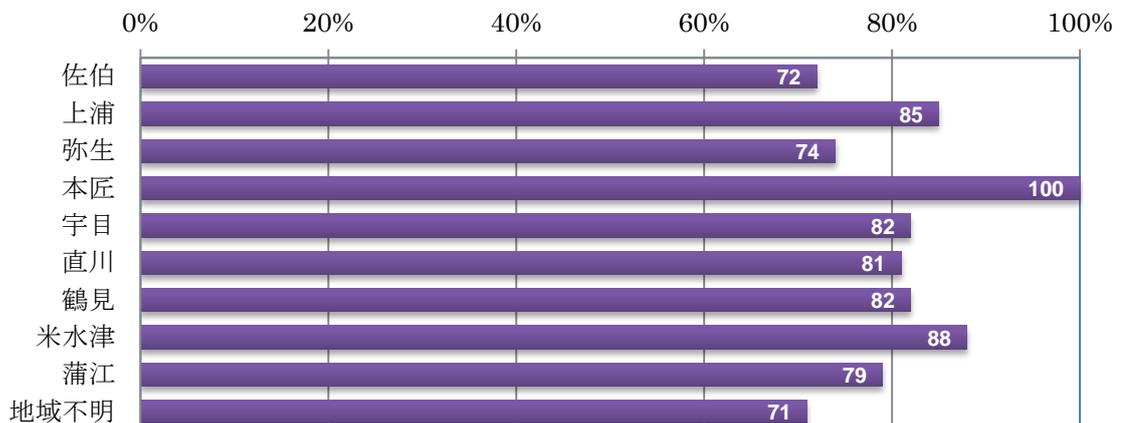
### ■ 満足度



### ■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



### ■ 住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



■ 不満の原因で【その他】と回答した理由

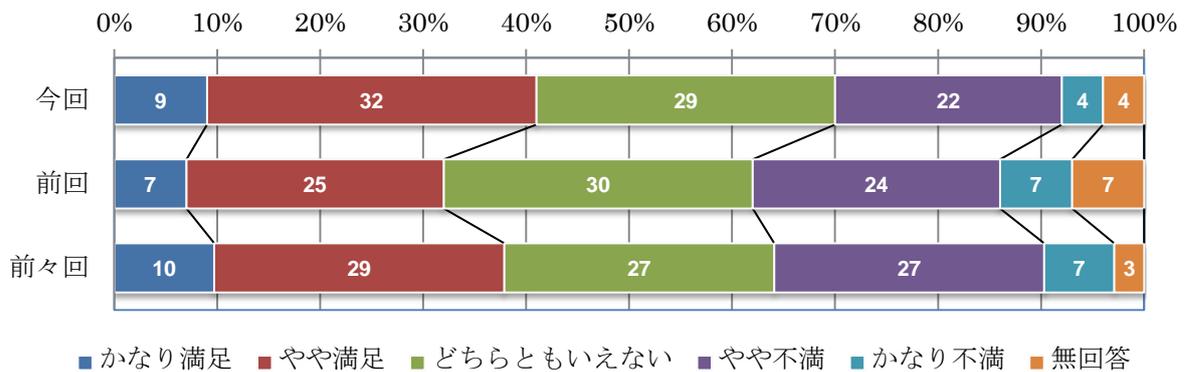
JRと母親の物音など。
週末、夏などバイクがたむろする所がある。
東九州自動車道の騒音。
増えたコンビニの駐車場。夜中でもうるさい。選挙カーは廃止した方がよいと思う。
時々、オートバイの騒音。
全部あてはまらない。
近所の子供が道路で遊ぶ。何度も注意しても聞かない。
自宅周辺。
救急車・警察。
交通量の多い所に住んでいるので、仕方がないと思うがやっぱりうるさい。
ハウス暖房の音。
小学生の自転車での道路への飛び出し。家の前で19時前まで遊んでいる。公園などで遊べる場所があればと思う。
道路に面しているのしかたないのですが、たまに爆音の車・バイク等。

## ⑧ まちなみ景観の美しさ

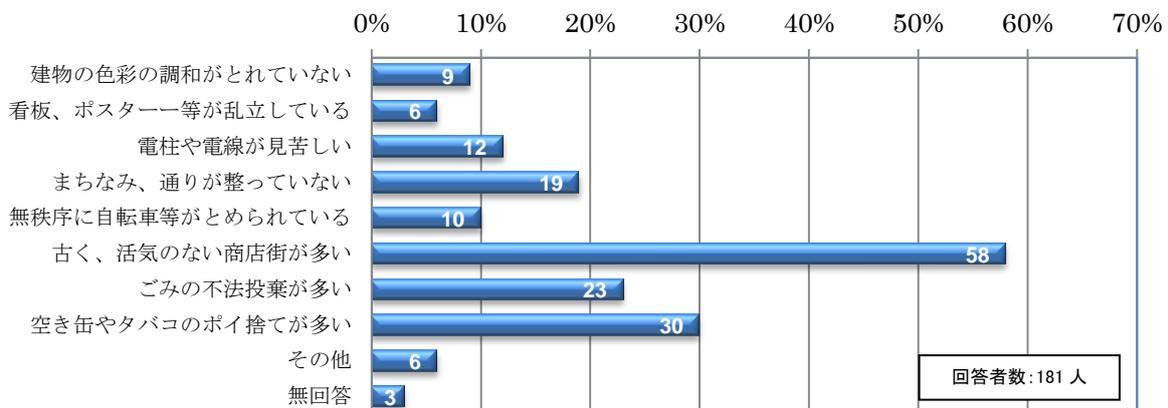
まちなみ景観の美しさについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計約41%（前回比9ポイント増・前々回比2ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の割合（合計約26%：前回比5ポイント減・前々回比8ポイント減）を上回っている。

住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「本匠」最も高く、次いで「鶴見」、「上浦」の順となっている。

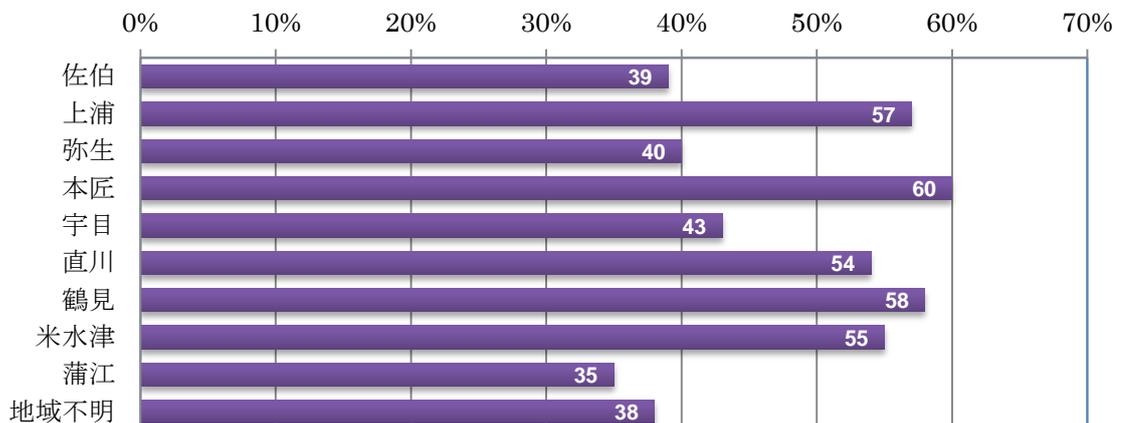
### ■ 満足度



### ■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



### ■ 住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



■ 不満の原因で【その他】と回答した理由

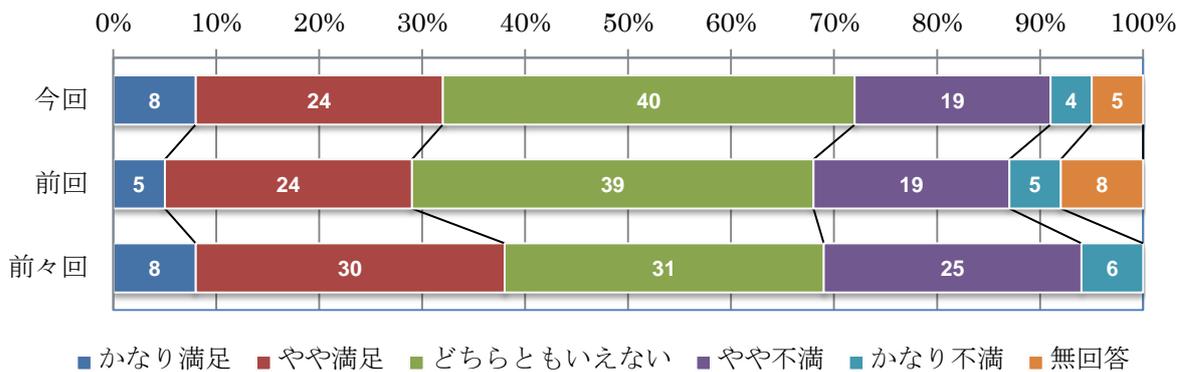
農業・漁業等のごみや用具等が不法に占拠している。港湾や農業地帯、河川付近。古い船やトラクター・漁網等著しい散らかりぶり。
空地や空き家の手入れが悪い。
事故の後の柱のゆがみ等、早く対応してほしい。ガードレールや信号の柱、放置しすぎでは？
歩道がデコボコでつぎはぎだらけである。
商店街の店員に活気がない。 街灯が少ない。道が狭い。信号機が古いのか、時間帯によっては色が分かりづらい場所がある。(鶴岡とか本局前)
古いポスター等がそのまま。
古い空き家等。
全体的に空き家が目立ち、古い。

### ⑨ 公園や野外レクリエーション地の充実

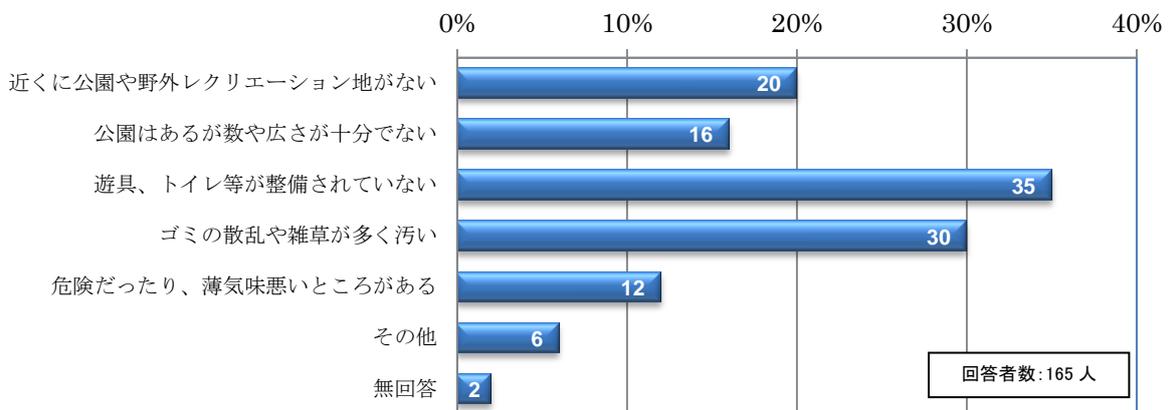
公園や野外レクリエーション地の充実について満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計約32%（前回比3ポイント増・前々回比6ポイント減）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の割合（合計約23%：前回比1ポイント減・前々回比8ポイント減）を上回っている。

住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「上浦」最も高く、次いで「直川」、「米水津」が同率で続いている。

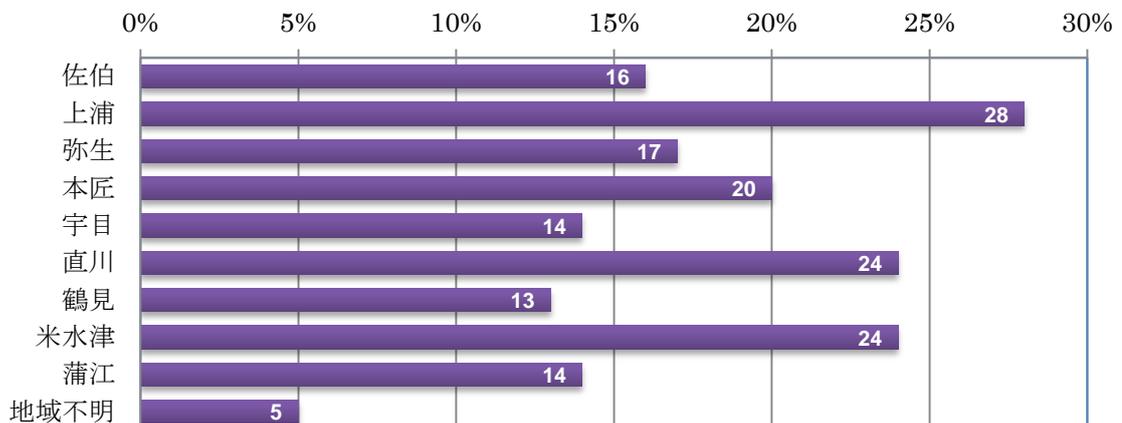
#### ■ 満足度



#### ■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



#### ■ 住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



■ 不満の原因で【その他】と回答した理由

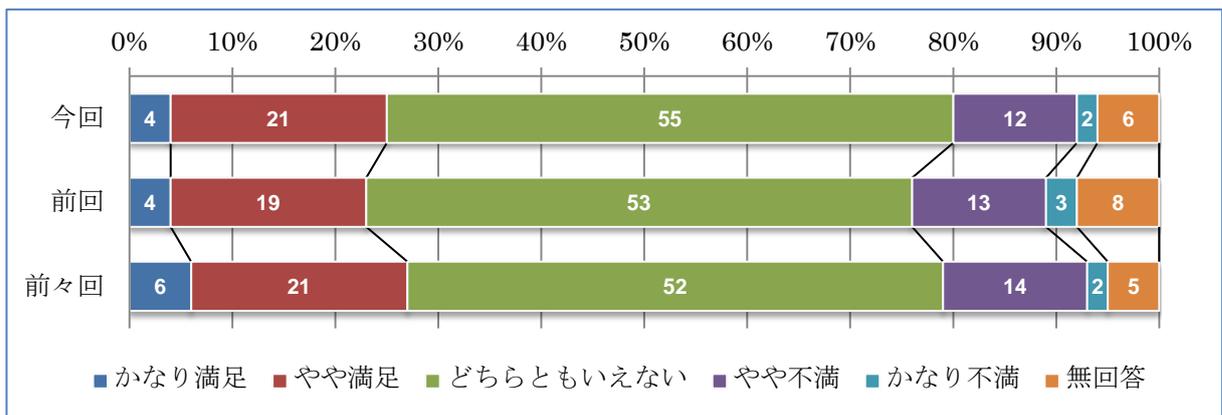
不法占拠して住みついている人がいる。トイレを私物にしている。
運動公園のテニスコートの整備が不十分。
辞めた後のクラブの対応に困惑。
公園等多くて大変です。
公園等の明かりが少ない。夜びっくりするくらい暗い所がある。電球が切れている所もある。
ドッグランやバリアフリーの場所があるといいな。
近くに公園等がない。
公園の草むしりなどに行くだけ。
小さい子供用の遊具のある公園が少ない。もっと季節の花が沢山楽しめる名所があれば良いと痛切に思います。
近くに公園広場があり満足している。
公園に駐車場がない。街灯が少ない。 池船スポーツ公園は、学校の遠足等で使っているなら舗装していないところにでも、ちょっとした遊具があっても良いのでは？と思ったりもする。あと、散歩している人様に東屋があってもいいかも。(台風で増水するとダメか・・・)
公園のレクリエーション地を使う事がない。
ウォーキングなど地域の道路を主に歩いていますが、公園・グラウンド等の付近に高低差のある遊歩道があるといいです。
公園そのものが近くにない。
大きな公園が市内にない。

## ⑩ 文化財、遺跡等の保存・整備状況

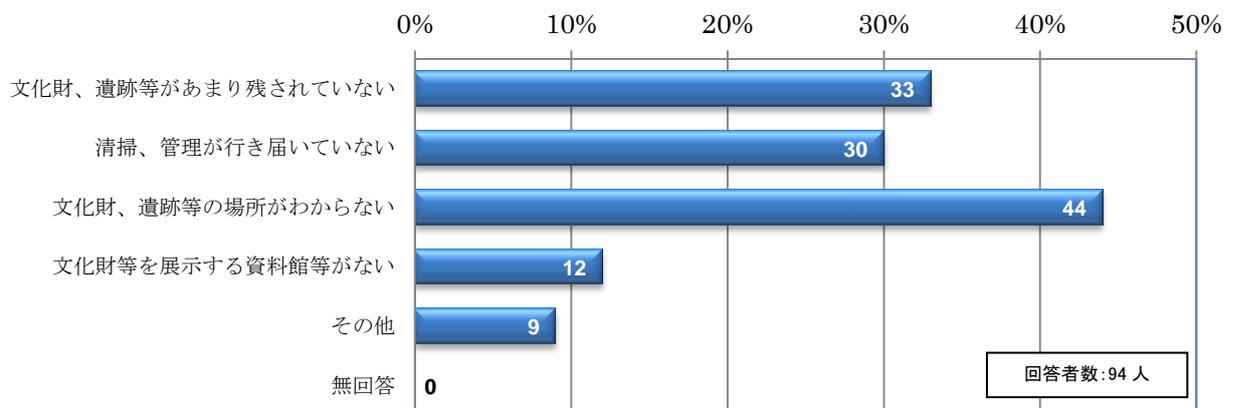
文化財、遺跡等の保存・整備状況について満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計約25%（前回比2ポイント増・前々回比2ポイント減）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の割合（合計約14%：前回・前々回共に2ポイント減）を上回っている。

住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「上浦」最も高く、次いで「鶴見」、「佐伯」と「本匠」が同率で続いている。

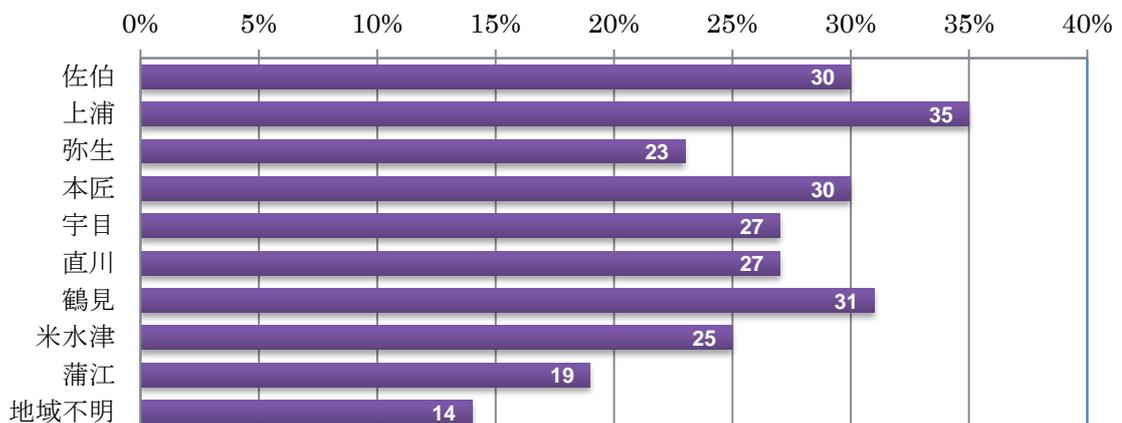
### ■ 満足度



### ■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



### ■ 住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



■ 不満の原因で【その他】と回答した理由

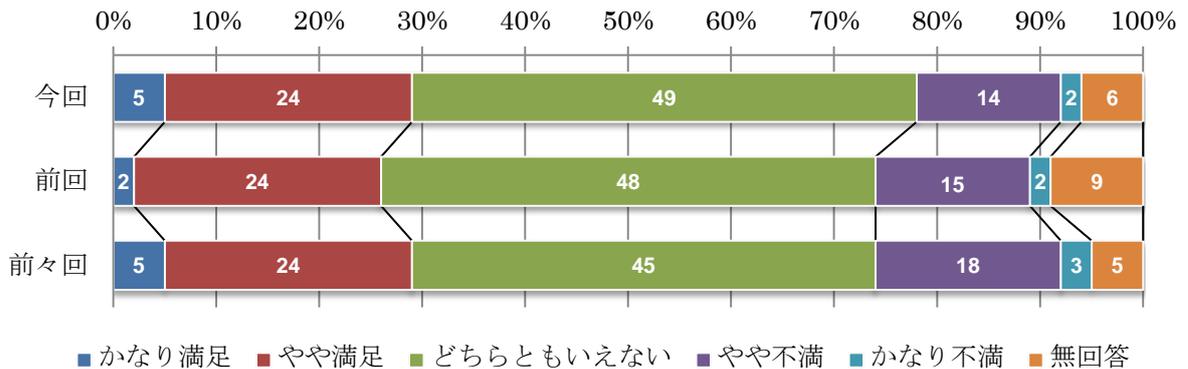
お金をかけすぎている。
佐伯市は文化とはほど遠い町だ。文化財うんぬんを言うレベルではない。食べることや祭りばかり。美術・芸術・アート、文化的な活動はさっぱりだ。
必要のない資料館がいくつもある。1つにまとめたらどうか。
城山以外あまり思いつかない。
文化財等が地域にない。
文化財や遺跡等の看板はあるが、そこに行くまでの矢印等がないため、観光に来た人には優しくない。城山の山頂からの眺めは良いが、山頂自体はがっかり。(もっと整備されているかと思っていた) 昨今、地震や水害が各地で起こっていて何時どんなことがあるか……。佐伯は海もあって川も多い。城山は、災害の避難場所となるよう、年配の方が多いため車で山頂に行ける道を造ったり、整備も必要ではないかと考える。
当地区には、四国八十八ヶ所の「木コラ」88体があるが、高齢化により保存が難しくなっています。どうしたらよいでしょう。
文化財・遺跡等の保存も大切かもしれませんが、それより空き家・空地等の改善に力を入れた方がいいのではないのでしょうか。
地域で清掃しているので良いのでは。
財源の使い方がおかしい。
そのようなものが身近にない。
無駄なものが多い。

## ⑪ 歴史や伝統に関するまちの雰囲気

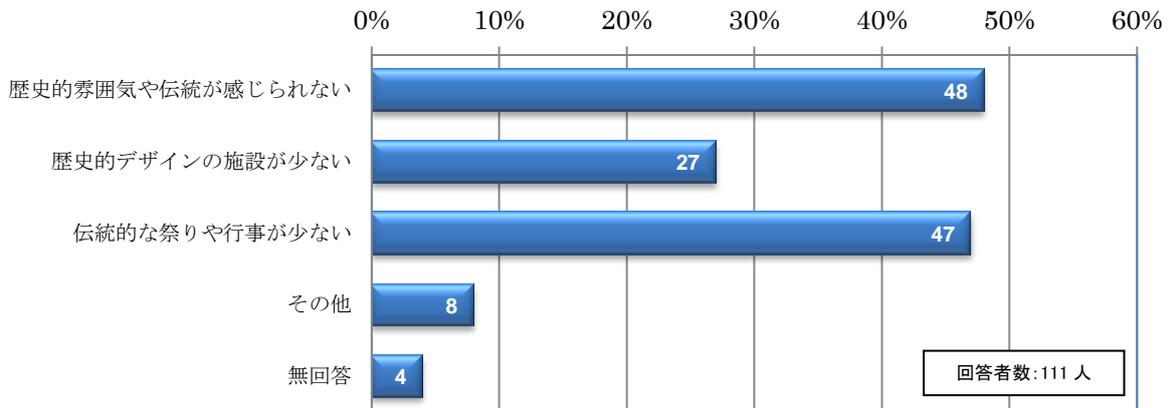
歴史や伝統に関するまちの雰囲気について満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計約29%（前回比3ポイント増・前々回比同ポイント）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の割合（合計約16%：前回比1ポイント減・前々回比5ポイント減）を上回っている。

住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「上浦」最も高く、次いで「佐伯」、「米水津」が続いている。

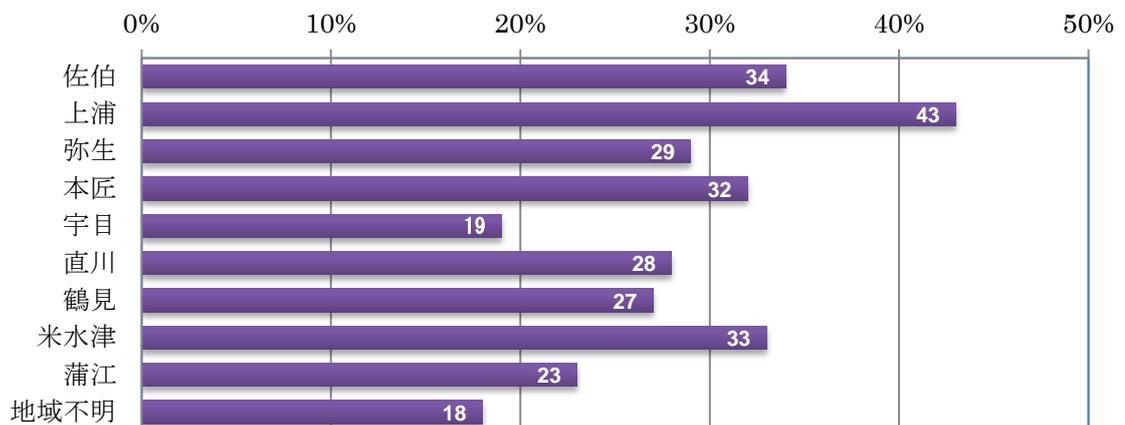
### ■ 満足度



### ■ 不満の原因（やや不満、かなり不満と回答した人）



### ■ 住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）



■ 不満の原因で【その他】と回答した理由

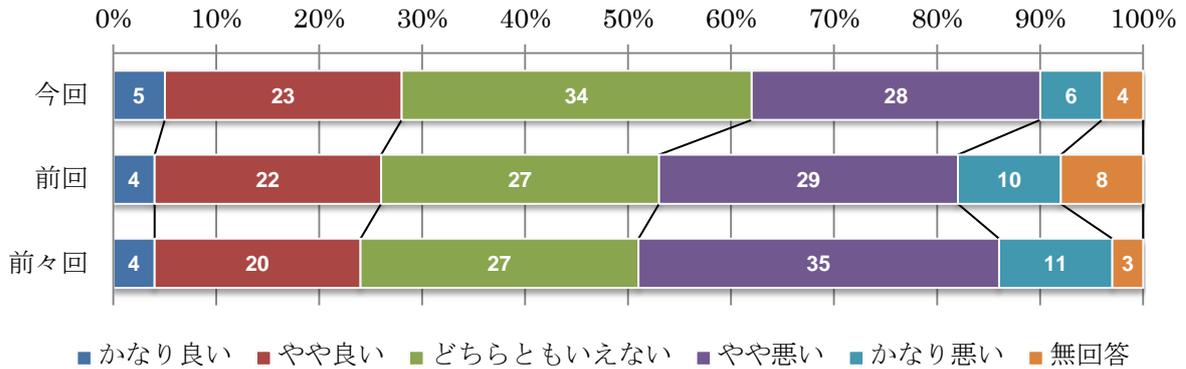
伝統的な祭りは、旧郡部でかろうじて賄っている状況。どこも高齢化で苦勞している。市中心部は飲み食いの祭りしかない。
無理に施設等造らなくても良い。
仲町・大手前はどうかにならないのだろうか。
春祭り等面白味が少ない。
高齢者が多いため行事が困難。
有名な祭りであっても、例えば宇目の墨つけ祭りでも現地まで行く交通手段がない。
春祭りの大名行列も菊姫行列も伝統的で素晴らしいと思うが、祭りにはかなり物足りない。菊姫行列もあれは行列といえるのか？大名行列に加えたらダメなのか？市中パレードは参加団体は多めだが、大名行列以降の団体は間隔も狭く、見せると言うよりただ歩いているような…。鶴岡八幡太鼓の方々に歩きながらでも叩ける演奏をお願いして華となって欲しい。せっかく宮崎方面の高速が開通したので、近辺都市の祭り招致での盛り上げもあって良いのでは。(B-1 グランプリの様に。高速開通イベントの様に。)
高速開通式の時は航空自衛隊戦闘機による航空パフォーマンスがあったが、住民のクレームによりパフォーマンスどころか通過するだけと聞いた。それもどこを飛んでいるか目を凝らさないと分からないほど上空。クレームがあっても、何年かに1回あるかっていうイベントをつぶさないでほしい。自衛隊の人も可哀想。
歴史資料館は必要ないのではないか。
歴史的な事にこだわらず、もっと利用しやすい施設にしてほしい。
良さを生かし切れていない。
参加者が少ない。
高齢化でだんだん希薄している。

市民の環境に関するモラル（道徳）

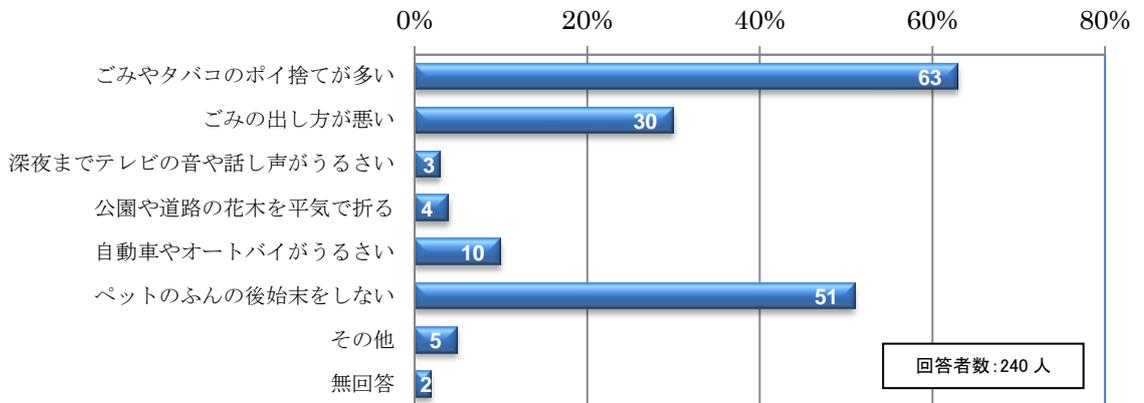
市民の環境に関するモラル（道徳）について聞いたところ、全体では「やや悪い」又は「かなり悪い」と回答した人が合計約34%（前回比5ポイント減・前々回比12ポイント減）で、「かなり良い」又は「やや良い」と回答した人の割合（合計約28%：前回比2ポイント増・前々回比4ポイント増）を上回っている。

住まい別には、「かなり良い」又は「やや良い」と回答した人の割合は、「本匠」最も高く、次いで「上浦」、「直川」が続いている。

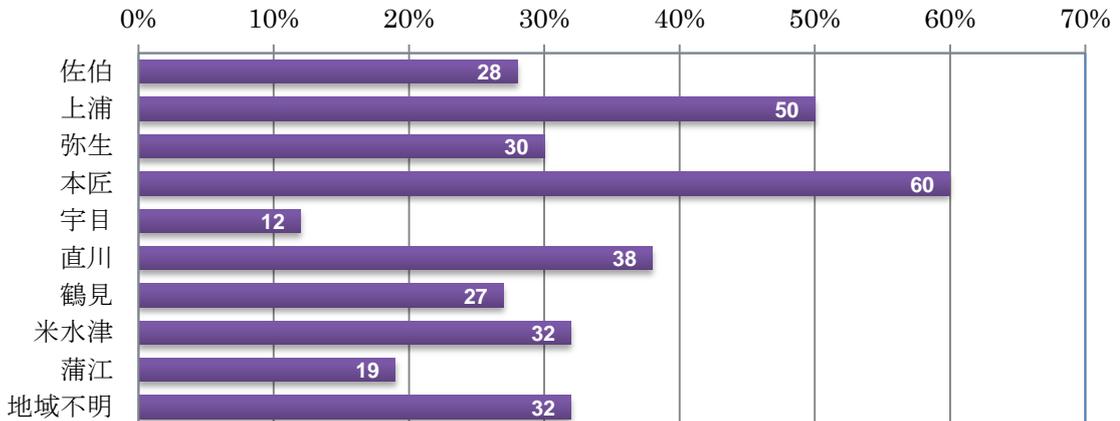
■ 満足度



■ 不満の原因（やや悪い、かなり悪いと回答した人）



■ 住まい（地区）別の満足度（「かなり良い」＋「やや良い」の割合）



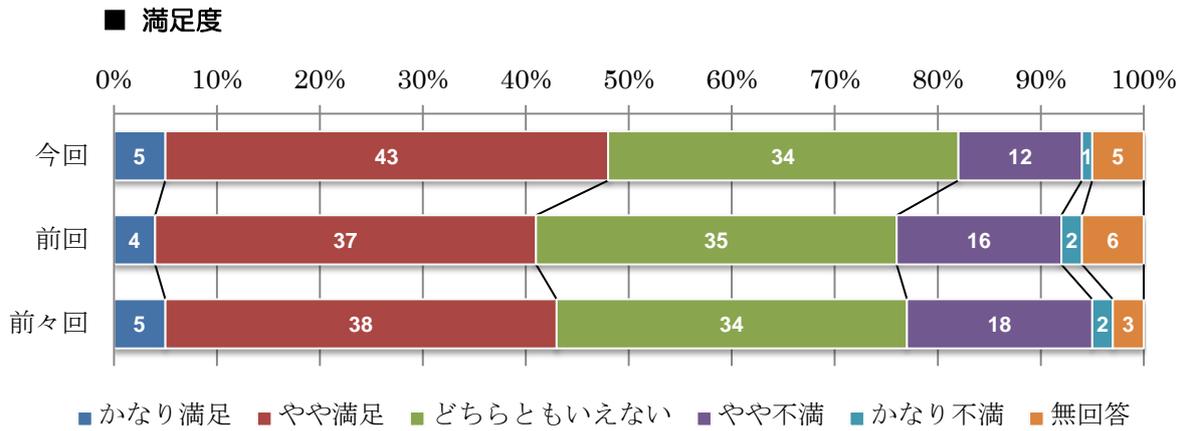
■ 不満の原因で【その他】と回答した理由

道路の暗いところが多い。
ごみ場所。
私有地以外に気を使わない体質・気質が多く感じられる。人の土地ならどこでも良い的な。街並みや、町全体のイメージ等は気にならない人が多いようだ。
猫の放し飼い。
他の家庭の庭に糞を平気でさせる。
自動車・オートバイの排気音等、警察はちゃんと取り締まって。深夜までコンビニがうるさい。車の改造車がひどい。
ペットを放し飼いにしている。
タバコの吸い殻やビールの缶を海に捨てる人がいる。
タバコの吸い殻や空き缶のポイ捨てが少ない。
空き缶、弁当がらのポイ捨てが多い。
ゴミを焼く、草を燃やす。
わずかな人のために気分が悪くなる。何故、ポイ捨てをするのか？
個人の花畑の被害が多い。
運転のマナーが悪い。
50歳代以上の方で喫煙マナーが理解出来ないような人が多く感じる。車の窓から捨てたり、悪びれることなく人前でポイ捨てしている所を見かける。
ごみのポイ捨てが時々見られますが、地域内の人か外の人かは分かりません。
関心がない。自分さえよければの人が多い。
のら猫に餌を与える人がいる。
のら猫が多い。

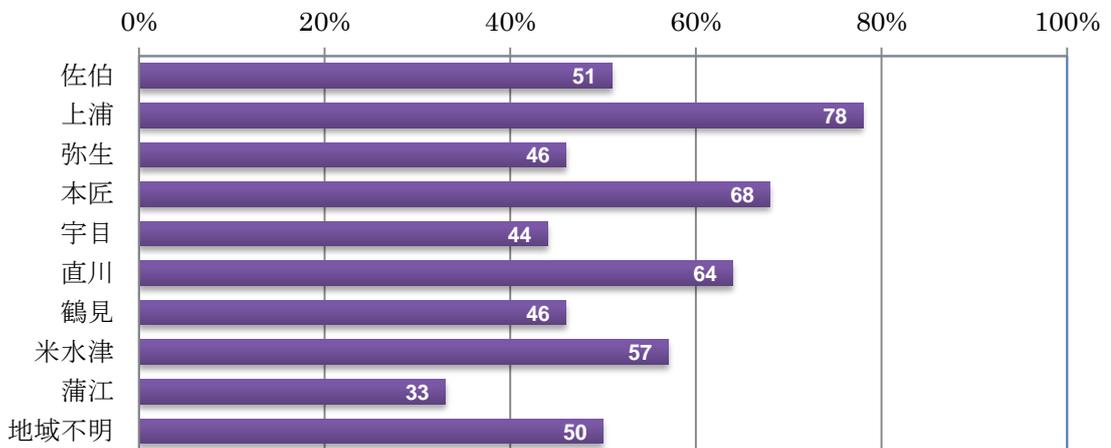
⑬ ①～⑫を総合した身近な環境全体

1) ～12) の満足度の結果をふまえ、総合的な環境満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計約 48%（前回比 7 ポイント増・前々回比 5 ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の割合（合計約 13%：前回比 5 ポイント減・前々回比 7 ポイント減）を上回っている。

住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「上浦」最も高く、次いで「本匠」、「直川」が続いている。



■ 住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）

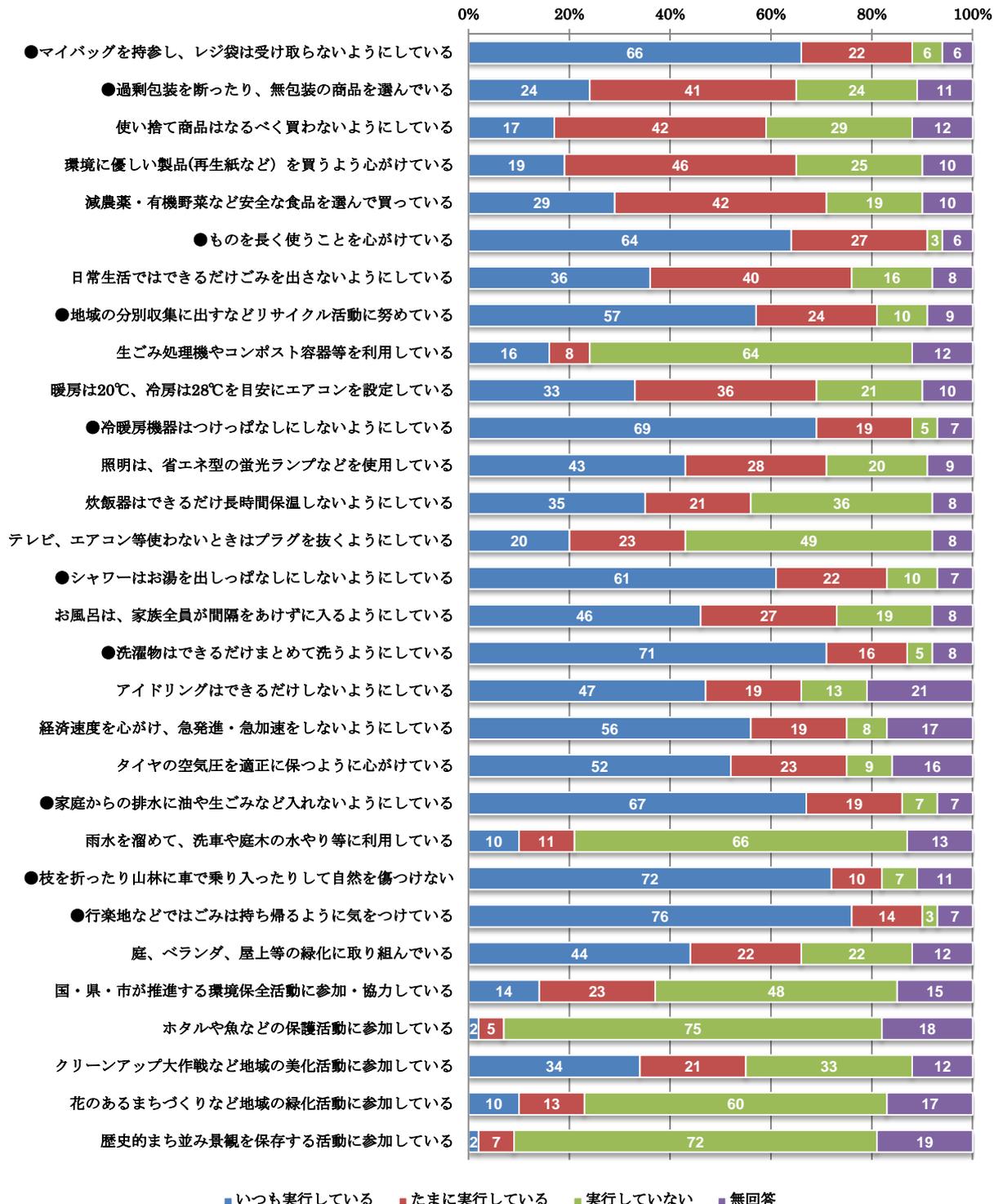


## 5) 環境保全行動の実施状況、意向

30 項目について環境保全行動の実施状況について聞いた結果、「いつも実行している」、「たまに実行している」あわせて約 80%を超えている項目は、前回から 1 項目、前々回から項目増え 9 項目となっている。実施状況が低い項目としては、「雨水を溜めて、洗車や庭木の水やり等に利用している」や「ホテルや魚などの保護活動に参加している」、「歴史的まち並み景観を保存する活動」などとなっている。

### ① 現状

#### ■ 環境保全行動の実施状況

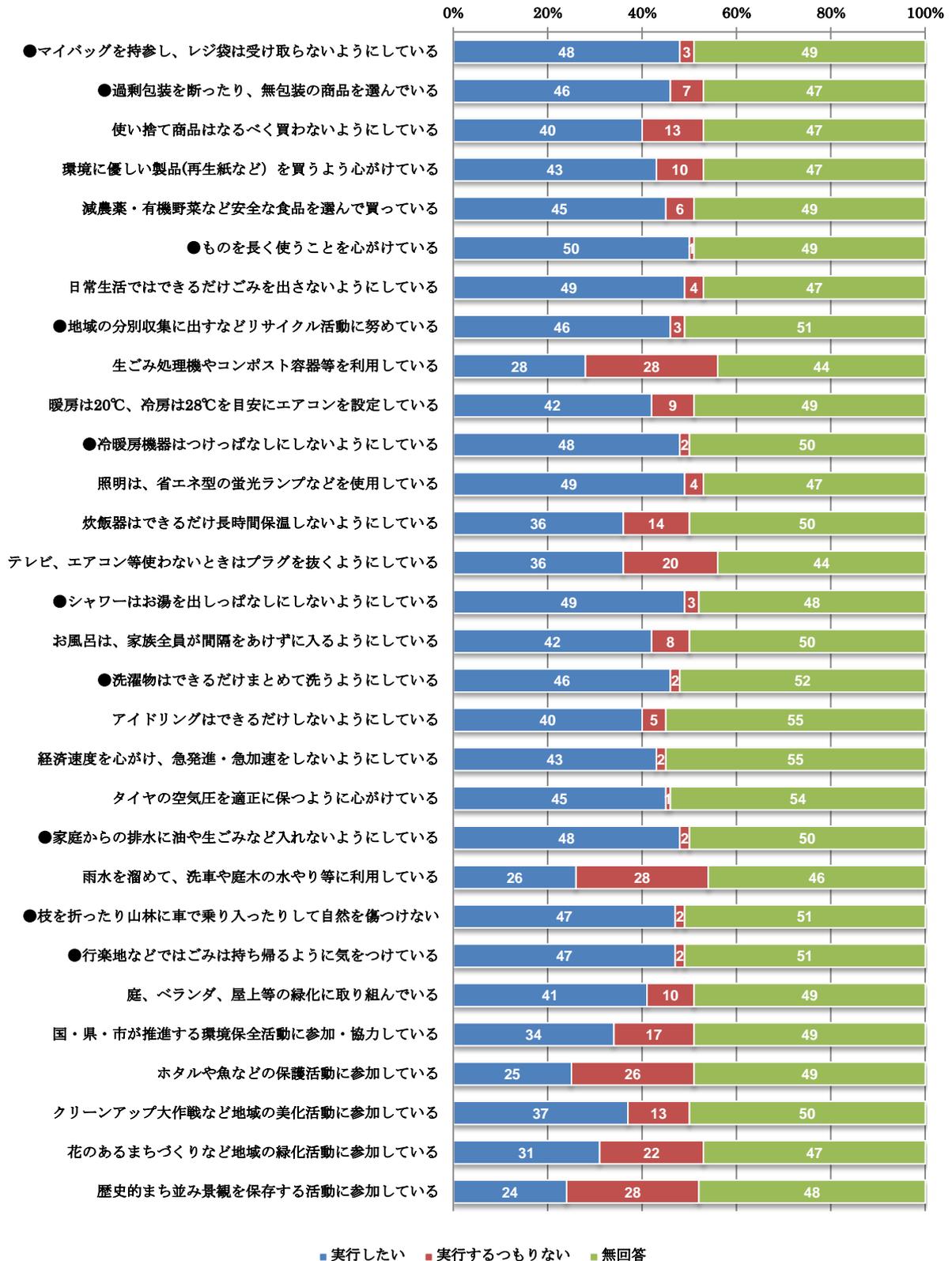


※ 「いつも実行している」「たまに実行している」合わせて約 80%を超えている項目に●をつけている。

## ② 今後

30項目について環境保全行動の今後の実施可能性について聞いた結果、全ての項目について「実行したい」と回答した人が前回・前々回より少なくなっている。今後、普及・啓発や情報の提供により環境保全活動が広がる可能性を期待している。

### ■ 環境保全行動についての今後の意向



## 6) 環境保全のために個人レベルできそうな目標

### ① ごみの排出量

今後のごみ減量の可能性について聞いたところ、全体で現在と比べて42.4%が削減可能と回答していて、前回より1.5ポイント増加しているが、削減可能と回答した人の平均削減率は14.7%で、前回より1.6ポイント減少している。

#### ■削減の可能性

(%)

区分	現在より削減可能	削減は難しい	無回答	回答数(人)
佐伯	43.2	43.7	13.1	382
上浦	24.1	51.7	24.1	29
弥生	49.3	42.0	8.7	69
本匠	70.0	25.0	5.0	20
宇目	31.4	45.7	22.9	35
直川	51.9	29.6	18.5	27
鶴見	43.2	43.2	13.5	37
米水津	34.4	46.9	18.8	32
蒲江	41.5	50.9	7.5	53
地域不明	25.0	50.0	25.0	24
合計(今回)	42.4	43.8	13.8	708
合計(前回)	40.9	37.2	21.9	749
合計(前々回)	47.6	37.5	14.9	807



#### ■ 現在より何%削減できるか

区分	平均削減率(%)		
	今回	前回	前々回
佐伯	14.4	14.5	17.0
上浦	14.3	18.7	19.2
弥生	12.0	19.9	12.4
本匠	13.9	18.5	19.7
宇目	16.4	14.8	21.0
直川	23.9	13.9	16.9
鶴見	13.0	14.6	21.5
米水津	12.3	13.0	21.5
蒲江	12.1	18.6	15.9
地域不明	26.7		
合計	14.7	16.3	17.4

## ② 自動車

今後の自動車使用の削減可能性について聞いたところ、全体で現在と比べて16.5%が削減可能と回答していて、前回より3.3ポイント減少している。また、平均削減率は16.6%となっていて、前回より0.8ポイント増加している。

### ■ 削減の可能性

(%)

区分	現在より削減可能	削減は難しい	無回答	回答数(人)
佐伯	19.9	59.9	20.2	382
上浦	3.4	62.1	34.5	29
弥生	23.2	63.8	13.0	69
本匠	15.0	70.0	15.0	20
宇目	8.6	68.6	22.9	35
直川	11.1	74.1	14.8	27
鶴見	8.1	73.0	18.9	37
米水津	9.4	71.9	18.8	32
蒲江	5.7	69.8	24.5	53
地域不明	25.0	70.8	4.2	24
合計(今回)	16.5	64.0	19.5	708
合計(前回)	19.8	53.1	27.1	749
合計(前々回)	22.1	55.8	22.2	807



### ■ 現在より何%削減できるか

区分	平均削減率(%)		
	今回	前回	前々回
佐伯	16.7	18.2	17.7
上浦	10.0	14.5	27.0
弥生	11.7	11.5	10.1
本匠	10.0	10.0	16.0
宇目	13.3	19.3	13.3
直川	43.3	17.5	14.2
鶴見	26.7	16.9	7.0
米水津	8.3	18.8	20.0
蒲江	19.2	15.6	19.1
地域不明	30.0		
合計	16.6	15.8	16.8

### ③ その他

今後の個人レベルでできそうな目標について聞いたところ、回答を頂いた事について掲載しています。

節電。こまめに電気を消したりコンセントを抜く。
ごみを減らすエコバックを利用する。
老人ホームで出来るだけ分別してごみ出しに協力しています。
ソーラーパネルを屋上に設置して、夏はクーラーを使用しない。
節電・節約
田舎なので生ごみは畑の土中に埋めるように心がける。
食料の無駄をなくす。(買いすぎ・賞味期限切れ)
緑化による CO2 削減。
シャワーの回数を減らす。
気がつく程度、我が家周辺のごみ広い。
犬の散歩途中心がけてごみを拾うようにしています。※犬の糞を拾わない人がいるのは許せません。
ごみを減らしたい。でも、ごみとなると包装などは自ら減らせない。包装を断ることができる状況は少ない。スーパーなどでも、余計なものが多い。企業や自治体の努力も必要だと思う。
自家用車は利用していない。ごみについても、今が最低限と思う。
電気 5% 水道 5%
今よりも更に節電をする。
週 2 回(火・金曜)の市のごみ収集日に所定の場所に出している。
15 分歩いて買い物。荷物が重いと大変ですけど、なるべく車は使いません。
友人がボランティアで集めているので、小さくなった子供服を海外に送る。
近距離は歩く。
無駄なことをしなければ十分と考えています。
週 2 回のごみ出しを 1 回にしている。自動車の利用は一回に済ませる。学校区範囲であれば自転車を利用している。
不必要な品物は、よさそうでもできるだけ買わない。
車は運転しない。
食べ物は残さず利用して、なるべく捨てないようにする。
ゴミに入れている紙等を分別する。
パーセンテージで表すのは難しいが、日々の暮らしの中で環境を考えればよい。
自宅から自分が車を使用せずに行くことが可能と判断したら、徒歩または自転車を使用する。
食事等、油をペーパーなどで拭きとり、出来るだけ排水に流さないようにしたい。詰め替え商品等を上手に使いごみを減らしたい。
冷房・暖房の温度や時間の短縮くらいなら少しできそうです。
今でも乗らないようにしています。なるべく歩くようにしている。
常に最低限にしている。
バスで病院に行きます。本数が少ないので困ります。乗る人が少ないからでしょうか何とかできないでしょうかお願いします。

衣類のリサイクル。
歩いている時に目に付いたごみを拾ったり、リサイクルの分別。グリーンマーク等の参加。家の花、プランター程度なら。エコな物に買い返る時は選ぶ。エコバック使用。
年齢と共に車に乗る回数を減らしていく様になっています。パーセントは分かりませんが・・・？
ごみの分別をきちんとしているので、ごみを見つけた場合は片づけるように(家の周りだけでなく)心がけていこうと思っている。
直川に住んでいるので、車はどうしても必要です。買い物などまとめて買うなどできればいいと思います。
エコカー購入。
ごみは1人なので小さい袋で良いです。
花を植え美化に努める。
1人がしても仕方がないまた、時間的に家族の人数が多いと難しいこと。年齢的に幅があるので家庭はなかなか1つにというわけにはいかないです。
ごみもぎりぎり減らしている。自家用車は田舎なのでこれ以上減らせない。近い所は自転車を使っている。
身体障害者のため、車椅子を利用している。
車を持っていることを前提の質問には、車を持っていない人は答えようがありません。免許証を返納している老人がいることも忘れないでください。
食料以外はなるべくまとめて買い出しに。
廃油は紙、ぼろ布にしみこませている。食器や鍋は汚れを拭き取って洗っている。
集落の周辺の畑や空地の水たまりは害虫の発生源になり、環境を壊すので除去する。(伝染病予防法＝公園の周りの薬剤散霧は世界中の自治体で行っている。佐伯市も実行しよう)
紙製品の使用を減らす。
食料品の買い過ぎがないように近い所はなるべく歩くようにする。
節電。
夫婦2人だけの生活です。ごみの量は少なく車の利用回数も多くはないです。もう少し環境について意識しなくてはと思いました。
料理を造りすぎないこと。
無駄にごみを出したり、車に乗ったりしているつもりはない。
生ごみ処理機の購入。
犬の散歩の途中でタバコの吸い殻等を拾う。
これから生活していく中で、やれることが見つかったら実行します。
家庭での削減を%で表示する設問は分かりにくいし、実際には記入しにくいと思います。設問内容を前回と変更しないとのことですので、次回よりご一考いただけると助かります。(前頁までの設問のように、選択肢にさせていただけると、より答えやすいと感じました。)
運動のため常に自転車 or 徒歩にて要件を済ませるように心がけている。
こうゆう質問を書くことによってサランラップや包装が少ない商品を買うなど注意したいと思った。
車を使用する回数を減らし、Walkingを増やす。
コンポストを始める予定です。
食料など買いだめしすぎたり、多く調理して残飯が出るような事はしない。無理のない範囲で環境保全活動をし、長く続けて行けるようにする。

## 7) 家庭でのエネルギー使用状況

現在のエネルギー使用状況と今後のエネルギー使用量削減の可能性について聞いたところ、全体では、節約が難しいと回答した人が 47.6%（前回比 11.5 ポイント増・前々回比 6.5 ポイント増）で、節約可能と回答した人の 29.4%（前回比 5.6 ポイント減・前々回比 6.3 ポイント減）を大幅に上回っている。「使用量をあまり意識したことがない」という回答は 11.7%ある。

また、節約可能と回答した人に、どの程度削減可能か聞いたところ、平均削減率は 12.0%で、前回より 1.0 ポイント減少・前々回比 2.8 ポイント減少となっている。

### ■ 現在のエネルギー使用状況

(%)

区分	多いと思うので今後は節約できる	あまり多くないがさらに節約できる	多いと思うが節約は難しい	あまり多くないので節約は難しい	使用量をあまり意識したことはない	わからない	無回答	回答数(人)
佐伯	16.5	10.5	19.1	31.7	11.8	5.0	5.5	382
上浦	6.9	13.8	13.8	34.5	24.1	3.5	3.4	29
弥生	15.9	17.4	18.8	31.9	11.6	0	4.3	69
本匠	25.0	5.0	20.0	30.0	10.0	10.0	0	20
宇目	11.4	20.0	11.4	25.7	17.1	11.4	2.9	35
直川	29.6	14.8	18.5	22.2	7.4	0	7.4	27
鶴見	18.9	8.1	24.3	27.0	10.8	0	35.1	37
米水津	28.1	12.5	6.3	43.8	6.3	0	3.1	32
蒲江	26.4	9.4	15.1	28.3	11.3	3.8	5.7	53
地域不明	8.3	12.5	4.2	41.7	4.2	12.5	16.7	24
合計(今回)	17.7	11.7	17.4	30.2	11.7	4.4	6.9	708
合計(前回)	15.5	19.5	10.3	25.8	8.5	4.1	16.3	749
合計(前々回)	18.2	17.5	14.1	27.0	9.8	4.2	9.2	807

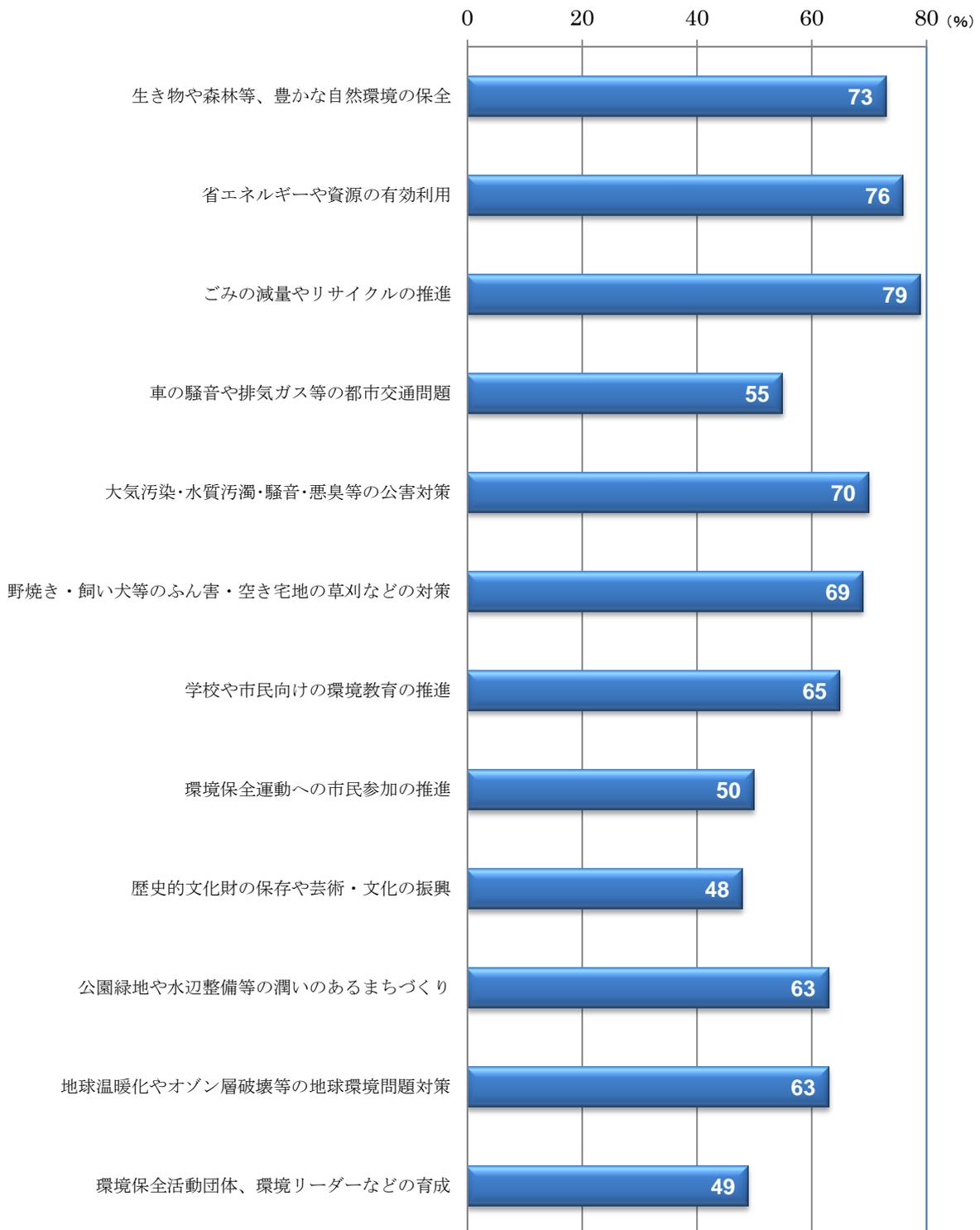
### ■ 現在より何%削減できるか

区分	平均削減率(%)		
	今回	前回	前々回
佐伯	11.8	12.9	14.6
上浦	10.0	12.5	24.4
弥生	10.3	16.8	11.0
本匠	15.0	13.9	15.0
宇目	16.7	8.6	14.6
直川	13.5	13.8	14.0
鶴見	11.9	11.1	12.9
米水津	11.8	15.8	14.0
蒲江	12.1	11.5	15.1
地域不明	13.3		
合計	12.0	13.0	14.8

## 8) 市の施策について

佐伯市の環境を守り、より良いものにしていくための市の施策について聞き、「特に重要」又は「重要」と回答している人の割合を以下に示す。全体では「ごみの減量やリサイクルの推進」を重要と回答した割合が大きく、「省エネルギーや資源の有効利用」、「生き物や森林等、豊かな自然環境の保全」、「大気汚染・水質汚濁・騒音・悪臭等の公害対策」が続いていて、前回とほぼ同じ傾向である。

■ 施策の重要度：(特に重要又は重要と回答した人の割合)



■ 施策の重要度（地区別）：特に重要又は重要と回答した人の割合

(%)

		生き物や森林の保全等、豊かな自然環境の保全	省エネルギーや資源の有効利用	ごみの減量やリサイクルの推進	車の騒音や排気ガス等の都市交通問題	大気汚染・水質汚濁・騒音・悪臭等の公害対策	野焼き・飼い犬等のふん害・空き宅地の草刈などの対策
佐伯	今回	74.3	77.0	79.6	59.7	73.3	70.4
	前回	72.5	75.3	76.6	58.2	71.7	66.5
	前々回	71.4	80.1	81.7	64.5	72.4	67.4
上浦	今回	62.1	72.4	75.9	51.7	69.0	75.9
	前回	73.3	73.3	75.6	75.6	75.6	75.6
	前々回	77.6	84.5	79.3	69.0	72.4	58.6
弥生	今回	75.4	82.6	84.1	55.1	73.9	71.0
	前回	62.9	71.4	70.0	41.4	64.3	61.4
	前々回	72.5	85.0	85.0	56.3	71.3	57.5
本匠	今回	90.0	85.0	90.0	45.0	65.0	70.0
	前回	61.9	61.9	61.9	47.6	57.1	57.1
	前々回	82.4	80.4	80.4	58.8	66.7	56.9
宇目	今回	71.4	74.3	71.4	40.0	71.4	77.1
	前回	59.1	65.9	65.9	54.5	54.5	54.5
	前々回	77.3	66.7	72.7	54.5	63.6	57.6
直川	今回	66.7	70.4	77.8	40.7	70.4	70.4
	前回	68.2	70.5	77.3	52.3	63.6	52.3
	前々回	75.8	74.2	74.2	65.2	74.2	60.6
鶴見	今回	67.6	73.0	75.7	56.8	62.2	59.5
	前回	64.0	76.0	76.0	50.0	64.0	68.0
	前々回	73.7	70.2	75.4	63.2	71.9	54.4
米水津	今回	71.9	78.1	84.4	53.1	68.8	59.4
	前回	64.0	64.0	76.0	44.0	64.0	60.0
	前々回	75.0	72.2	80.6	52.8	77.8	61.1
蒲江	今回	67.2	69.8	75.5	41.5	58.5	66.0
	前回	67.7	67.7	75.4	53.8	67.7	63.1
	前々回	65.6	76.7	81.1	57.8	74.4	54.4
地域不明	今回	66.7	70.8	75.0	50.0	62.5	62.5
合計	今回	72.7	76.3	79.2	54.7	70.5	69.4
	前回	69.0	72.6	74.8	55.4	68.2	64.4
	前々回	73.2	77.9	79.8	61.5	71.9	61.1

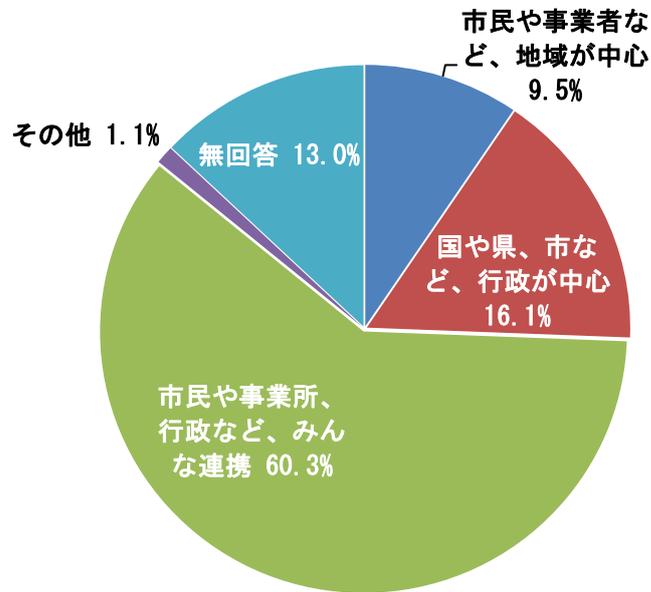
(%)

区 分		学校や市民向けの環境教育の推進	環境保全運動への市民参加の推進	歴史的文化財の保存や芸術・文化の振興	公園緑地や水辺整備等の潤いのあるまちづくり	地球温暖化や酸性雨、オゾン層破壊等の地球環境問題対策	環境保全活動団体、環境リーダーなどの育成
佐伯	今回	66.5	48.7	48.2	64.9	64.1	50.5
	前回	65.5	53.5	49.1	65.7	65.7	51.7
	前々回	70.8	52.2	52.5	67.1	73.8	57.5
上浦	今回	65.5	48.3	48.3	58.6	62.1	41.4
	前回	68.9	57.8	53.3	66.7	66.7	62.2
	前々回	69.0	51.7	56.9	79.3	84.5	53.4
弥生	今回	65.2	44.9	47.8	65.2	66.7	46.4
	前回	61.4	48.6	38.6	61.4	58.6	51.4
	前々回	73.8	51.3	50.0	66.3	78.8	48.8
本匠	今回	55.0	60.0	45.0	50.0	70.0	35.0
	前回	57.1	47.6	42.9	57.1	52.4	42.9
	前々回	70.6	54.9	58.8	58.8	74.5	54.9
宇目	今回	57.1	60.0	54.3	60.0	60.0	45.7
	前回	65.9	59.1	52.3	47.7	61.4	54.5
	前々回	69.7	54.5	54.5	62.1	65.2	56.1
直川	今回	66.7	48.1	40.7	63.0	51.9	51.9
	前回	54.5	45.5	56.8	56.8	63.6	43.2
	前々回	72.7	63.6	59.1	59.1	74.2	62.1
鶴見	今回	73.0	59.5	54.1	59.5	62.2	51.4
	前回	64.0	46.0	42.0	54.0	62.0	48.0
	前々回	63.2	45.6	45.6	59.6	71.9	49.1
米水津	今回	68.8	59.4	46.9	59.4	68.8	62.5
	前回	60.0	56.0	48.0	60.0	56.0	36.0
	前々回	80.6	52.8	61.1	66.7	75.0	58.3
蒲江	今回	62.3	47.2	39.6	56.6	60.4	50.9
	前回	66.2	41.5	43.1	60.0	55.4	44.6
	前々回	70.0	61.1	42.2	60.0	76.7	63.3
地域不明	今回	54.2	37.5	45.8	62.5	41.7	41.7
合計	今回	65.3	49.7	47.6	62.7	62.9	49.4
	前回	64.2	51.5	47.8	62.1	62.9	50.3
	前々回	70.8	53.9	52.5	65.1	74.7	56.6

## 9) 環境への取り組み主体

環境への取り組み主体について聞いたところ、「市民や事業所、行政などみんなが連携、協力して取り組むべきである」が60.3%で、前回より7.4ポイント増加している。

■ 環境への取り組み主体について



■ 環境への取り組み主体について (住まい別)

(%)

区分	市民や事業者など、地域が中心となって取り組むべきである	国や県、市など、行政が中心となって取り組むべきである	市民や事業所、行政など、みんなが連携、協力して取り組むべきである	その他	無回答	
佐伯	10.5	17.0	60.0	1.0	11.5	
上浦	3.5	10.3	65.5	0	20.7	
弥生	10.2	15.9	63.8	1.4	8.7	
本匠	10.0	15.0	60.0	0	15.0	
宇目	2.9	31.4	48.6	2.9	14.2	
直川	14.8	7.4	51.9	3.7	22.2	
鶴見	13.5	2.7	64.9	0	18.9	
米水津	6.3	15.6	65.6	0	12.5	
蒲江	7.5	20.8	58.5	1.9	11.3	
地域不明	4.2	8.3	66.7	0	20.8	
合計	今回	9.5	16.1	60.3	1.1	13.0
	前回	12.6	16.8	52.9	1.1	16.7
	前々回	11.6	18.0	60.3	1.0	9.0

## 10) 守るべき環境、改善すべき環境

### ① 調査方法

旧市町村の9地区ごとに、それぞれの地区の地図をアンケート調査票に添付し、記入していただく方法で調査を行った。調査項目としては、守るべき環境として「特に自然性の高い地域」、「特に良好な景観が残っている地域」、「特に歴史的要素の強い地域」を、改善すべき環境として「廃棄物の不法投棄がよく見られる地域」、「生活排水や産業排水による水質汚濁が見られる河川や海」、「特に放棄地が多い地域」で、それぞれ2カ所以内で回答していただいた。

### ② 結果

守るべき環境、改善すべき環境について、主に選ばれた場所とその理由等を次頁以降に示す。

■守るべき環境（特に自然性の高い地域）として記入された主な場所と理由

場所名	主に記入した人の住まい（地区）	選んだ理由（主なもの）
城山、城山周辺	佐伯	佐伯のシンボル
		自然が多い、身近のある山城で眺望がよい 等
番匠川	佐伯	きれいな川 等
	弥生	自然が多く鳥・魚など多い 等
本匠	佐伯	ホタルの生息地 等
	直川	水がきれい、ホタルが生息 等
藤河内溪谷	佐伯	巨大な岩石などが残り、自然を感じられる 等
波当津	蒲江	砂浜が美しい、海がきれい 等
空の公園	蒲江	豊後水道を見渡す雄大な自然が楽しめる 等
小半（本匠）	本匠	水もきれいで鍾乳洞もきれいなので 等
宇目	佐伯	森林が残っている 等
米水津	佐伯	自然の美しさ 等
市内全域	鶴見	佐伯市は自然だらけで特にどこかを選びことは出来ない。
大入島	佐伯	橋のない不便さもよい。自然がよい 等
大水車周辺（本匠）	佐伯	山や川の自然や周辺の景色 等
鶴御崎周辺	鶴見	椿が自生する豊後水道自然公園 等
元越山	米水津	大パノラマ
蒲江	佐伯	海岸の美しさ、海岸線
彦岳	佐伯	いろいろな動物がいて楽しい 等
上浦	佐伯	豊後二見ヶ浦の景観 等
木浦	弥生	川や水がとてもきれいで空気が澄んでいる 等
傾山	宇目	自然の山 等
元猿海岸	蒲江	海がきれい、砂浜が美しい

■守るべき環境（特に良好な景観が残っている地域）として記入された主な場所と理由

場所名	主に記入した人の住まい（地区）	選んだ理由（主なもの）
城山周辺	佐伯	景色が良い 等
空の公園周辺	佐伯、米水津	水平線も見え最高の眺め 等
鶴御崎周辺	佐伯、鶴見	豊後水道を見渡す雄大な自然が楽しめる 等
豊後二見ヶ浦	上浦、佐伯	大しめ縄と、初日の出がよい 等
本匠	本匠、佐伯	緑が多く森林欲が楽しめる 等
宇目	宇目、佐伯	手つかずで残っている自然が多い 等
蒲江	佐伯	海岸線と海 等

■守るべき環境（特に歴史的要素の強い地域）として記入された主な場所と理由

場所名	主に記入した人の住まい (地区)	選んだ理由(主なもの)
城山、山際通り、武家屋敷通り周辺、城下町	佐伯	歴史的建物、城下町の雰囲気、自然の石垣、城跡 等
歴史と文学の道	佐伯	武家屋敷と石畳に城下町の風情が残っていて、歴史を感じさせる 等
養賢寺周辺	佐伯	落ち着いた感じ 等
丹賀砲台跡周辺	鶴見	きれいに残っている遺跡 等

■改善すべき環境（廃棄物の投棄がよく見られる地域）

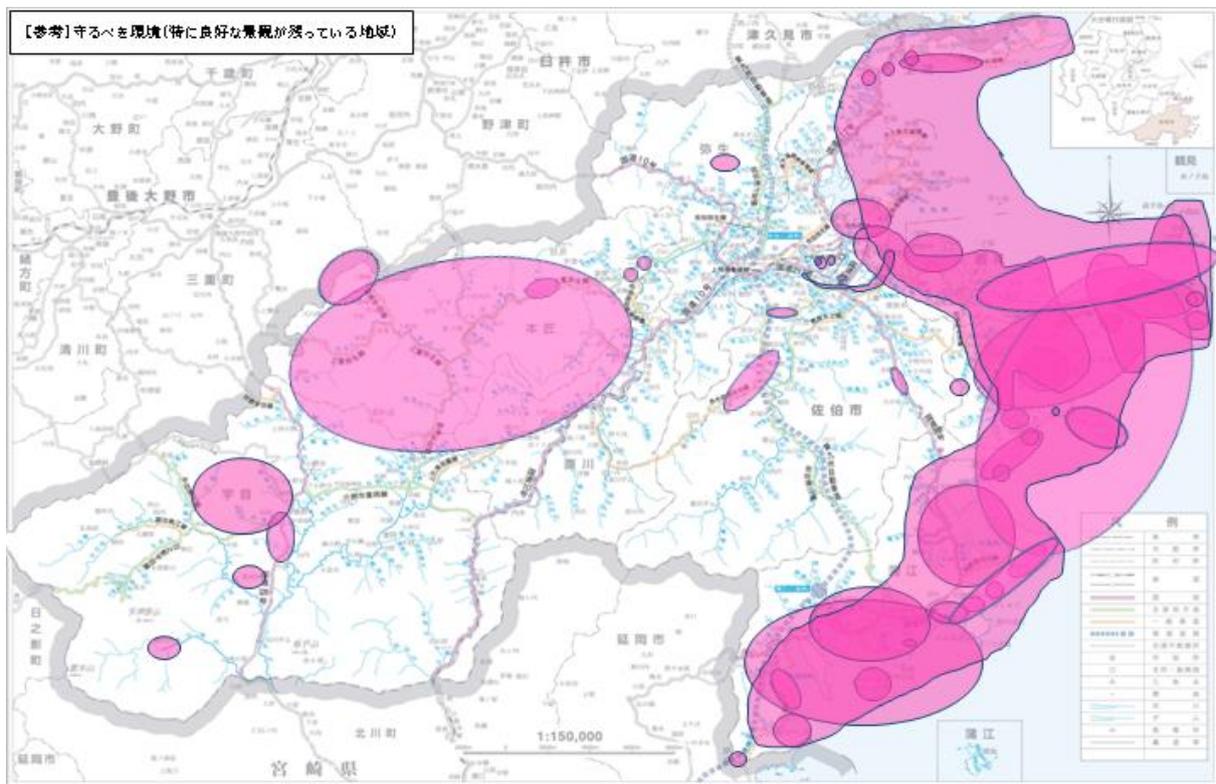
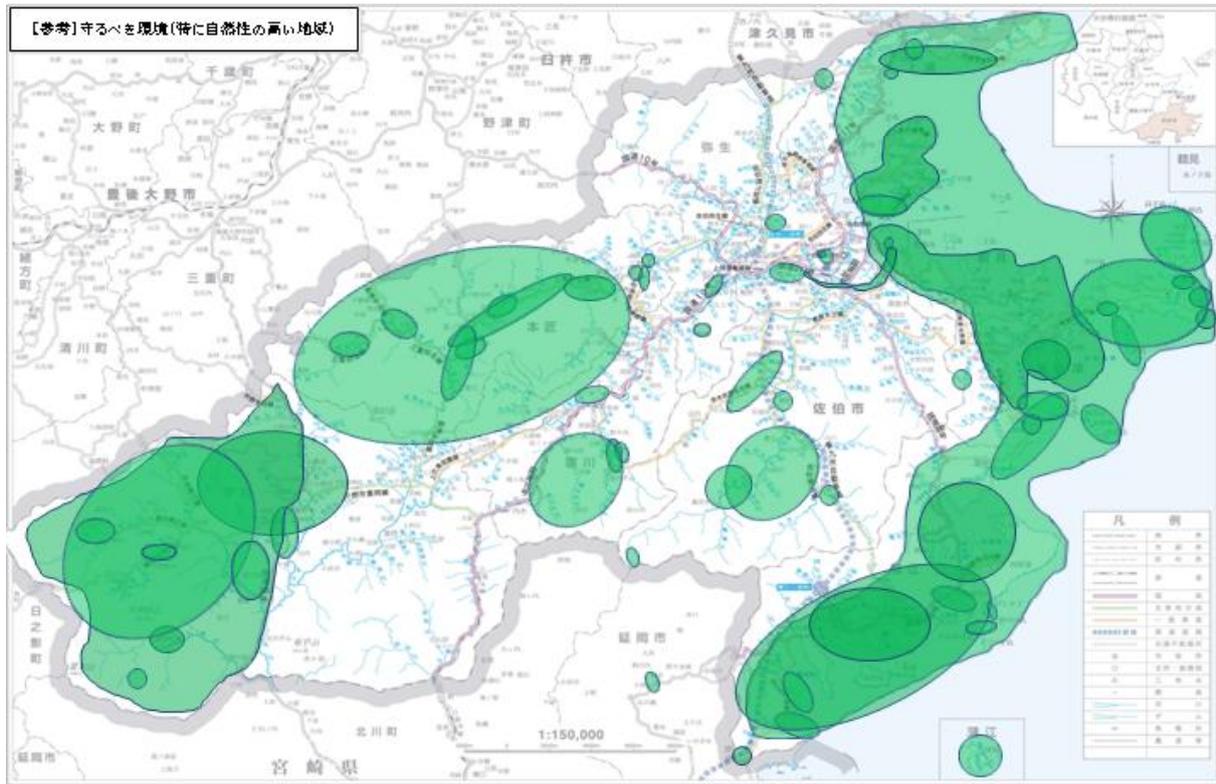
場所名	主に記入した人の住まい
佐伯-津久見線沿い	佐伯
海崎-狩生間	佐伯
黒潮ライン	米水津、蒲江
女島	佐伯
尺間山	佐伯、弥生

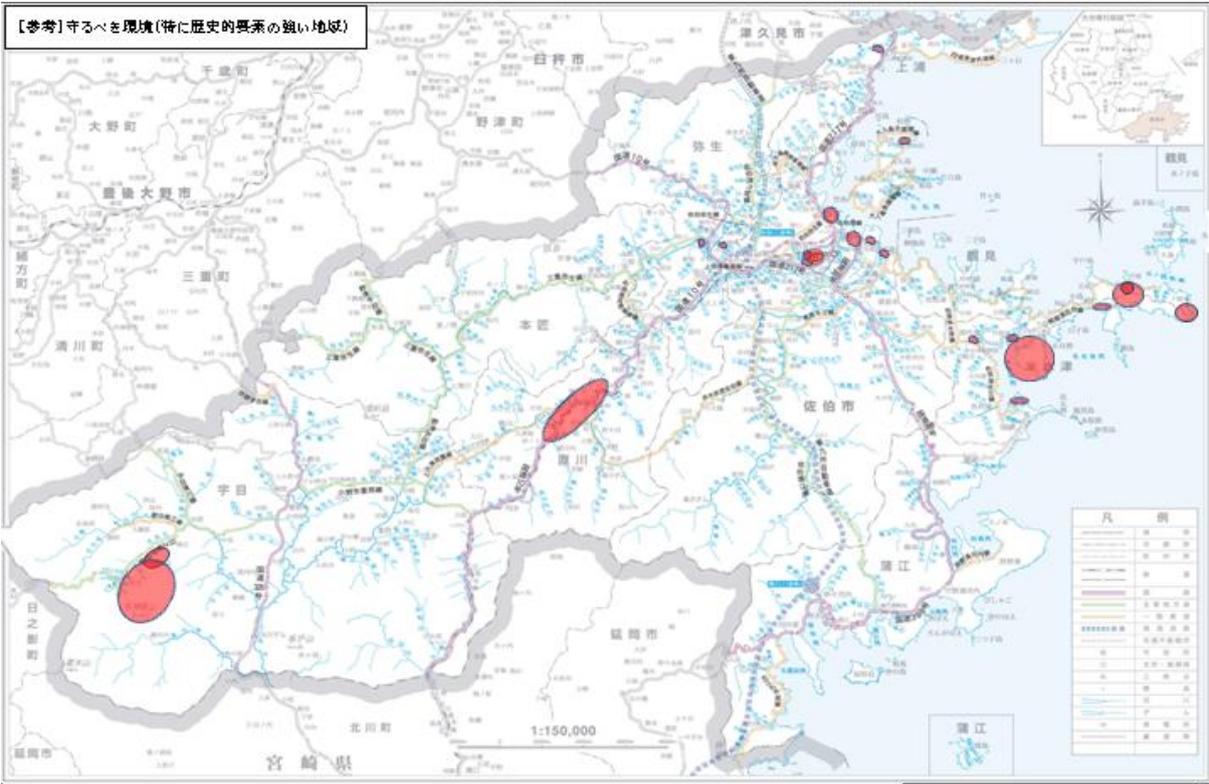
■改善すべき環境（水質汚濁が見られる河川や海）

場所名	主に記入した人の住まい
女島、新女島	佐伯、鶴見
番匠川	佐伯
中江川	弥生、蒲江
中川	佐伯
井崎川	弥生
百谷川	佐伯、弥生
猪串湾	米水津、蒲江
楠本	佐伯

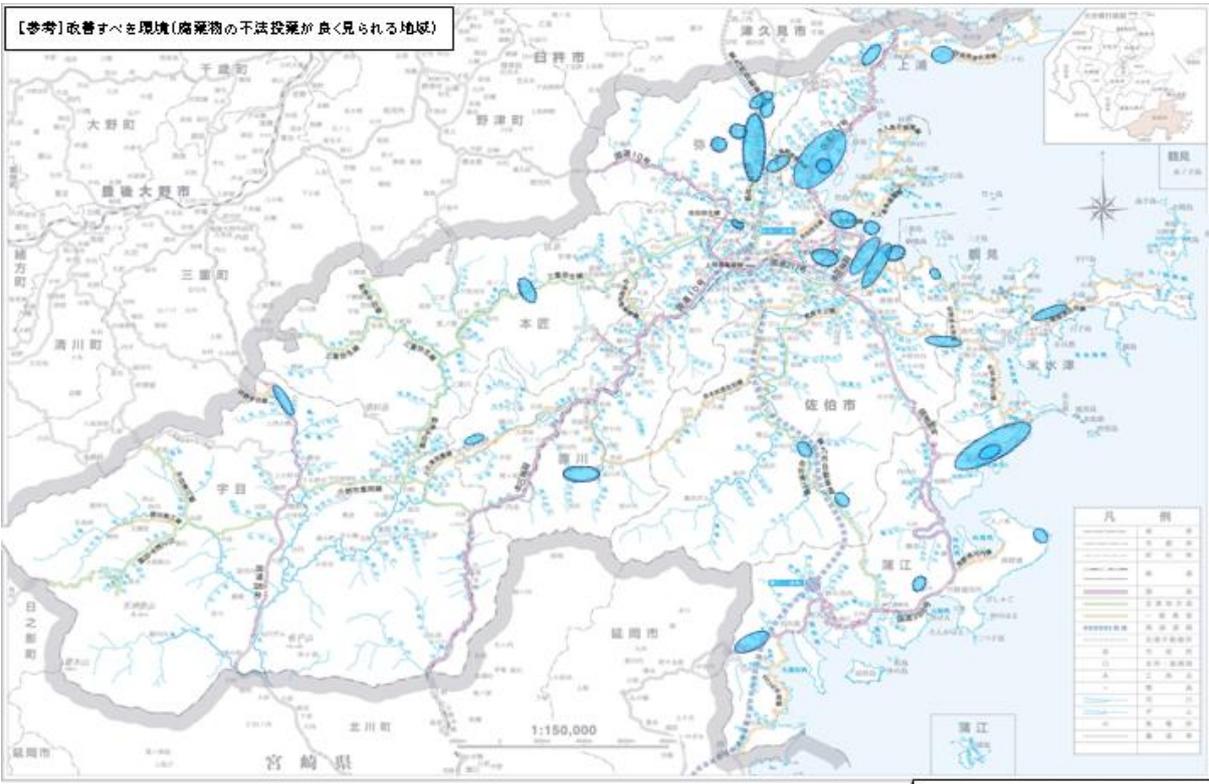
■改善すべき環境（特に放棄地が多い地域）

場所名	主に記入した人の住まい
海崎	佐伯
木立	佐伯
弥生江良	弥生

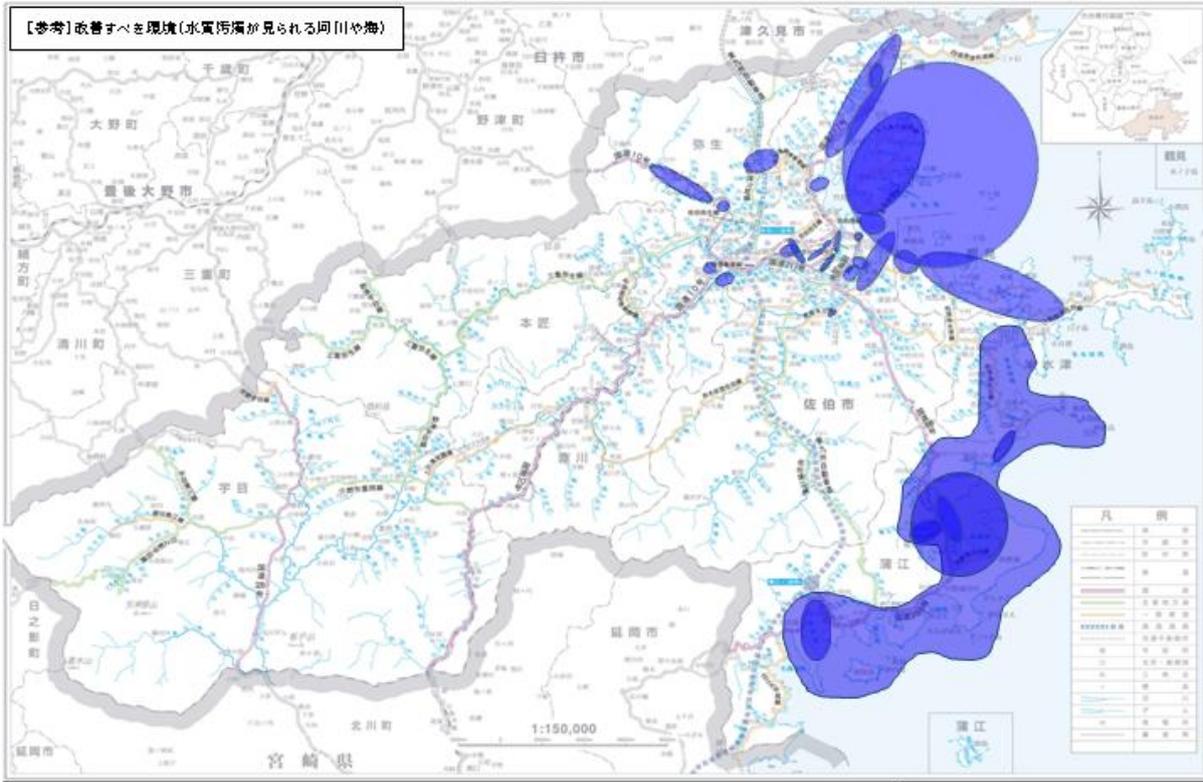




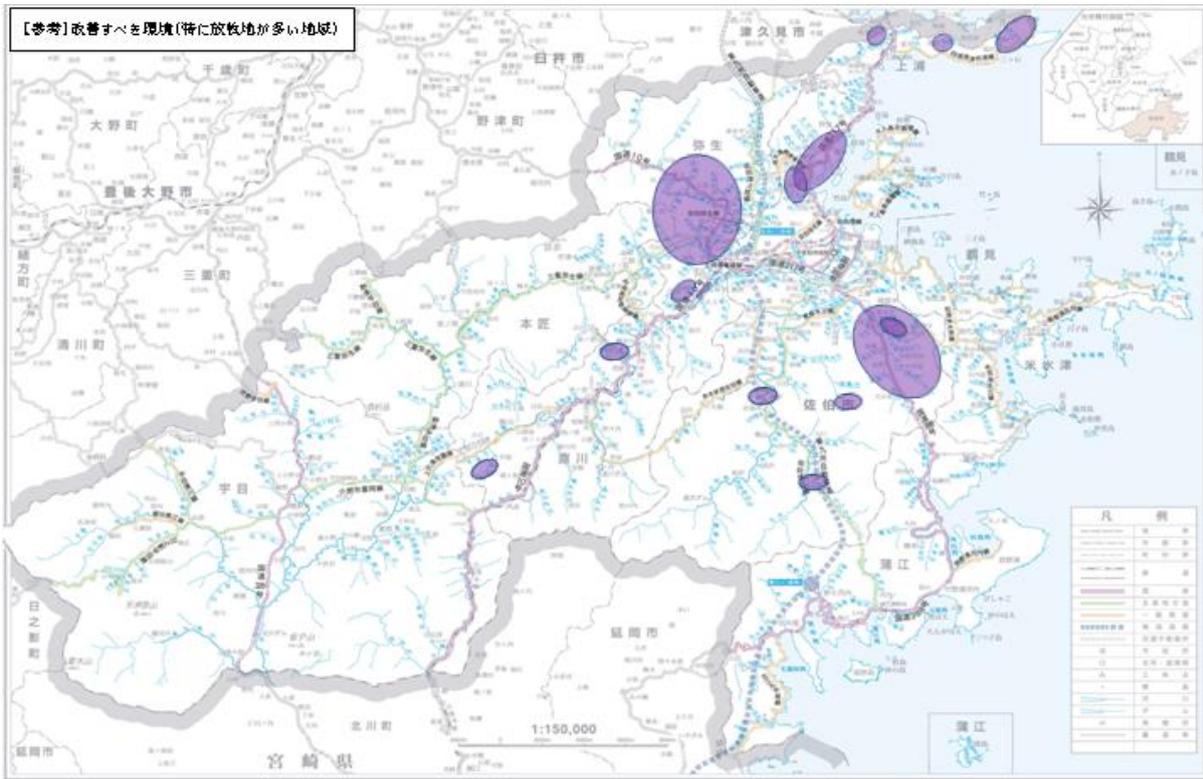
● は、回答のあったところを示す。



● は、回答のあったところを示す。



● は、回答のあったところを示す。



● は、回答のあったところを示す。

11) 自由意見

(一 般)

区分		自由意見	
河川について	治水等について	<p>昨年の台風で、番匠川の水位があと40cmで切れる（溢れる）ところでした。川底をさらってこれから起こるかもしれない水害に備えてください。</p> <p>川が浅くなり過ぎているようなので、整備してあしなどを残してほしい。</p> <p>佐伯河内川の川岸整備。川に木が生えている。川が掘れて深みになっている。川岸が崩れたら補修すると狭くなる。今後、豪雨の時代になってくるので、土地を購入して川を広くできないか。</p>	
		生き物、景観等への配慮等について	<p>川の土手に生えているあしやかやの植物が、台風の雨で海へ流れ出ないようにしてほしい。刈り取ったあしをその場所に放置しておくとうちに流れ出てしまう。</p> <p>新大橋から上岡まで土手を通勤しています。中心部はきれいに草刈りされていますが、端の地域は草が多いように感じます。土手の下も草刈りしたら何かに利用できそうなスペースがあるのにもったいない。歩道のさつきがとってもきれいですが草が多くて残念です。</p> <p>更に番匠川の保全（景観を含めて）をお願いします。</p> <p>旧大橋から新大橋の間のゴルフ場跡地の整備。</p>
			その他
	海岸保全等について	砂の採取について	<p>蒲江高山海岸から元猿海岸にかけては国定公園ですが、漁協の会員なら砂を取って良いとのこと。漁に使用するためなのでしょうが、取って少なくなった砂を補充するのに税金を使うのはいかがなものか。それをするくらいなら買った砂代を漁協（会員）へ入れてあげれば手間もかからず良いのに・・・（皮肉です）。</p> <p>トラックが海岸に下りて砂を取っている様子は見ていて不快です。</p>
		その他	<p>白浜（大入島）を昔の様に泳ぎの出来る海に。（近場でにぎわいを取り戻せるのでは）</p> <p>蒲江湾の周りを駐車禁止にしてください。交通が妨げられます。景観も良くありません。</p>
	公園等について	公園等の整備を望む	<p>公園等に孫を遊びに連れていくと場所によっては、公園は造ったものの整備をしていない。草ボウボウ。後の手入れもしていない。私のような高齢で元気な人もいるので、頼まれれば行って草取りくらいはできるのにといつも思っている。「たまには点検をして回っては」と思う。</p> <p>小さい子どもたちが近くに遊ぶところがなく、道路で遊んでいる姿を見掛けます。ドライバーの立場としても非常に危険を感じます。車の通らない広場の様な場所があるだけでも違うと思います。子ども達が安全に遊べる環境整備をお願いします。</p> <p>城山周辺に総合運動公園遊具広場の様な遊具の公園を設置して、子どもの頃から城山の自然や歴史に触れて、佐伯の良さを知ってもらおう。</p> <p>旧市内に大きな公園があってもおかしくない。先日、青島（宮崎）に行ったがイベントや、子どもも遊べるような施設があればよいと思った。それぞれ地区で小さな公園はあるが小さすぎる。もっと、たくさんの公共施設があってほしい。子育てがもっと良い方向で出来ればよいと思われる。</p> <p>公園などにお年寄りでもストレッチができる物を造る。外（自然の中で）で、ティータイムができる場所をいくつか造る。お金がかからず、誰でも行けてくつろげるような場所をいくつか造ってほしい</p> <p>見せるための公園よりも、皆が気軽に集まって憩う事が出来るスペースがある方がよいと思う。</p> <p>幼児などが安心して遊べる公園を造ってほしい。</p> <p>市営公園が多くあって大変良いと思いますが、遊具の場所の地面が余り良くないことに気がつきました。ベンチの側や木陰のある所、歩道の場所など園内はそれなりに歩きやすいのですが、遊具の側は足下が掘れて雨水が溜っていて、使いにくいように思いました。整地をしたら良いと思いました。</p> <p>城山公園の林に、街中の桜も良いけどのどかでのんびり、ゆっくりくつろげる大公園と、桜並木（川に沿った）を造ってほしいと思います。</p>

区分		自由意見
		宇目や上浦、本匠、直川と広い地域の中で、それぞれの場所で市民がゆっくり過ごせる公園など整備してほしいです。
自然環境の保全について	開発と保全の調和について	なるべく自然を破壊しないようにすること。守るべき環境が守れないために、私たちの生活が自然から脅かされていると考えます。
		綺麗な海・山・川。佐伯はいいところだと思っています。昭和50年頃、来る台風来る台風みんな通って行って「台風ぎんざ」と言っていました。その台風もよけて通るし、暑さ・寒さもそれほど厳しくない「佐伯はいいところね」と話し合っています。自然にはいくら逆らっても敵いませんが、人の手で荒さないように気をつけたいものだと思っています。
	開発と保全の調和について	以前、道の駅うめに久々に食事に行った際、テラスから桜が見れてきれいだったのに、遠くの山や川が見渡せないためか、かなり伐採されていて残念に思った。安全面の事情は仕方ないが、景観を良くするために過剰に伐採をしているように感じる所が市全域で多々ある。
		宇目ではキャニオニングなどの自然観光が行える程の自然が残っており、体験型のツアーなどが続けられるよう保全活動は必要になると思われる。 ”食”だけでなく、佐伯の自然環境も十分市外の人々に誇れるものだと思います。手を加えるだけでなく、本当の自然を散策できる観光として大規模な山と川の自然公園もできるのではないのでしょうか。設備や建物にかかる費用を山や川を守る資源に回してほしいです。
緑化の推進について		杉の15年～20年生までの間伐を進めて貰いたい。手入れの良い山を育てるのが望ましい。
		毎日城山を登っています。都合のよい施設があるので喜んで利用させていただいていますが、木を1本1本見て歩くと、朽ちた木が多いのに驚きです。朽ちた木を剪定しても無駄だと思います。選定する業者は、朽ちた木を市に報告する義務があると思います。市の担当者も年々変更されることですが、生き生きした木々の城山になるように申し送りしていただきたいです。
		地区にある里山は手入れもできてなく荒れて枯木ばかりです。
		高齢化となり里山の維持管理ができなくなり、草刈りをしたくても出来ない。除草剤を使う事が多くなる。ホームセンター等除草剤が山と積まれ、これを散布するのかもしれない、”ぞーっ”とする。
		佐伯ICを降りてから道路に雑草が多く、個人的に剪定をしているみたいですが、堅田ICとか中村北町みたいに佐伯市の花や、県の花、四季の花を植えたらいかがでしょうか？特に佐伯ICを降りてからは佐伯市の顔でもあり、1番先に目に付くと思います。そこら辺を検討してみてもいいでしょうか。
		杉林が多過ぎです。春は桜、秋は紅葉、四季折々の木々にしていただきたい。きれいな川（番匠川）があり、海ももちろんだが山も多く、その山を魅力ある山へ。また雑木も大切。海の幸も大事であると思う。私は、山についての環境づくりを期待します。（山の持ち主との対応を含めて）
		菖蒲園の草はきれいに取っていましたが、岸垣の草が残っていました。水はあまりきれいでない。四季折々の花が咲いたら良いのでは。
		1つの山を花の山にしてほしい。
		春夏秋冬 木の花・素朴な花等長期計画で取り組んでほしい。
		蒲江木立線の388号線の木立の道路沿いに四季折々に咲く花を見ながら運転をしていると、ちょっと車を停めて思わず写真を撮りたくなるような景色があります。そんな景色が多い花の多い町にしてほしい。（菜の花・コスモス・コスモスに似た黄色い花）
境美化 不法投棄・環境	不法投棄、ポイ捨ての対策について	老人が多くなる今、緑や草花のある風景が多くある方が望ましい。
		車の運転中のポイ捨てなど個人のマナーが悪い（継続して啓発）。
		林道や川沿いの杉林に不法投棄が目立ちます。ごみの日に分別して出せばよいのと思うが・・・。モラルの悪い人がいます。捕まえて罰金100万円位取り、2度としないようにしてもらいたい。
		ポイ捨てする子どもをみて注意はするが、もっと学校でも教育をきちんとすべきである。
		車の窓からのタバコのポイ捨ても多い。

区分		自由意見
不法投棄・環境美化	不法投棄、ポイ捨ての対策について	畑野浦トンネル内に「缶」の投げ捨て等が多いし、駐車するスペース（畑野浦側）には、弁当を食べたパック等が捨てられていてとても汚い。パック等を捨てる人の気がしれない。子どもは大人を見て育っているので、子どもにも影響があると思います。
		歴史と文学の道は、タバコの吸い殻や空き箱が落ちています。ごみ箱もないため拾って自分が持ち歩くには抵抗があります。他県からの来客の目もありますので、目立たない所へ寄せています。ポイ捨ては何とかならないのでしょうか。いろんな所にも落ちています。自然がいっぱいの佐伯市を後世に残していきたいです。自分にできる事を少しずつ行っていくように心がけています。
		鶴見大字松浦～猿戸までの林道は、道下にもものすごい量の不法投棄がされていて、佐伯湾が一望できる景観が台無しである。この景色が好きでときどき通っているが、今はあまり投棄されていないようだ。
		空き缶などを捨てる人が多いと思う。（他の地区から来た人だと思う）。
	地域での清掃活動等の推進について	地域全体での清掃活動を普及させるための具体案をアンケートを通じて記入することで、一人でも多くの市民に「環境問題」が認識されると思います。
		市民がみんなで参加するごみ拾い清掃に参加し、とても有意義でありました。また、参加したいと思っています。
	野焼きについて	農地・私有地にかかわらず、ごみを燃やさないでほしい。
		地球温暖化への取り組みが大きな課題となっています。小さなことですが、未だに家庭ごみを焼却している人や農業用ハウスのビニールを燃やしている人を見かけます。こうしたことへの取り組みも必要だと思います。
		市報に載っていましたが、住宅地での草刈り後等での草焼きは、本当にやめて欲しいです。市報、回覧等で何度か注意してください。
		ごみを燃やす事を止めてほしい。
	生活排水処理対策について	佐伯市は野焼きがとても多いと思います。私は、市外から引っ越してきましたが、田畑が多いからか季節の変わり目に毎日のように行われている時があります。洗濯物が干せない、窓が開けられないという不便もありますが、観光に来た人も嫌がるのではないかと思います。市報等で注意を呼びかけている所を見ますが、そのような人たちはあまり気にしていないと思います。いつもする人に対しては、個別の行政指導等をお願いしたいです。
		大入島地区の上下水道の整備を全家庭に。
合併処理（一般、下水道のない所）の浄化槽設置補助と管理。		
昔のように年に1度石灰消毒をすれば下水の虫の発生は減ると思う。佐伯市内であっても下水のふた（セメント）が古いものが多い。景観も良くないし、ごみが入っていて掃除もされていない。		
佐伯市における汚水処理整備率を早く80%以上にすることが重要と思う。		
公共下水の特別会計への一般会計からの繰入は不平等と思うので、下水使用料の値上げもしくは、合併浄化槽設置の家庭に対して、浄化槽管理費を助成すべき。		
旧市内は下水道が少しずつ整備されているけど、下水につなげる工事のお金を市がかなり負担しないと皆下水をつなげないような気がする。		
悪臭について	トイレの合併単独槽にも行政による定期検査を法制化して水質の改善をしてほしい。	
	海や川、工場などの臭いについてどうにかしてほしいと思います。	
	市中心部にまで広がる女島付近の鶏糞の悪臭は、非常に印象が良くないため、早急に改善すべきである。旅行者などからも臭いが気になるなどの話がでており、佐伯市の印象が非常に悪くなる要因の1つである。	
減ごみの方法、回数、収集方法等について	下水が臭い。	
	ごみ出しにおいて、前日やひどい場合はごみ収集車が行った後に出す人、燃やせる物も燃やせない物も混ぜて出す人がいるので、ペナルティを与えるなど、もっと厳しくすべきだと思う。特にその曜日でないのに出しているのが明らかな場合がよく見られるが、そのごみ箱を利用する所に例えば警告するとか、佐伯市全体でもっと厳しくすべきである。	

区分		自由意見
ごみの減量等	分別方法、回数、収集方法等について	肉・魚等のトレーと牛乳パックはスーパー等に回収ボックスがあるがなかなか持っていきることができない。一般のごみとは別に回収できないか。
		食廃油の持ち込み回収をしているが、持ってくる人は一部です。環境汚染になるし、業者は無料で回収に来る。リサイクルで来ているのだと思う。全体で運動して回収が進めば環境も良くなり、リサイクルで利用もできる。
		ペットボトルの普及でキャップが溜る。回収場所があると助かる。
	生ごみの減量について	残飯や生ごみを佐伯市では回収して焼却処理をしている。焼却ではなく自然発酵等の処理で堆肥等に出来れば焼却燃料が少なく済むのでは、また堆肥として利用できるのでは。
	その他	現在、スーパーのみがレジ袋に対応しているが、ドラッグストアやコンビニも同じ対応をしていけばレジ袋もずい分減ると思う。
		ビニール系の廃棄物が魚や食塩に影響があると何かで見た。徹底した回収、リサイクルを。
		新聞・古紙・ペットボトル・缶などのリサイクル
		犬の糞を始末する時でも、スーパー等で魚や肉を入れていたビニール袋を使用する。
		地域のごみ箱も破れている所はきちんと直すべきである。そこからカラスなどがつついて汚れてしまう。そのごみの片づけはきちんと出している人がしている場合が多い。
		蒲江エコセンター閉所で、今後見えない場所への不法投棄や野焼き等が増加すると思います。近頃、火災発生のお誤報が2件ありました。ごみ焼きが原因のようですが、確定ではありません。何が原因で火災が起こるのか。それを解決していくにはどうすればよいかを考えていかなければなりません。高齢化して「もう、先がないから若い人がすればいいじゃ」と言う人達をどのようにしてリーダーとか知恵を出してもらえるようにするかとか、考えなくてはとも思います。人手不足でもあり難しいことですね。
蒲江のごみ処理については、今年4月から車等により搬入ができなくなり、市の処理場まで持ち込まなければならなくなった。聞くところによると、時間によっては処理場についても相当の時間並ぶようで、旧道や山道等まさに不法投棄が心配されます。何か方法はないでしょうか。海岸や畑のごみも燃やすことが難しい状況下、以上のことを含めお願いします。		
とにかくあちこちにごみのポイ捨てをしている人が多い。自分のごみは持ち帰ってほしい。		
バイオコークスの製造？		
何時も環境については意識しています。紙くず等は出来るだけ家庭の焼却炉で燃やし、ごみを出さないよう心がけていました。今までは、家庭のごみはプラスチック、ナイロン、発泡スチロール等を選別して出していました。ところが、畑の雑草、落ち葉、家周辺の木々等焼却禁止が打ち出され、ごみの減量どころか我が家ではごみ戦争です。特に悪臭のする物は一切燃やしたりしていません。国や行政はきれいごとばかり言っていますが、われわれにとってはとても辛い気持です。今後、ますますごみ出しの量が増えそうでいやです。		
地球温暖化対策	運輸部門について	大分市内のようにワンコインバス（マイクロでも良い）があれば、各家庭での自動車の利用も減り、排気ガス減少にもつながるのでは。
	新エネについて	自然力利用の発電設備を補助して、原子力発電をなくす方向に力を入れてほしい。（市レベルでは無理だろうが少しでも）
	その他	CO2排出量削減のためにLED器具の導入等に補助金を。
		各家庭において節電・節約は毎日のことなので、日頃より心がけていると思います。
道路	道路の整備や改善等について	地球温暖化対策をいくら日本がしても、中国がメチャクチャだから追いつかないと思う。テレビを見て無理だと思った。
		本匠の水車やホテルを見に行く時は、道路が狭くいつも考えます。
		交通事故を防ぐために、国道・県道などの白線が消えかかっている場所の対策をお願いします。
		中浦・丹賀・梶寄は大雨・大波・大風・津波・地震等あらゆる災害で県道

区分		自由意見
道路	道路の整備や改善等について	が寸断された場合、松浦～猿戸までの林道が頼みの綱であると思う。どうか環境とともにこの林道の整備をお願いします。
		樺原祭典場へ行く道路を整備してほしい。ガタガタ道で水溜りが出来ています。
		中山トンネル（自転車通学に対して、道路幅が狭い）。中山トンネル上のトンネル（トンネルの中が暗くて見えづらい、通学路に草が多く危ない）。
		私は本匠西地区に住んでいます。自然および環境はとても素晴らしい。と思いますが、道路状況が非常に悪いので素晴らしさが半減するような気がします。どうにかならないものかと日々思っている。行政の方でもいろいろ考えてくださっているようですが、難しいですね。
		私の地域の主な道路は 388 号線のみ。もし災害で茶屋ヶ鼻橋が不通になった場合は大変なことになります。しかし、移転や転居は簡単にはできません。
		老人が多くなる今、道路の整備が必要である。
全般	普及・啓発、環境の推進について	全体的に思うが子どもに学校で環境（ごみ出しなども含め）について、もっと教育すべきである。その内容は大きな環境ではなく、まず身近な環境の勉強をきちんとしていくべきだと思う。大人からではなく子どもの頃からその意識を持つことが重要だと考える。また、親も勉強すべきである。
		環境への関心度を高めるため、子どもから大人まで講演会・活動等気軽に参加できる機会があれば参加してみたいです。
		小学校・中学校・高校の環境への取り組みに助成金や表彰などを増やしてはもらえないでしょうか。
		年度ごとに環境モデル地区を表彰してはどうでしょうか？（又は団体・個人）。
		市報等で行政の取り組みを PR すべき。
	住民、行政等の活動、協働の推進	景観や自然保護などの取り組みを行っている個人・団体を拾い上げ紹介する。（市報、CTS など）
		【要望】 今後、過疎・高齢化が進み空き家や空き地・耕作放棄地等が拡大することが予想されるので、生活環境の維持、保全を目的とした地域対策を行政と地域住民が一体となって検討してもらいたいと思います。
		現在の環境問題は子どもと大人が共に考え行動する方向性こそが未来を造るための大切な課題だと思います。また、佐伯市の環境という観点から考えれば、市としてイニシアチブが重要である事は言うまでもありません。個人や特定の団体（NPO）による行動では、思想や行動が偏り意見の違いなどによる分裂などが懸念されるところです。市による高度な意思決定と強い指導力を一市民として期待しております。
		環境づくりは市民や事業所・行政・地域が協力して取り組むことだと思う。私は80歳ですが、地区の清掃には力を入れています。雑草が今から伸びてきます。暇をみては、ビーバーで道路の両側をはきます。道路などは、1人1人の心がけだと思います。
		山・海・川すべて揃っているのだから、そこを重点にしてより快適で皆が行きやすいところになればよいと思います。例えば、宇目のチューリップ祭は有名になっているけど、場所を知らないと言う人が多かったです。駐車場の整備も兼ねて四季折々の自然を楽しめる場をアピールしたらと思います。まず、地域で連携していくとよいと思います。
	農村環境の保全について	地域の溝掃除もしないで石灰を撒いたり、掃除をしない人がいるのはおかしい。もっと、厳しくすべきである
		シカの被害は田畑だけでなく山林にも及んでいる。シカが増えない対策を。
自然林（雑木林等）をもっと多くした方が鳥獣の害が少なくなると思う。人工林（杉等の造林地）は鳥獣のエサも無いし山自体がやせて山崩れ等が起こりやすいのではないかな。		
イノシシ、シカ、サルに困っている。何とかしてほしい。		
人間と動物がお互い過ぎしやすく共存ができる方法がないか。		
	個人所有や共有林、国有林の杉や桧の山を伐採期の順に伐採する事。山々の尾根や海岸近くには造林しない事。	

区分		自由意見
全般		営農者の廃ビニール対策が不十分。現地の視察指導を強化。 市有林の下刈を。
	犬・猫等 の適正管 理につい て	ペットを飼っている人も糞など知らないふりをして、そのままにする人が多いので、佐伯市全体で厳しくすべきだと思う。 犬の糞を放置している人がいて、それを自転車に乗っている人が踏みつけています。何とかならないものではないでしょうか。 野良猫・鳩に餌をやる人がいて、大変迷惑をしている。ベランダの手すりが汚れた。プランターの草花を踏み荒らされている。 子猫を捨てられて地域に住む住民としては困る。(昔よりも猫(捨て猫)が多くなった)人間性のモラルが悪くなっているのではないかと思う。
歴史資源 の活用		藤原の古代遺跡のイゼのドブ上げをしてもらいたい。一度、業者に頼んでドブ上げをしたけど自分の所だけでは焼け石に水であった。すぐにドブが溜ったので年に一度くらいしてもらいたい。 戦争の跡や防空壕など、今からの人に伝えることが必要だと思います。 部所の歴史跡・場所はいつでも足を運べるようにしておいた方が良く思う。例えば、城山の男池・女池の清掃。山椒魚がいたりするらしい記はあるが、草が生繁っていて近づけないような状態だし(これは城山の持ち主との関係もあると思うけれども・・・)。城山は白方の方から登れるが道が悪いし、切り株があるのに箱ものばかり造ったりしているのが目に入るし、もう少し史跡跡とか遺跡跡を整備した方が良いのでは・・・。 榎牟礼城への林道を整備すべき。 武家屋敷通りの桜は、以前は夜ライトアップされていたが今はない。期間も短いので是非復活してほしい。 市のシンボル城山の石垣が、どこからでも見えるようにすること・・・。 守るべき環境です。 城山の手入れ。 城山に城を建てる。 城山は多くの人々が登る場所として清掃活動を続けていけば良いと思います。
	その他環 境全般	歴史資料館に行き館長さんの詳しく丁寧な説明を受け、はじめて佐伯について考える時間を持つことができました。歴史の持つ深さや自分自身のルーツについて知ること環境づくりをするためのモチベーションになると思います。また、佐伯市のことを改めて問われても、知らないことだらけだということも分かりました。子どもさんを連れた家族が利用できる施設が身近にあり、安く利用できることも活性化につながるのではないのでしょうか。 佐伯市は海も山もあり緑が多く空気がきれいだと思います。そうゆう意味の環境改善は先送りにして、まずは身近な環境問題から改善してほしいと思います。 ◎毎朝家の周辺を5～10分程度掃除するごみ0運動 ◎廃屋を積極的に処分していく放置家屋0運動 ◎地震対策にもなる電柱の地中化運動などはいかがでしょうか。 環境改善という意味では、東浜方面からの臭いは公害だと思います。誰も不満を言わないのでしょうか。こういった改善も自治体の役目だと思いますが・・・。 正直、暇やゆとりのある人しか公演や活動なんて参加したくてもできない。省エネカーを推奨されても車を買って替えるほど豊かなのか?と思う。ポイ捨てやリサイクルは小学校でもっと力を入れて小さい頃から教えた方がよい。行政が綺麗に街観を整えてほしい。 タバコのマナーが悪すぎる。歩きタバコで平気で通学路を通る人や、ドラッグストアとかの駐車場の排水溝?にタバコを捨てる人。車からポイ捨てする人。禁煙に市で取り組んでもいいのでは?また、未だに改造した車が多い。目に付くのもっと取り締まってほしい。分煙をもっとすべき。市のメインストリートになる所や、IC入口にもっと花があってもいいと思う。また、街灯が少ない道路は危ないだけでなく、ポイ捨てや不法投棄される原因になるのでは?街灯が切れている所や夜暗すぎる田舎の地域の

区分	自由意見
全般	<p>方にアンケートを取って、道を整備することでもっと地元民の自意識を育てた方がいいと思う。汚いし田舎だから別にいいやと思ってしまう場所が多すぎる。(コスモタウンが賑わっている反面、脇区の方の小道が狭くて暗くて心配になる。川も汚い。よく水害もあるしポンプが詰まる程ってどうかと思うので、川をきれいにした方がいい。個人でどうにかなるレベルではなくもはやドブです。)</p> <p>鶴岡高校(現:豊南高校)の前の道路沿いの道。毎日どこかのおじちゃんが椅子にすわりながら少しずつ草むしりをしているので表彰ものだと思う。反面、高校側の草の多さが目立ちます。高校でどうにか出来ないのだろうか。</p>
その他環境全般	<p>他県より縁あって佐伯市に住んで二十数年経ちました。気候も温暖で、とても住みやすい街だと思います。来た頃にはなかった高速道路や、コンビニ、大型商業施設等もできて、暮らしの不便さもかなり良くなったと実感しております。その分、他の土地と同じように住民に知らされぬ間にソーラーパネルが急に設置され、のどかな風景の素敵だった場所が次々と変化しています。一度設置されてしまうとあつという間に増えてしまった感じがして、身近な場所にも沢山あるのが現状です。花を育てたり日々省エネに努める等、一住民として小さな事から環境を守る心がけをしていきたいと思いますが、前記したソーラーパネルのように市民の不安を招くような物がむやみに増えることのないよう願うばかりです。</p> <p>最近、川ゴケが少なく海の磯焼けが目立ちます。原因は何か?過去、家や畑周辺に除草剤を散布していたらミミズがいなくなった。除草剤を使うのを止めて5年後にやっとミミズが増えましたが、現在7年目もぐらが増え苦戦中。何か良い知恵はないものか・・・。</p> <p>いくつかの場所に、歩道・桜の木などを植えて桜ロードにする。</p> <p>個人の力で山を整える事は、今はとても難しい時代なので自然豊かな山林を生かすためにも行政の力で積極的に山林を整えていただくシステム等を開発していただけたら幸いです。</p> <p>本匠周辺は、緑も大変多く、過ごしやすい。番匠川も美しく、ごみ処理場周辺の景観などはきれいです。美しい環境も多くあると感じています。</p> <p>佐伯はとても美しい環境に囲まれていると思います。古い建物を大事にすることも大切ですが、調和のとれた街づくりを進めてほしいと思います。</p> <p>古い文化財などを若い世代に知ってもらい、将来に引き継いでいけるようにお願いしたいと思います。市中心部も大事ですが、周辺部にも歴史的に有意義なものもあると思います。市民に広くPRするチャンスがあると思います。</p> <p>各振興局では自然が多く残っているが、文化の担い手となる人そのものが減少しており、木浦鉾山の「すみつけ祭り」などがいつまで存続できるかがかかりである。</p> <p>通勤時に道路わきにごみ袋が投げ捨てられているのを見ると、とても残念です。でも、時々道路のごみを拾っている人を見ると、心の中で「ありがとう」と言う。この方達が一人でも二人でも増えればと思う。</p> <p>環境作りで重要なことは、住民一人一人が意識を持って取り組めば、空き缶やタバコの投げ捨て、たまにはリサイクル券を購入し、処理業者に持ち込みをしなければならぬ電化製品が捨てられている現状が少しずつ変化していくと考えます。クリーンエネルギーや地球温暖化といった大きな問題よりも、小さな一歩が大事だと思います。</p> <p>インフラの整備を最優先してほしい。</p> <p>あまり地域から出ないので他の地域のことにはよく分からず、守るべきところは沢山あるであろうと思うのですが思いつきません。今からでも人間生きて行く以上、地域を守り、自然を守っていくことが生活していく上で一番大切だと思う。</p> <p>城山を中心とした街、田舎ならではの雰囲気のある場所づくりを考えてもらえたらうれしいです。(映画や買い物を楽しむ場は大分市が近くなったので若い人や私たち年代も佐伯には求めていないと思います。無理のないのんびり帰って来れる所であってほしいと思っています。)</p> <p>古い旧家を壊さず放棄したまま転居した人がいます。何時瓦が落ちるか解</p>

区分	自由意見
全般	らないようになっていて、みすぼらしくもあり危険です。屋根のおちかかった家は早く片付けて更地にしてきれいな村にしたいです。
	空き家が多いことが気になります。空家だけど仏壇があるのでそのままにしている。空家だけど何年かに一度、子どもが帰る。(家を見に)等、理由はいろいろあるようですが、空家が増えていくことが気になります。
	大変難しい問題です。皆が良い事、悪い事の原点を守ってほしいものです。ごみ処理は、区分別に従うこと。不法投棄はもってのほか!! 仕事上、騒音・振動・・・が出るのは仕方ない点はあると思う。皆、生活しているのだから。
	友人に誘われて良く直川の吹原に出かけました。子供の頃の懐かしい風景や川の水音などに癒されて帰ってきます。たまたま、私が何度も行って印象深いので守るべき自然に吹原の地名を挙げましたが、佐伯には印象に残る・残したい田舎が沢山あるように思います。このアンケートに答えたのを機に、自分の暮らし方をまた、見つめなおしたいと思います。
	他県で行われているエコトレッキングの様な活動があれば参加したい。以前、ウォーキングしながらごみ拾いを行うような事をしていたので良いと思います。
	私は長年仕事で5S活動を行っているせいか身の回りの無駄と思うことはしませんし、環境を乱さないようにしていれば十分だと考えます。例えば、老人会のような団体の方が公園やトイレを綺麗にしていれば乱さないように使ったりしています。特に、上浦地区が「ひどい」と言うようなことは聞いたことはないです。
	生き物が生存できる自然を大切にしてほしい。人類は皆一緒です。
	空き家・空不動産の整理
	空き宅地の草刈等の対策を、何とか考えて欲しい。
	道路の街路樹は、近年見通しの悪さなどを誘発するのでない方が良い。その予算を回して皆が集える楽しい公園ができれば良いと思う。(福岡の植物園や、宮崎のこどもの国のような遊べる施設)
	田んぼの非耕作地の雑草について、自分は切って枯れたら焼く野焼きと同じ考え。田んぼの非耕作地の雑草を切ってくれないのはどうしたらよいか? 田んぼの放棄地は税金を高くすると聞いたがどうなっていますか。(高くなると言って自主的に草刈りをしていた)
	海・山・川 温暖な気候に恵まれた自然豊かな佐伯市。自然を守り共に生きる事が大切な気がします。
	茶屋ヶ鼻橋を渡り木立に向かって右手。川には鴨が飛来しのどかな風景があるにもかかわらず、川の土手は雑木・雑草ばかりです。土手に桜の木を植え、左手の田んぼ・休耕田に道の駅を造り、木立や堅田の野菜や花を並べて周りの公園で老若男女が春にはお花見できればと思います。
	茶屋ヶ鼻橋を渡り木立に向かって右手。川には船を浮かべて川から桜を楽しめるようにしてほしいと思っています。
	自然環境やリサイクル・リユースについては多様な情報があり、どれが正しいのか判断しかねている。今後もっと研究がされるべきである。
	山があり、海が近くにある。自然が沢山の佐伯は、とても環境に恵まれていると思います。未来にこの自然の豊かさを残していく為にも、大切な事だと思います。1人1人が住んでいる場所、周りの人とのかわりに興味をもって過ごすことで、環境も違ってくるものだと思います。身近なところから、初めたいと思います。
	民間に設置された重機等の会社。どんなものが含まれているか解らないホコリと騒音で、精神的に良好ではありません。重機や大型トラックが移動するとき又、風の日等すごいほこりが立ちます。このような機械類は、民間から離れたところに設置してほしいと思います。
	高齢化に伴い放棄地が年々多くなっている。害動物が多く駆除が追いつかなくなり、ますます佐伯市周辺は荒れ放題となって行くのでは?
	野良猫に餌をやるなど言われますが、餌をやらないのは虐待とは違うのですか? 避妊手術の費用の補助をお願いします。
	街中や歩道にベンチを設置してほしい。

区分	自由意見
全般	定期的にフリーマーケットをしてほしい。
	各地域で自宅周辺の除草作業を行う。
	海・川共にきれいなので、それを維持できるような活動も大事だと思います。
	若い人の集まれるような環境ばかりでなく、年老いた私どもの環境も考えてください。地場商品（野菜・魚・地元の物を使いたいです。）
	自然保護活動（特に、自然林や動物等）の実態調査。
	山林の多い佐伯には手つかずの山が沢山あるのではないのでしょうか。出来ることなら行政の方に立ち上がっていただいて、そういった山林を整えたり、山の木を利用してもらったりしたら山林も生き返ると思いますし、竹や杉、檜等素晴らしい自然素材が目の目に当たれるようになるのではと思います。また、山を整えたら山の動物の食材も増え、イノシシやシカによる畑などの被害も少なくなるのではないかと思います。
	私の住む周りの環境を考えると海岸は浜辺がなくなりコンクリートの岸壁ばかり、川もコンクリートで固められています。地区の人は地区で作った花畑や家の前などに皆美しく花を植え、きれいに咲いているけど、昔みたいにそこに飛んでくる蝶が全然いなくなりました。
	木立も歩道が出来て安全な道路になるのはとてもいいことだと思います。でも、花がなくなるのではないかと心配です。
	うちでやっている些細なこと。フライパンやお皿を洗う前に廃棄するような布で拭き洗う。出来る限り洗剤を使わない。
その他	大手前開発と仲町銀天街、城山と歴史と文学の道を一本化した観光ルートで誘客を図る。
	津久見四浦半島が河津桜で有名になっているので、上浦も桜を植えて佐伯の方まで観光客を呼び寄せ、市内で食事をしてもらい高速道路を利用するようになれば良いのでは。
	蒲江を魚の町と言う事に加えて、花の町にしてみてもどうでしょうか？珍しい「カマエカズラ」を栽培し、野地菊や浜木綿等もっと手入れをして観光化すれば良いと思います。今年仙崎に行った人に話を聞いたのですが、昔は沢山咲いてとてもきれいでした。貴重な花なので惜しく思います。復活してください。
	養賢寺から城山にかけての城下町の街並みについて、観光客が来るようなお店（おみやげ物）を造ったりしてはいかがでしょうか。白杵も少しですがそういった街並み造りをしているようですし。
	水族館うみたまごやつくみイルカ島など海の生物に精通した職員が多い企業施設と協力して、佐伯市の海の環境問題を解決し、今以上に「海が美しい佐伯市」を PR 出来るようにしてほしい。前に述べた企業の協力を得て、佐伯の海にイルカの群れが沢山来るようになってほしい。
	佐伯の歴史を知るために観光名所ツアーを取り組んだらどうでしょうか。
	山際通りは物足りない。（冬時は甘酒等、夏場は特に涼しさ、冷たい飲み物、甘い物等。常備した店舗でもあれば散歩がてら又、楽しさが増えるのでは）※観光客から：「建物だけで寂しいネ」という声を聞きました。
	宇目には、藤河内溪谷や夏木山、傾山等があり、いろいろな植物や動物、自然と、豊かです。エコパークにも登録されました。たくさんの人々に来てもらうためには、道路や駐車場の整備が必要です。また、大勢の人が来る中、自然を守るためにはトイレ等の数が足りないように思えます。自然を守りながら宇目の自然に触れられるような細かな工夫が必要なのではないかと思います。
	藤河内も立派に誇れる自然です。観光面でもっとアピールできるかと思えます。キャンプ場も多く、オフシーズンに何か活用ができればと思えますが、今のところアイデアがありません。
	他の地域より来られた方にゆっくりできる場所（無料）があると、観光面も充実するのではないかと思います。
	大手前の開発をもっと考えて欲しい。今のままでは佐伯市はあまり向上しないと思う。九州一広い佐伯市に今の文化会館よりもっと大きい（収容人数：1300人）会館を造るべきだと思う。テレビで全国の会館状況を見ると、収容人数がずいぶん多い。現在の収容人数では外部からの入場者が

区分	自由意見
その他	あるような催しは出来ないと思います。佐伯市のますますの発展のため、新市長に期待しています。
	街の活性化を念頭に環境造りを考えていただきたい。そのためには、道路整備や人口を増やすこと、お祭りなどの娯楽のある街作り。
	佐伯の中心は、佐伯小学校周辺・大手前・城山から歴史と文学の道あたりだと思っのですが、人が減っている感じ、さびれた感じは否めず寂しさを感じます。
	きれいな街にする・・・花のある街づくり。（寿バラ司町（寿司とバラの花）はいかがでしょうか。
	ゴミのない街・・・ゴミ屋敷に注目！（特に汲心亭の前の空き地が汚いので至急！）
	城山を中心とした街、田舎ならではの雰囲気のある場所づくりを考えてもらえたらうれしいです。
	空き家の有効活用（子ども食堂とか、シルバーレストラン）
	鶴御崎の展望デッキを整備すること・・・改善すべき環境。
	海から見る観光客が増加している。宮崎県や阿蘇の方から遊びに来る人が多くなった。高千穂から来る老夫婦は私の自宅前の海辺でアジを釣る。大抵、バケツで半分くらい釣って帰る。 海岸コースのトイレ等、環境整備して海辺のルートを楽しくしような！ 「海辺の駅」 5 kmか10 kmごとに！ 阿蘇周辺の小さな学校は、生徒・先生・PTA 全員でレクリエーションにくる。「海水で泳ぐと体が軽く上達が早い」と毎年来る。 米水津はトンネル工事も始まる。交流人口を増やすため、海からの視点に立った交流増の発想を！
	濃霞山と長島山を整備して、いつでも気軽に市民が散策できるようにする。テーマ「山の日に登る」・コース「城山～長島山～濃霞山」 ※スタンプ記念品つき（津波対策にもなると思います。）
	宇目・直川・本匠など川の流域を利用して自然のプールや水遊びのできる施設を造って、市街に行かなくても楽しめるようにしてもらおう。
	環境づくりと関係があるかどうか分かりませんが・・・先日、豊後高田の昭和のまち商店街に行きました。店主の皆さんの笑顔が素敵で、大歓迎（ウエルカム）な雰囲気がとても伝わってきました。地域の活性化と言われますが、「頑張ってるなあ～」と思いました。 佐伯の商店街の皆さんも頑張ってもらいたいです。そして、そこのカフェのご主人から聞いたお話ですが、佐伯を会場にした地域活性化イベントがあり、会議の後に佐伯寿司を食べさせてもらえるとすごく期待していたのに、とてもがっかりしたとの事でした。（味も見た目も）市役所の方が案内してくれるからすごく楽しみにしていたけれど残念だったと言われ、こちらもとてもへこんでしまいました。お店の名前は分かりませんが、おもてなしする側の問題かと思います。その時に、おいしいお寿司を食べてくれたらきっと商店街中の方にも宣伝して下さったでしょうし、お客様にも伝えてくれたことなのでしょう。とっても残念です。
	佐伯市は広いので、地域住民と一緒に環境造りに励んでいけるような活動をしていただきたいです。以前、東京に住んでいましたので、佐伯市は本当に自然豊かできれいな所だと感じています。今後、今あるものを最大限に活かせるような活動に期待したいです。
	各地で月1回くらいフリーマーケットなどを開催して、リサイクルや野菜なども売ったりして地域活性化にもつながるのでは。
	仲町も貸店舗等安く市が応援して、入居者の斡施を計ってみては。
	仲町が空き店舗が多い。居酒屋・屋台等など福岡のように一同に集まって営業は？
	各旧町村の特産品の店舗等 PR 出来るのでは。
	駅の周辺を便利でにぎやかな街にしてもらいたい。
	道の駅を沢山造りすぎだと思います。
	南海トラフ地震など、地震に耐える建物の耐震強化をしていくように環境整備をお願いしたい。今ある建物は、特に公民館など古い建物が多いと感

区分	自由意見
その他  防災、防犯について	<p>じます。住民が安心して避難できる大きな建物があれば良いです。ホテルなどを利用し、災害時は避難所として・・・。災害についてもっと取り組むべき。自然を重視した環境も、災害があれば意味がない。人口が減少すれば意味ないと考えます。</p>
	<p>灘から女島への橋の建設。津波の時、市内から避難する時のために利用価値は高いと思います。</p>
	<p>向島・中の島方面は津波の避難場所は城山らしいのですが、老人は着くまでに溺れてしまう。</p>
	<p>弥生の檜野、家が立て込んでいます。しかし、道幅の狭い通路にも拘わらず、海拔がキッチリと表示されています。これは非常に良いことだと思う。宝年4年(1707)の地震から310年。番匠川も当時とは違い土砂が積もり川底も浅くなっている。地震の規模にもよるが、土手を乗り越えてくることも考えられる。弥生方面10号線を3~4Mに達することも想定される。海拔表記を明記すべきである。</p>
	<p>私有地において危険なところが各地域であると思うのですが、そのような地域の安全に対する改善対策はどうしていくか尋ねたいです。</p>
	<p>街中で夜に暗い所があるので、電灯を付けるとか見直す所は見直してほしい(暗いごみを捨てたりする人がいるので)。</p>
	<p>水害・災害に対しては不安がいっぱい。山がいっぱいあるが、避難する場所、避難経路に不安を感じる。何故なら高台に避難場所がない。どこの避難場所にも移動するも川沿いは避けられない。津波が来た場合、渡町台では心持たない。城山や花みずきのような高台がもっとあってほしい。山近くに住んでいる人はそこを登るにも獣道が崩れる心配がある。災いはないにこしたことはないが、「備えあれば憂いなし」、公民館や学校も特に高台ではなく、民家と同じ高さに建っているため安心ともいえない。予測不可能なことが起こる現代、考えすぎだと笑ってもいられない。何故なら台風の際に増水で浸水被害を受ける家もあるのだから。</p>
<p>街並みの景観などよりも自然災害に対することの方が関心がある。台風などによって土砂が崩れたり etc・・・。そういうことの方が大事なのは。毎年自然災害に悩まされているので、公園・文化財・野鳥など正直どうでも良いです。上浦・蒲江・鶴見・米水津をもっと見回って危ないと思われる箇所の対策をお願いしたい。</p>	
その他全般	<p>市民の皆さんは、環境美化条例第5条を知っていますか? 「さいきが一番」そう思って生まれ育ったこの町に住んでいます。自然と食の佐伯は素晴らしい環境です。</p>
	<p>散歩中のペットの糞処理(スコップ・バックは持っているが、処理しない人がいる)。野良猫等への餌やり(自宅周辺で糞・尿被害あり)。以上の事について、確認した時に連絡できる担当窓口を設置し個別に注意を行う。</p>
	<p>包装をもっとシンプルにしてほしい。お菓子・キャンディの個包装はしなくてもいいんじゃないでしょうか。</p>
	<p>南海トラフ地震があれば環境造りどころではないので、まず、優先することが他にあるように思う。</p>
	<p>まず、各自が身近にできることからきちんとできるようにしていく。</p>
	<p>市の施設(ごみ処理場、下水処理等)維持管理。</p>
	<p>佐伯市内の中心部のお店が少なくなり、シャッターを降ろしているところが多いのでさみしいです。老人になると、郊外のお店には運転できるうちは良いのですが、運転できなくなると困ってしまいます。中心地はもう、活気づかないのでしょうか。</p>
	<p>鶴見吹浦と灘を結ぶ「ふれあいトンネル」の灘側出口から、早急に女島の方に橋を架けてほしい。この橋が架かると南海病院や中央病院へ一直線で行くことができる。これは、救急車の病院到着時間の大幅な短縮になり、助からぬ命を救うことができるのです。</p>
	<p>環境だけをターゲットにするのではなく、街づくりも踏まえて行政のみでなく地域一帯で進めていかないと継続しないし、良い環境にはならないと思います。 ペットボトル等子どもが遊べるようなものは遊んだりして捨てるようにし</p>



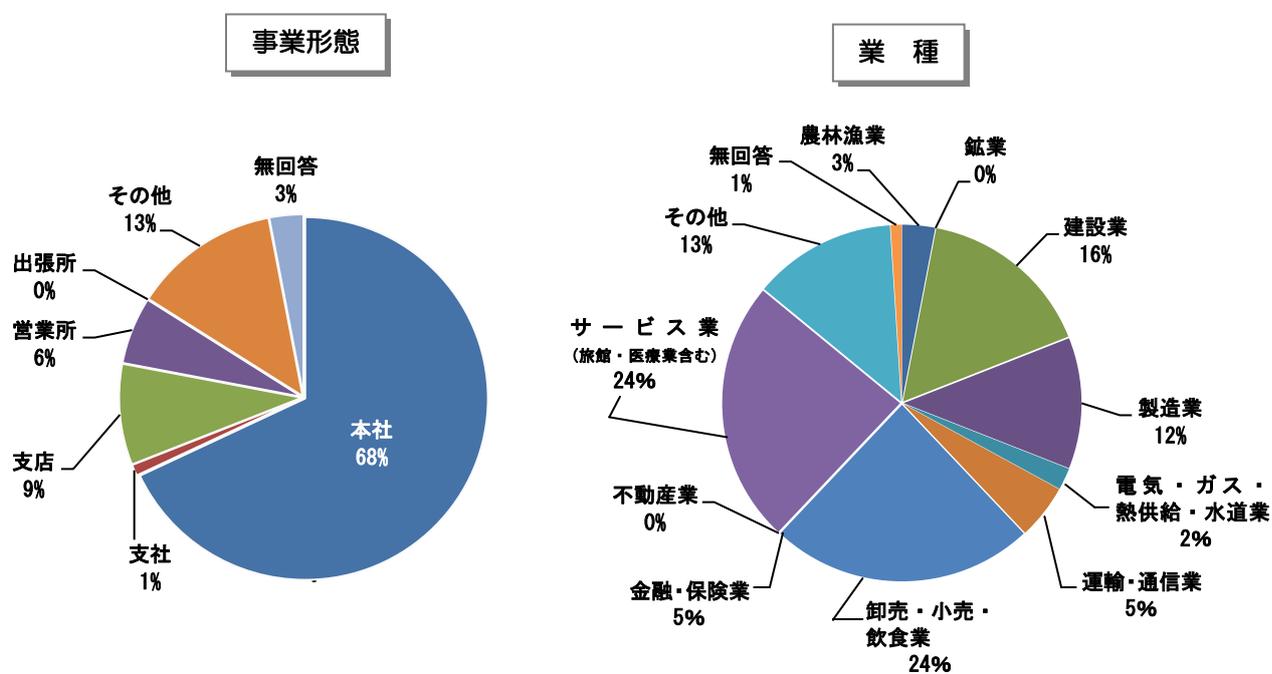
区分	自由意見
その他	<p>佐伯の環境づくりについてですが、実施する内容を1つに絞って活動してほしいです。ひとくち環境といっても海・山などの環境なのか、歴史的建造物等の景観という意味で環境なのか、多々あると思います。</p> <p>私は、身体障害者のため車いすを利用しており、社会や地域の活動に参加できる状況がなく、特に意見することはありません。前に寿屋があった場所によく行ってまいりました。寿屋のような施設が家の近くなく、バスも利用できないのでさみしいです。</p> <p>私の生活している場所は、大分県と宮崎県にまたがる高地に位置している。昔からの考え方で下流が環境整備に努力しても、上流の私たちの地域が努力しなければ効果はゼロに等しい。ごみの廃棄物の処理についても人のつないで疎雑地域に行政は許可を出しているが、私たちの基本的な考え方、つとのないように心がけているつもりだが、行政では1番心配される処を許可している。このようなアンケートを作って行政で満足するにように心がけたいものです。</p> <p>病気で出て歩くことが困難で、周りの事がよく分かりません。</p> <p>景観対策で電柱の地中化（城山周辺だけでも）。水道管のやりかえ（古い管）。市内は赤水が出る事が多い。鉄管のやりかえ（濁った水は飲めない）。</p> <p>まずは、苦情の多い地域から手をつける（臭いは難しいが）。非常に難しいが、自然環境は良いと思うので維持することが大事。</p> <p>佐伯は「今持っているものの素晴らしさ」をきちんと確認した方が良いと思う。豊かな自然食材。美しい新緑や海。そういったものを磨きかけるは、今の状態をキープするために人材を投入したり、お金を使ったりして欲しいです。一度失われた環境を取り戻すには、お金も時間もかかり行政こそ、そうゆうところに意識を向け市民を上手に巻き込みつつ、佐伯にしかない素晴らしさを内外にPRしてほしいです。特に小・中学生への啓発は大切にしてほしいです。素直な子どもたちは環境の事なれば伯へ受けて止め積極的に取り組もうとしていきます。佐伯の良さを知れば佐伯にきくと戻ってきてくれると思います。すぐに結果が出ないこゆう分野こそ行政に頑張ってもらいたい。都会の真似は必要ないし、見苦しい感じがします。田舎であることの素晴らしさ、佐伯にしかないものを大切にしてください。</p>
その他全般	<p>子ども達に残る物を造ってほしい。竹藪を整理して、ひしゃく・竹炭・箸等も造ってはいかがでしょう。今の時代は、贅沢をしない様、子どもたちにも教えてほしい。生き物が生存できる自然を大切にしてほしい。人類は皆一緒です。</p> <p>住みやすい島に。→架橋等交通手段の拡大。</p> <p>電車の線路の両脇の草も近くの店舗や家の方に迷惑になっている所もあります。車で走っていると、とっても雑草が気になります。</p> <p>佐伯市でも現在、私たちの生活している所は、まあまあ環境は良い方だと思います。</p> <p>名前だけ買えたイベントばかり目立ち顔ぶれが同じ。</p> <p>質問が欲張りすぎ、回答者が疲れると思う。質問数を少なく目的を明確に。</p> <p>設問が難しく答え難い。</p> <p>多くの設問ご苦労があったと存じます。これを活かす手段？が又、大変な労力と時間・経費？お役所仕事の満足で終わり、成果があまり見えないのではと心配です。</p> <p>少々記載量が多く驚きました。</p> <p>このアンケートもアンケートを取って市民の意見を聞いただけで終わるのではなく、きちんと生かしてほしい。</p> <p>設問の仕方をもっと簡潔に分かりやすく。ダラダラと長い。</p> <p>意識調査をして、どのような結果になって、どのような取り組みをして、その結果何が変化したか知らせるべきだと思います。</p> <p>環境意識調査は何をどうするために行っているかよく見えませんでした。</p>

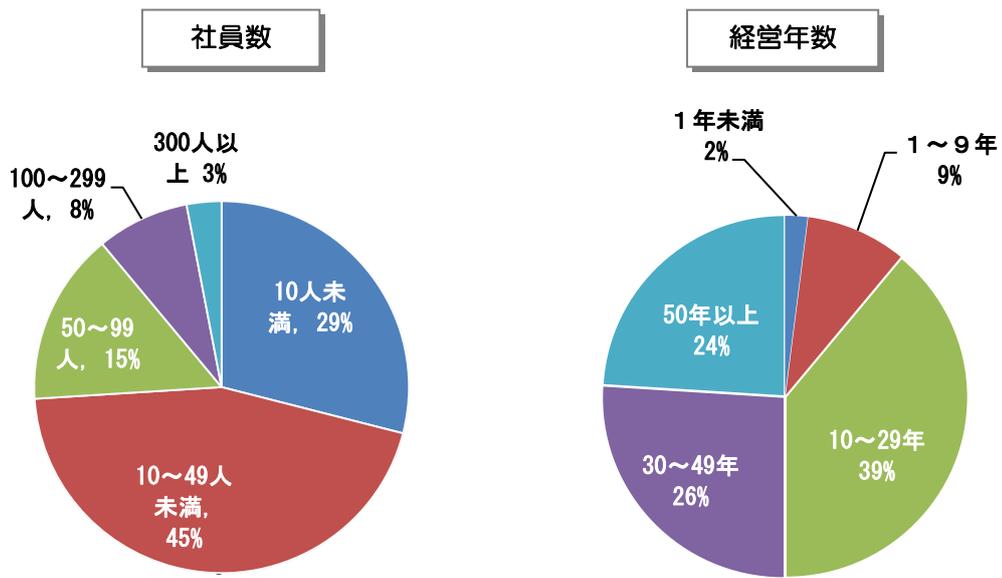
## 2 事業所アンケート調査結果

### (1) 調査概要

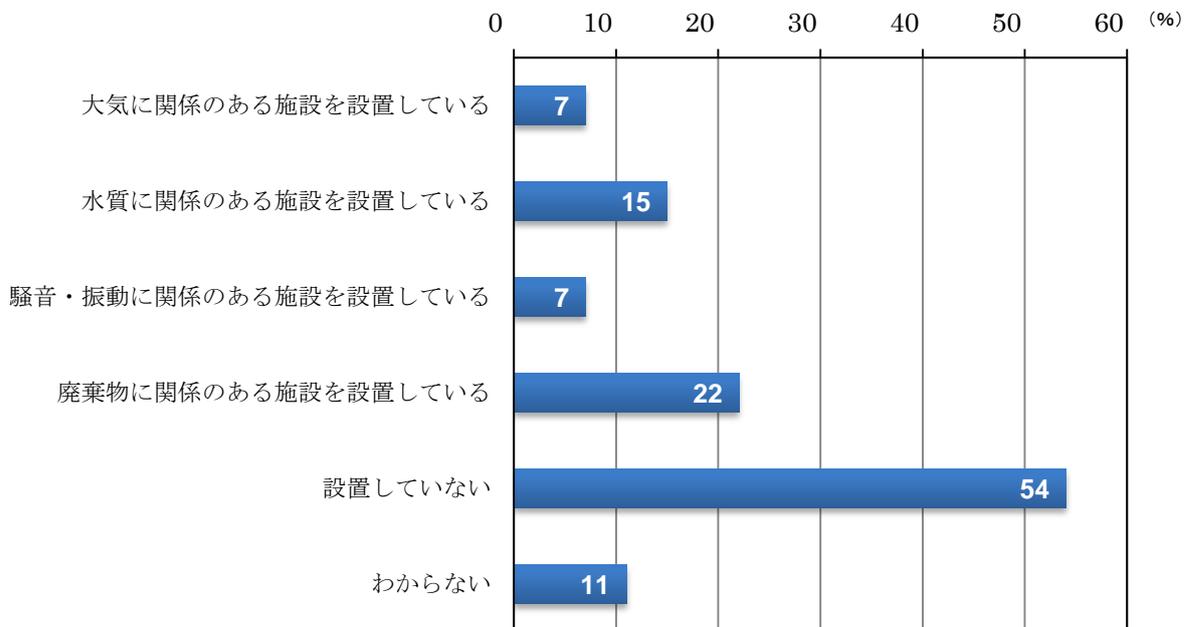
- 1) **調査期間**：平成 29 年 4 月 24 日発送（4 月 25 日～6 月 10 日：配布回収）
- 2) **調査方法**：郵送法
- 3) **調査対象**：産業大分類ごとに市の事業所数等を勘案して、200 事業所を抽出した。なお、産業大分類ごとに、最低 2 事業所を抽出した（公務は除く）。
- 4) **調査項目**：基本計画策定時に実施した、平成 19 年度 4 月のアンケート内容と比較をするため、同じ内容とし設問内容は変えていない。
- 5) **回収率**：※平成 29 年 50.0%（100 件/200 件）前回比 6.5 ポイント（13 件）増  
 ※平成 24 年 43.5%（87 件/200 件）前回比 1.5 ポイント（3 件）増  
 ※平成 19 年 42.0%（84 件/200 件）

### (2) 回答者の属性





**公害関係の届出が必要な施設の設置状況**



### (3) 調査結果

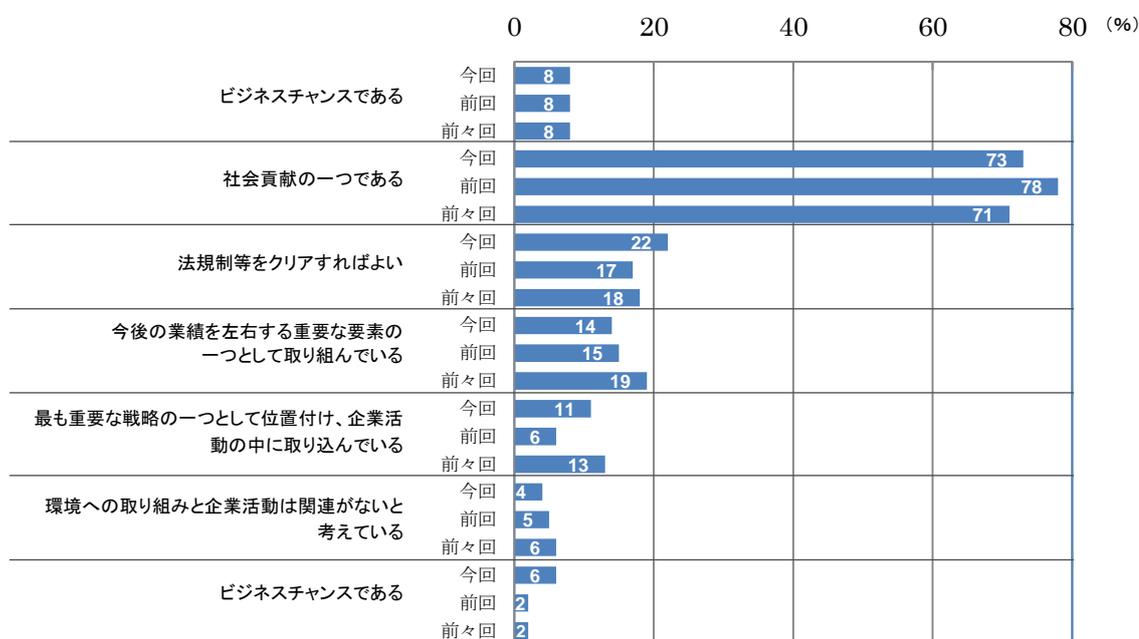
#### 1) 環境保全対策の取組状況と今後の意向

##### ① 環境への取組と企業活動のあり方

佐伯市内の事業所において、環境への取り組みと企業活動のあり方について聞いたところ、全体では「社会貢献の一つである」との回答が、前回・前々回と同様最も多く、「法規制等をクリアすればよい」、「今後の業績を左右する重要な要素の一つとして取り組んでいる」等が続いている。

従業員規模別にみたところ、従業員数が少ない事業所ほど環境をビジネスチャンスとして考え、全体を通しては「社会貢献の一つ」と位置付けているようである。

#### ■ 企業の環境への取組と企業活動のあり方についてどう思うか（複数回答）



#### ■ 企業の環境への取組と企業活動のあり方について（業種別、社員数別）

(%)

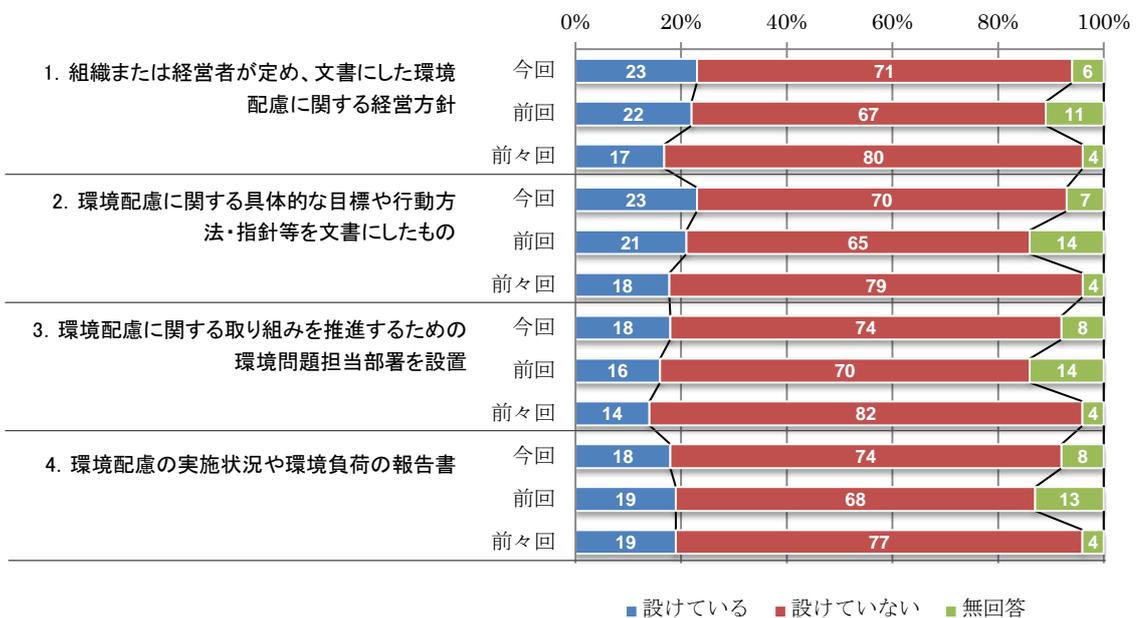
区分	ビジネスチャンスである	社会貢献の一つである	法規制等をクリアすればよい	今後の業績を左右する重要な要素の一つとして取り組んでいる	最も重要な戦略の一つとして位置づけ、取り込んでいる	環境への取り組みと企業活動は関連がないと考えている	その他	無回答
業種	農林漁業	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3
	建設業	12.5	81.2	6.2	12.5	12.5	12.5	9.1
	製造業	8.3	83.3	33.3	16.7	16.7	0.0	8.3
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	100.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	12.5	54.2	16.7	20.8	16.7	8.3	8.3
	サービス業(旅館、医療業含む)	4.2	75.0	29.2	4.2	0.0	0.0	8.3
	その他	7.7	69.2	38.4	7.7	15.4	0.0	0.0
	計	8.0	73.0	22.0	14.0	11.0	4.0	6.0
社員数	10人未満	6.9	62.0	17.2	10.3	0.0	1.1	6.9
	10～49人	13.3	75.6	17.8	28.0	15.6	8.9	4.4
	50～99人	0.0	80.0	33.3	0.0	13.3	0.0	6.7
	100～299人	0.0	87.5	37.5	37.5	25.0	0.0	12.5
	300人以上	0.0	66.7	33.3	33.3	20.0	0.0	0.0
計	8.0	73.0	22.0	14.0	11.0	4.0	6.0	

## ② 環境配慮の方針

佐伯市内の事業所において、環境配慮方針や指針等を作成しているかどうか、環境問題担当の部署を設置しているかどうか、環境配慮の報告書等を作成しているかどうか、それぞれ聞いたところ、「4. 環境配慮の実績状況や環境負荷の報告書」を除く3つの項目で、「設けている」との回答が前回・前々回より増加している。

### 現在の状況

#### ■ 現在、環境配慮に関する計画や組織を設けているか



#### ■ 計画や組織の設置状況（業種別、社員数別）

##### 1. 組織または経営者が定め、文書にした環境配慮に関する経営方針

(%)

区分		設けている	設けていない	無回答
業種	農林漁業	33.3	66.7	0.0
	建設業	25.0	75.0	0.0
	製造業	41.7	50.0	8.3
	電気・ガス・熱供給・水道業	50.0	50.0	0.0
	運輸・通信業	20.0	80.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	20.8	70.9	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	12.5	75.0	12.5
	その他	23.1	76.9	0.0
社員数	10人未満	6.9	79.3	13.8
	10～49人	28.9	71.1	0.0
	50～99人	33.3	60.0	6.7
	100～299人	37.5	62.5	0.0
	300人以上	0.0	66.7	33.3
計		23.0	71.0	6.0

2. 環境配慮に関する具体的な目標や行動方法・指針等を文書にしたもの (%)

区分		設けている	設けていない	無回答
業種	農林漁業	33.3	66.7	0.0
	建設業	25.0	75.0	0.0
	製造業	50.0	50.0	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	50.0	50.0	0.0
	運輸・通信業	20.0	80.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	20.8	70.9	8.3
	サービス業(旅館、医療業含む)	12.5	66.7	20.8
	その他	15.4	84.6	0.0
社員数	10人未満	6.9	72.4	20.7
	10～49人	31.1	68.9	0.0
	50～99人	26.7	73.3	0.0
	100～299人	37.5	62.5	0.0
	300人以上	0.0	66.7	33.3
計		23.0	71.0	7.0

3. 環境配慮に関する取組を推進するための環境問題担当部署を設置 (%)

区分		設けている	設けていない	無回答
業種	農林漁業	0.0	100.0	0.0
	建設業	18.8	81.2	0.0
	製造業	33.3	50.0	16.7
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	100.0	0.0
	運輸・通信業	20.0	80.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	16.7	75.0	8.3
	サービス業(旅館、医療業含む)	16.7	66.7	16.7
	その他	15.4	84.6	0.0
社員数	10人未満	3.4	72.4	24.2
	10～49人	17.8	80.0	2.2
	50～99人	26.7	66.7	6.6
	100～299人	50.0	50.0	0.0
	300人以上	33.3	66.7	0.0
計		18.0	74.0	8.0

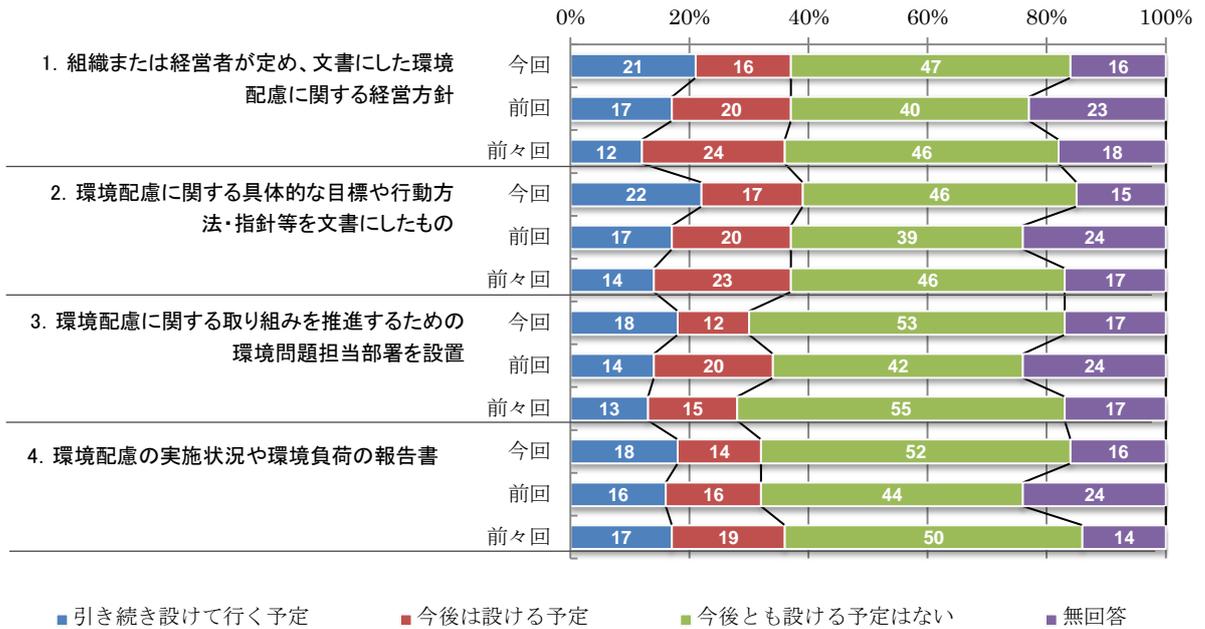
4. 環境配慮の実施状況や環境負荷の報告書 (%)

区分		設けている	設けていない	無回答
業種	農林漁業	0.0	100.0	0.0
	建設業	31.3	68.7	0.0
	製造業	25.0	66.7	8.3
	電気・ガス・熱供給・水道業	50.0	50.0	0.0
	運輸・通信業	20.0	80.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	25.0	70.8	4.2
	サービス業(旅館、医療業含む)	0.0	75.0	25.0
	その他	15.4	84.6	0.0
社員数	10人未満	3.4	79.3	17.3
	10～49人	24.5	73.3	2.2
	50～99人	20.0	73.3	6.7
	100～299人	37.5	62.5	0.0
	300人以上	0.0	66.7	33.3
計		18.0	74.0	8.0

## 今後の予定

佐伯市内の事業所において、環境配慮方針や指針等を作成するかどうか、環境問題担当の部署を設置するかどうか、環境配慮の報告書等を作成するかどうか、それぞれ今後の予定を聞いたところ、前回・前々回と同様に今後約2割前後の事業者がそれぞれ対応していきたいとのことだった。

### ■ 環境配慮に関する計画や組織についての今後の予定



### ■ 今後の予定（業種別、社員数別）

#### 1. 組織または経営者が定め、文書にした環境配慮に関する経営方針

(%)

区分		引き続き設けていく予定	今後は設ける予定	今後とも設ける予定はない	無回答
業種	農林漁業	33.3	33.3	33.3	0.0
	建設業	25.0	31.3	25.0	18.7
	製造業	33.3	0.0	50.0	16.7
	電気・ガス・熱供給・水道業	50.0	50.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	20.0	20.0	60.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	16.7	16.7	45.8	20.8
	サービス業(旅館、医療業含む)	12.5	12.5	54.2	20.8
	その他	15.4	7.7	69.2	7.7
社員数	10人未満	6.9	13.8	58.6	20.7
	10～49人	24.4	15.6	44.4	15.6
	50～99人	33.3	13.3	46.7	6.7
	100～299人	37.5	37.5	25.0	0.0
	300人以上	0.0	0.0	33.3	66.7
計		21.0	16.0	47.0	16.0

2. 環境配慮に関する具体的な目標や行動方法・指針等を文書にしたもの (%)

区分		引き続き設けていく予定	今後は設ける予定	今後とも設ける予定はない	無回答
業種	農林漁業	33.3	33.3	33.3	0.0
	建設業	25.0	31.3	25.0	18.7
	製造業	41.7	0.0	37.5	6.3
	電気・ガス・熱供給・水道業	50.0	50.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	20.0	20.0	60.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	20.8	16.7	45.8	16.7
	サービス業(旅館、医療業含む)	12.5	16.7	45.8	25.0
	その他	7.7	7.7	76.9	7.7
社員数	10人未満	6.9	13.8	55.2	24.1
	10～49人	28.9	13.3	44.4	13.3
	50～99人	26.7	26.7	46.7	0.0
	100～299人	37.5	37.5	25.0	0.0
	300人以上	0.0	0.0	33.3	66.7
計		22.0	17.0	46.0	15.0

3. 環境配慮に関する取組を推進するための環境問題担当部署を設置 (%)

区分		引き続き設けていく予定	今後は設ける予定	今後とも設ける予定はない	無回答
業種	農林漁業	0.0	33.3	33.3	33.3
	建設業	18.8	25.0	37.5	18.7
	製造業	33.3	8.3	50.0	8.3
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	50.0	50.0	0.0
	運輸・通信業	20.0	0.0	80.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	16.7	8.3	54.2	20.8
	サービス業(旅館、医療業含む)	16.7	8.3	50.0	25.0
	その他	7.7	7.7	76.9	7.7
社員数	10人未満	3.4	6.9	62.1	27.6
	10～49人	17.8	15.6	51.1	15.6
	50～99人	26.7	6.7	60.0	6.7
	100～299人	50.0	25.0	25.0	0.0
	300人以上	33.3	0.0	33.3	33.3
計		18.0	12.0	53.0	17.0

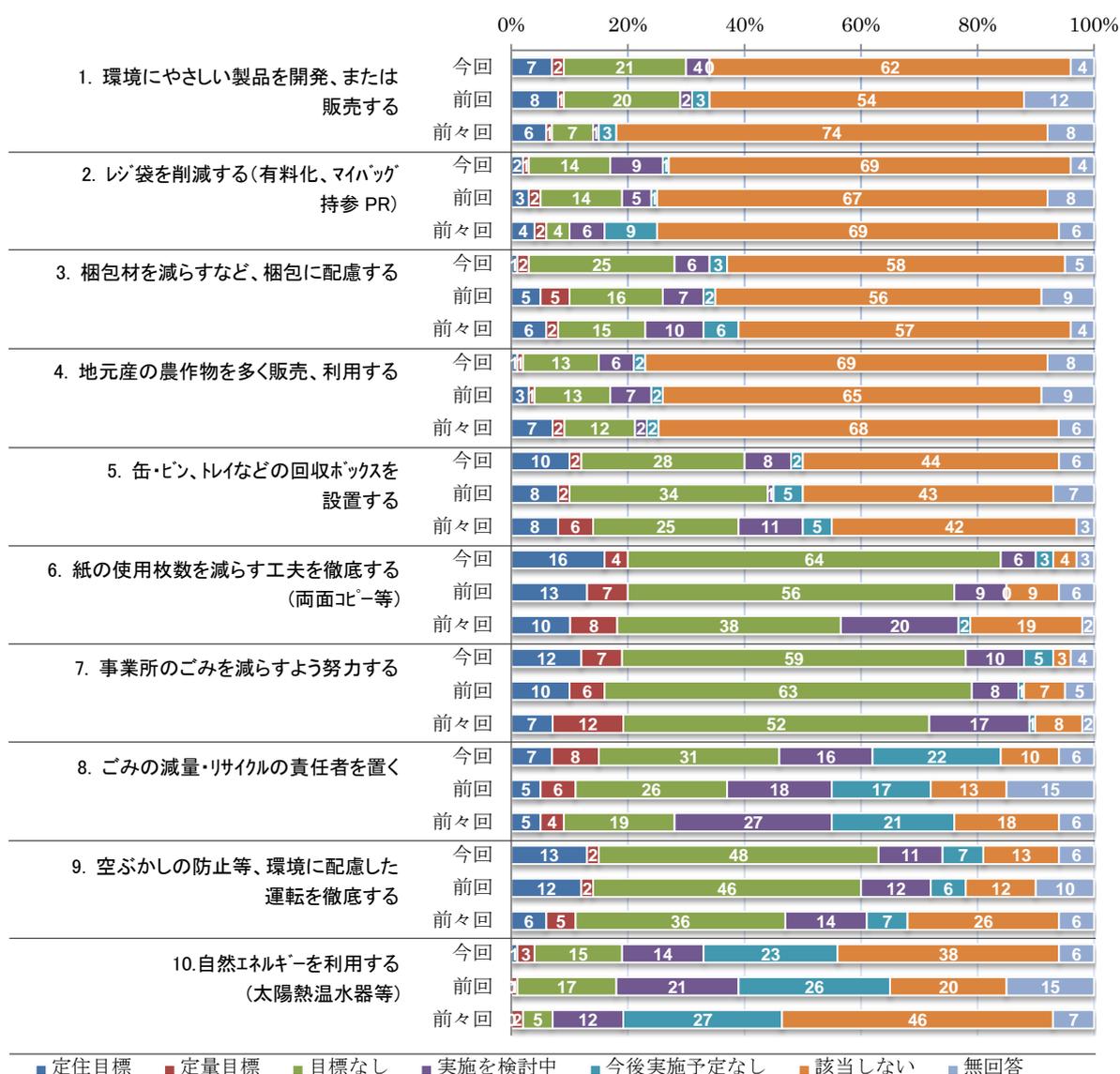
4. 環境配慮の実施状況や環境負荷の報告書 (%)

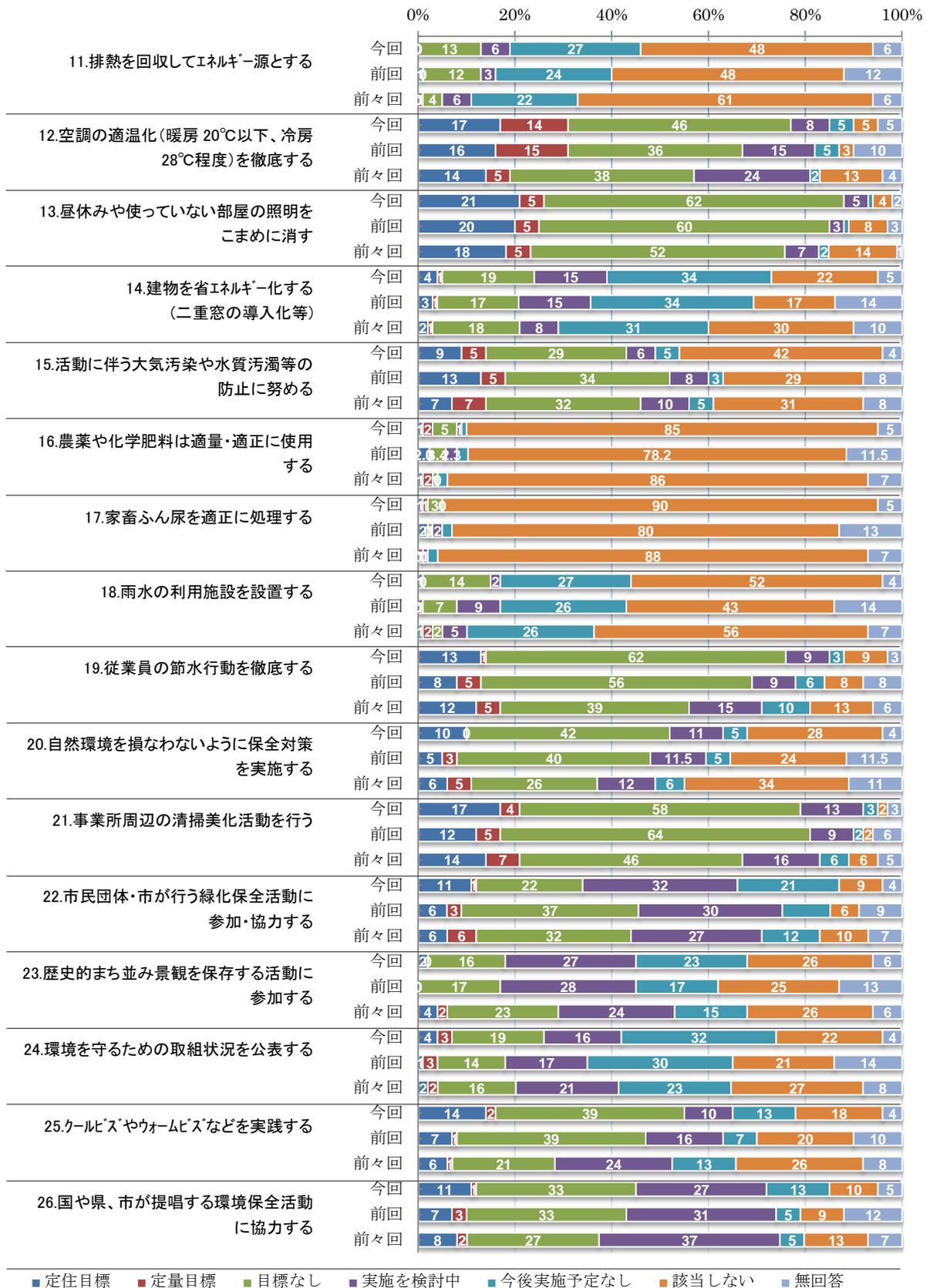
区分		引き続き設けていく予定	今後は設ける予定	今後とも設ける予定はない	無回答
業種	農林漁業	0.0	33.3	33.3	33.3
	建設業	31.3	25.0	37.5	6.2
	製造業	16.7	0.0	66.7	16.7
	電気・ガス・熱供給・水道業	50.0	50.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	20.0	20.0	60.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	25.0	8.3	50.0	16.7
	サービス業(旅館、医療業含む)	4.2	16.7	50.0	29.1
	その他	7.7	7.7	76.9	7.7
社員数	10人未満	3.4	6.9	65.5	24.1
	10～49人	24.4	15.6	46.7	13.3
	50～99人	20.0	20.0	53.3	6.7
	100～299人	37.5	25.0	37.5	0.0
	300人以上	0.0	0.0	33.3	66.7
計		18.0	14.0	52.0	16.0

## 2) 環境保全活動の実施状況

佐伯市の事業所について環境保全活動の実施状況について聞いたところ、約7割の項目で「実施している」という回答が前回・前々回より増加している。特に、「1. 地球に優しい製品を開発、販売する（前々回 14.3%→前回 28.6%→今回 30.0%）」、「6. 紙の使用を減らす工夫を徹底する（55.9%→75.8%→84.0%）」、「8. ごみの減量・リサイクルの責任者を置く（27.4%→36.9%→46.0%）」、「9. 空ぶかしの防止等、環境に配慮した運転を徹底する（46.5%→59.8%→67.0%）」、「12. 空調の適温化（暖房 20℃以下、冷房 28℃程度）を徹底する（57.2%→66.6%→77.0%）」、「19. 従業員の節水行動を徹底する（56.0%→68.9%→76.0%）」、「20. 自然環境を損なわないように保全対策を実施する（37.0%→48.2%→52.0%）」、「25. クールビズやウォームビズなどを実践する（28.6%→47.1%→55.0%）」など、省エネルギーや省資源に関する項目を中心に前々回と今回と比べて15ポイントから28ポイント程度増加している。「今後実施予定なし」の回答が約30%を超える項目としては、「建物を省エネルギー化する（34.0%）」「環境を守るための取り組み状況を公表する（32.0%）」となっている。

### ■ 環境保全活動の取り組み状況





■ 環境保全活動の実施状況（業種別）

1. 環境にやさしい製品を開発する、または販売する

(%)

区分	実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	建設業	6.3	0.0	12.5	6.3	0.0	75.0
	製造業	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0	66.7
	電気・ガス・熱供給・水道業	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	卸売・小売業、飲食店	8.3	0.0	41.7	8.3	0.0	41.7
	サービス業(旅館、医療業含む)	0.0	0.0	20.8	4.2	0.0	66.7
	その他	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	76.9
計	7.0	2.0	21.0	4.0	0.0	62.0	

2. レジ袋を削減する(有料化、マイバッグ(袋)の持参 PR、マイバッグ(袋)を持参した人への特典など)

(%)

区分	実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	建設業	0.0	0.0	12.5	6.3	0.0	81.3
	製造業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	卸売・小売業、飲食店	11.5	3.8	26.9	11.5	0.0	38.5
	サービス業(旅館、医療業含む)	0.0	0.0	20.8	12.5	0.0	58.3
	その他	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	92.3
計	2.0	1.0	14.0	9.0	1.0	69.0	

3. 梱包材を減らすなど、製品・商品の梱包に配慮する

(%)

区分	実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
	建設業	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0	87.5
	製造業	0.0	8.3	41.7	8.3	8.3	25.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	80.0
	卸売・小売業、飲食店	8.3	4.2	29.2	16.7	4.2	37.5
	サービス業(旅館、医療業含む)	0.0	0.0	25.0	4.2	0.0	62.5
	その他	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	84.6
計	1.0	2.0	25.0	6.0	3.0	58.0	

4. 輸送エネルギーの少ない地元産の農作物を多く販売、または利用する

(%)

区分	実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	建設業	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0	87.5
	製造業	0.0	8.3	9.1	0.0	8.3	83.3
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0
	卸売・小売業、飲食店	4.2	0.0	33.3	12.5	4.2	45.8
	サービス業(旅館、医療業含む)	0.0	0.0	12.5	4.2	0.0	66.7
	その他	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	84.6
計	1.0	1.0	13.0	6.0	2.0	69.0	

5. 店舗に缶・ビン、紙パック、トレイなどの回収ボックスを設置する

(%)

区分	実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	建設業	18.8	0.0	18.8	6.3	0.0	0.0
	製造業	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	20.8	4.2	37.5	8.3	4.2	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	4.2	4.2	37.5	16.7	0.0	12.5
	その他	7.7	0.0	23.1	7.7	14.3	0.0
計	10.0	2.0	28.0	8.0	2.0	44.0	6.0

6. 紙の使用枚数を減らす工夫を徹底する(両面コピーなど)

(%)

区分	実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.0
	建設業	18.8	0.0	18.8	6.3	0.0	0.0
	製造業	16.7	8.3	75.0	0.0	0.0	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	20.8	4.2	62.5	4.2	8.3	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	16.7	0.0	50.0	12.5	0.0	8.3
	その他	15.4	7.7	69.2	7.7	0.0	0.0
計	16.0	4.0	64.0	6.0	3.0	4.0	3.0

7. 事業所のごみを減らすよう努力する

(%)

区分	実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3
	建設業	18.8	6.3	56.3	12.5	6.3	0.0
	製造業	8.3	16.7	66.7	0.0	0.0	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	16.7	4.2	58.3	8.3	12.5	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	12.5	8.3	50.0	12.5	4.2	8.3
	その他	7.7	7.7	53.8	23.1	0.0	7.7
計	12.0	7.0	59.0	10.0	5.0	3.0	4.0

8. ごみの減量・リサイクルの責任者(担当者)を置く

(%)

区分	実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
	建設業	18.8	6.3	37.5	12.5	6.3	6.3
	製造業	0.0	16.7	75.0	0.0	9.1	8.3
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	60.0	20.0	20.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	12.5	4.2	25.0	20.8	29.2	8.3
	サービス業(旅館、医療業含む)	4.2	12.5	20.8	20.8	20.8	8.3
	その他	0.0	7.7	23.1	15.4	38.5	0.0
計	7.0	8.0	31.0	16.0	22.0	10.0	6.0

9. 社用車の空ぶかしの防止等、環境に配慮した運転の仕方を徹底する

(%)

区分	実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答	
業種	農林漁業	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3
	建設業	12.5	6.3	56.3	12.5	6.3	0.0	6.3
	製造業	16.7	0.0	58.3	0.0	16.7	0.0	8.3
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	運輸・通信業	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	卸売・小売業、飲食店	20.8	0.0	45.8	8.3	12.5	12.5	11.5
	サービス業(旅館、医療業含む)	8.3	4.2	37.5	16.7	4.2	20.8	8.3
	その他	7.7	0.0	69.2	15.4	0.0	7.7	0.0
計	13.0	2.0	48.0	11.0	7.0	13.0	6.0	

10. 自然エネルギーを利用する(太陽熱温水器、太陽光発電、風力発電等)

(%)

区分	実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答	
業種	農林漁業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7
	建設業	0.0	12.5	6.3	0.0	18.8	62.5	0.0
	製造業	8.3	0.0	16.7	8.3	33.3	25.0	8.3
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	60.0	0.0	20.0	20.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	0.0	4.2	25.0	16.7	37.5	16.7	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	0.0	0.0	12.5	16.7	12.5	45.8	12.5
	その他	0.0	0.0	0.0	38.5	23.1	38.5	0.0
計	1.0	3.0	15.0	14.0	23.0	38.0	6.0	

11. 排熱を回収してエネルギー源とする

(%)

区分	実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
	建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	87.8
	製造業	0.0	0.0	33.3	8.3	33.3	16.7
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0
	卸売・小売業、飲食店	0.0	0.0	25.0	8.3	50.0	16.7
	サービス業(旅館、医療業含む)	0.0	0.0	8.3	8.3	25.0	45.8
	その他	0.0	0.0	0.0	7.7	15.4	76.9
計	0.0	0.0	13.0	6.0	27.0	48.0	

12. 空調の適温化(暖房 20℃以下、冷房 28℃程度)を徹底する

(%)

区分	実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
	建設業	12.5	12.5	50.0	6.3	6.3	12.5
	製造業	16.7	16.7	41.7	16.7	8.3	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	33.3	16.7	37.5	4.2	8.3	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	16.7	16.7	33.3	12.5	4.2	4.2
	その他	7.7	15.4	61.58	7.7	0.0	7.7
計	17.0	14.0	46.0	8.0	5.0	5.0	

13. 昼休みや使っていない部屋の照明をこまめに消す

(%)

区分		実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0
	建設業	25.0	0.0	62.5	6.3	6.3	0.0	0.0
	製造業	25.0	8.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	29.2	4.2	62.5	4.2	0.0	0.0	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	20.8	12.5	45.8	8.3	0.0	4.2	8.3
	その他	15.4	0.0	61.5	7.7	0.0	15.4	0.0
計		21.0	5.0	62.0	5.0	1.0	4.0	2.0

14. 建物を省エネルギー化する(二重窓の導入、高気密・高断熱化等)

(%)

区分		実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
	建設業	66.3	0.0	12.5	9.1	37.5	37.5	6.3
	製造業	0.0	0.0	33.3	16.7	41.7	8.3	9.1
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	8.3	0.0	20.8	25.0	29.2	16.7	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	4.2	4.2	16.7	20.8	20.8	20.8	12.5
	その他	0.0	0.0	7.7	7.7	61.5	23.1	0.0
計		4.0	1.0	19.0	15.0	34.0	22.0	5.0

15. 事業所活動に伴う大気汚染や水質汚濁等の公害の防止に努める

(%)

区分		実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
	建設業	12.5	0.0	43.8	6.3	6.3	31.3	0.0
	製造業	25.0	16.7	41.7	0.0	8.3	8.3	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	60.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	12.5	0.0	29.2	16.7	8.3	33.3	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	0.0	8.3	29.2	4.2	0.0	45.8	12.5
	その他	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	84.6	0.0
計		9.0	5.0	29.0	6.0	5.0	42.0	4.0

16. 農薬や化学肥料は適量・適正に使用する

(%)

区分		実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
	建設業	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	93.8	0.0
	製造業	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	91.7	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	0.0	0.0	16.7	0.0	4.2	79.2	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	79.2	16.7
	その他	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	92.3	0.0
計		1.0	2.0	5.0	1.0	1.0	85.0	5.0

17. 家畜ふん尿を適正に処理する

(%)

区分		実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
	建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	製造業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	87.5	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	75.0	16.7
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
計		1.0	1.0	3.0	0.0	0.0	90.0	50.0

18. 雨水の利用施設を設置する

(%)

区分		実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
	建設業	0.0	0.0	12.5	0.0	31.3	56.3	0.0
	製造業	8.3	0.0	16.7	0.0	8.3	66.7	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	60.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	0.0	0.0	33.3	4.2	20.8	41.7	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	0.0	0.0	8.3	4.2	20.8	54.2	12.5
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	61.5	38.5	0.0
計		1.0	0.0	14.0	2.0	27.0	52.0	4.0

19. 従業員の節水行動を徹底する

(%)

区分		実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3
	建設業	12.5	0.0	62.5	6.3	6.3	12.5	9.1
	製造業	25.0	0.0	66.7	0.0	0.0	8.3	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	16.7	0.0	62.5	16.7	4.2	0.0	11.5
	サービス業(旅館、医療業含む)	8.3	4.2	54.2	12.5	0.0	12.5	8.3
	その他	7.7	0.0	69.2	7.7	7.7	7.7	0.0
計		13.0	1.0	62.0	9.0	3.0	9.0	3.0

20. 自然環境を損なわないように保全対策を実施する

(%)

区分		実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7
	建設業	12.5	0.0	50.0	9.1	0.0	37.5	9.1
	製造業	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	16.7	8.3
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	60.0	0.0	20.0	20.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	12.5	0.0	41.7	20.8	4.2	20.8	15.4
	サービス業(旅館、医療業含む)	4.2	0.0	37.5	16.7	4.2	29.2	8.3
	その他	7.7	0.0	30.8	45.4	15.4	30.8	0.0
計		10.0	0.0	42.0	11.0	5.0	28.0	4.0

21. 事業所周辺の清掃美化活動を行う

(%)

区分		実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3
	建設業	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	製造業	8.3	8.3	66.7	8.3	8.3	0.0	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	25.0	8.3	58.3	4.2	4.2	0.0	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	12.5	0.0	50.0	20.8	0.0	8.3	8.3
	その他	23.1	7.7	53.8	15.4	0.0	0.0	0.0
計		17.0	4.0	58.0	13.0	3.0	2.0	3.0

22. 市民団体・市が行う緑化保全活動(花いっぱい運動など)に参加・協力する

(%)

区分		実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3
	建設業	12.5	0.0	18.8	50.0	12.5	6.3	0.0
	製造業	0.0	8.3	33.3	16.7	33.3	8.3	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	16.7	0.0	25.0	33.3	20.8	4.2	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	8.3	0.0	12.5	33.3	16.7	12.5	12.5
	その他	23.1	0.0	15.4	30.8	23.1	7.7	0.0
計		11.0	1.0	22.0	32.0	21.0	9.0	4.0

23. 歴史的まち並み景観を保存する活動に参加する

(%)

区分		実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
	建設業	0.0	0.0	18.8	50.0	18.8	6.3	6.3
	製造業	0.0	0.0	25.0	16.7	25.0	25.0	8.3
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	8.3	0.0	29.2	25.0	20.8	16.7	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	0.0	0.0	0.0	25.0	20.8	41.7	12.5
	その他	0.0	0.0	15.4	23.1	30.8	30.8	0.0
計		2.0	0.0	16.0	27.0	23.0	26.0	6.0

24. 環境を守るための取組状況を公表する

(%)

区分		実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
	建設業	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	18.8	6.3
	製造業	0.0	8.3	41.7	8.3	33.3	8.3	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	40.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	8.3	4.2	25.0	12.5	41.7	8.3	11.5
	サービス業(旅館、医療業含む)	8.3	0.0	12.5	20.8	25.0	25.0	8.3
	その他	0.0	7.7	7.7	15.4	38.5	30.8	0.0
計		4.0	3.0	19.0	16.0	32.0	22.0	4.0

25. クールビズやウォームビズなどを実践する

(%)

区分	実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	建設業	12.5	0.0	31.3	18.8	6.3	6.3
	製造業	25.0	0.0	50.0	0.0	16.7	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	60.0	0.0	20.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	25.0	4.2	41.7	8.3	12.5	8.3
	サービス業(旅館、医療業含む)	8.3	0.0	33.3	20.8	12.5	8.3
	その他	7.7	7.7	38.5	0.0	23.1	0.0
計	14.0	2.0	39.0	10.0	13.0	18.0	4.0

26. 国や県、市が提唱する環境保全活動に協力する

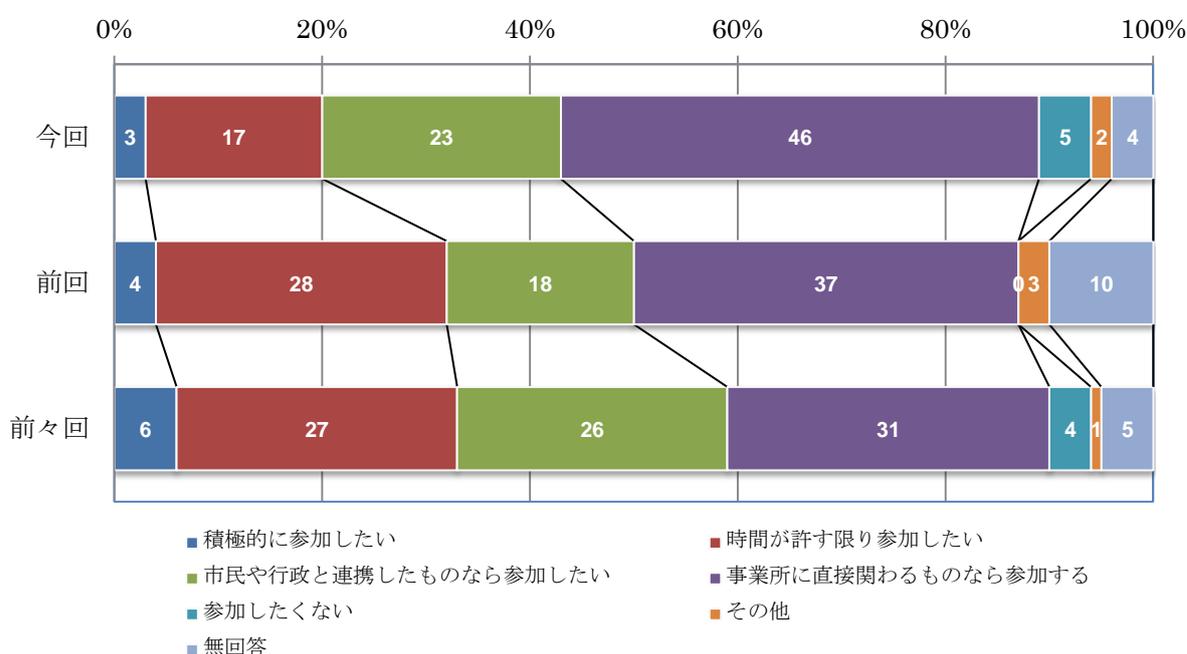
(%)

区分	実施している (定性目標)	実施している (定量目標)	実施している (目標なし)	実施を検討 中	今後実施予 定なし	該当しない	無回答
業種	農林漁業	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3
	建設業	12.5	0.0	37.5	25.0	12.5	0.0
	製造業	8.3	8.3	41.7	8.3	25.0	8.3
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	60.0	100.0	20.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	20.8	0.0	33.3	29.2	12.5	11.5
	サービス業(旅館、医療業含む)	8.3	0.0	16.7	29.2	12.5	12.5
	その他	7.7	0.0	30.8	46.2	7.7	0.0
計	11.0	1.0	33.0	27.0	13.0	10.0	5.0

### 3) 環境保全活動への参加意向

環境保全活動への参加意向について聞いたところ、「積極的に参加したい」又は「時間が許す限り参加したい」と回答した事業所は20.0%（前回比12.0ポイント・前々回比13.0ポイント減）、「市民や行政と連携したものなら参加したい」、「事業所に直接関わるものなら参加したい」があわせて69.0%（前回比14.0ポイント・前々回比12.0ポイント増）、「参加したくない」と回答した事業者は5.0%（前回比5.0ポイント・前々回比1.0ポイント増）。事業規模が大きい事業所ほど参加意向が高くなっている。

#### ■ 地域活動にどの程度参加したいか



#### ■ 地域活動への参加意向（業種別、社員数別）

(%)

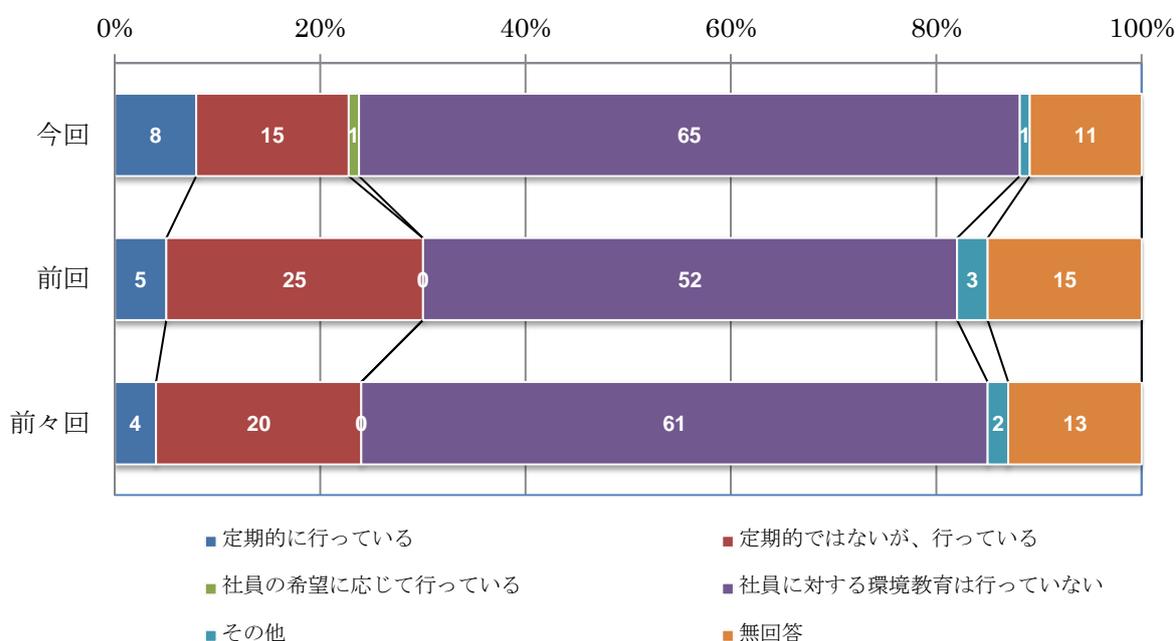
区分		会合や行事などに積極的に参加したい	時間などが許す限り参加したい	市民や行政と連携したものであれば参加したい	事業所に直接関わる問題ならば参加する	参加したくない	その他	無回答
業種	農林漁業	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	建設業	0.0	25.0	37.5	25.0	6.3	0.0	6.3
	製造業	8.3	16.7	16.7	50.0	8.3	0.0	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	4.2	20.8	16.7	45.8	8.3	4.2	0.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	0.0	8.3	12.5	58.3	4.2	4.2	12.5
	その他	7.7	15.4	30.8	46.2	0.0	0.0	0.0
社員数	10人未満	0.0	10.3	13.8	58.6	6.9	3.4	6.9
	10～49人	8.6	24.4	26.6	37.8	6.7	5.7	4.4
	50～99人	13.3	20.0	20.0	40.0	0.0	6.7	0.0
	100～299人	12.5	0.0	37.5	50.0	0.0	0.0	0.0
	300人以上	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
計		3.0	17.0	23.0	46.0	5.0	2.0	4.0

#### 4) 環境教育の実施状況

##### ① 取組状況

従業員の環境教育の実施状況について聞いたところ、「行っている」と回答した事業所があわせて24.0%（前回比5.2ポイント減・前々回比0.2ポイント増）、「行っていない」と回答した事業所が65.0%（前回比13.3ポイント増・前々回比4.3ポイント増）となっていて、環境教育を行う事業所は前々回と同率であり、前回と比べて6.0ポイント減少している。従業員規模別にみたところ、従業員数が少ない事業所ほど社員に対する環境教育を行っていない傾向がある。

##### ■ 環境配慮に関する社員教育にどのように取り組んでいるか



##### ■ 社員教育の取組状況（業種別、社員数別）

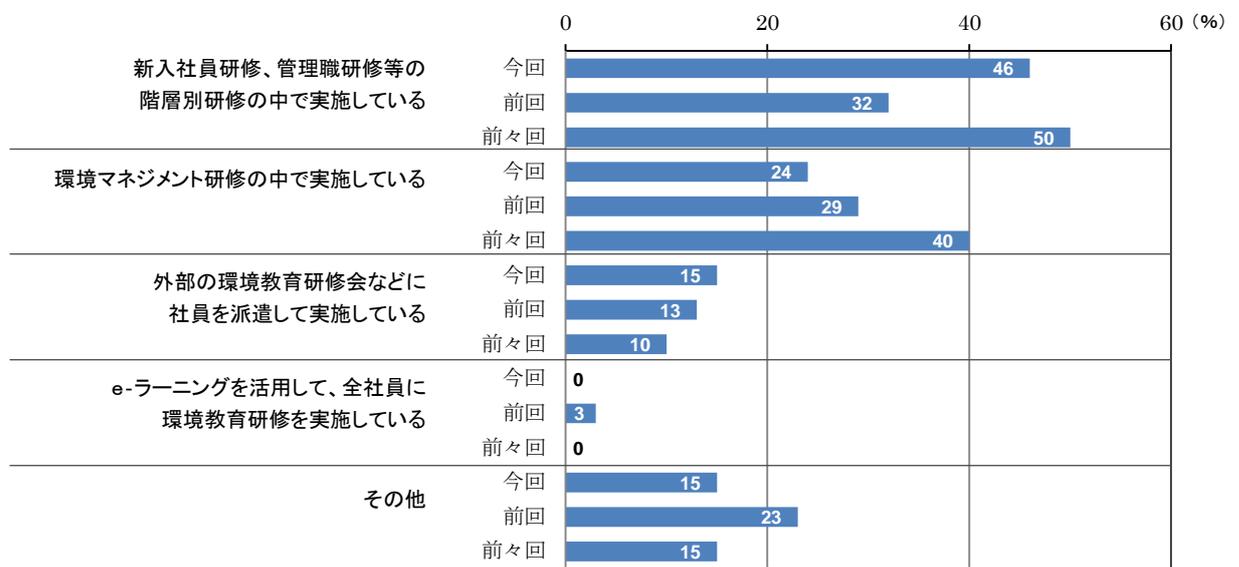
(%)

区分	定期的に行っている	定期的ではないが、行っている	社員の希望に応じて行っている	社員に対する環境教育は行っていない	その他	無回答	
業種	0.0 農林漁業	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	建設業	6.7	40.0	0.0	40.0	0.0	13.3
	製造業	16.7	25.0	0.0	58.3	0.0	9.1
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	4.2	8.3	4.2	70.8	0.0	12.5
	サービス業(旅館、医療業含む)	12.5	8.3	0.0	62.5	0.0	16.7
	その他	7.7	7.7	0.0	76.9	0.0	7.7
社員数	10人未満	3.4	6.9	0.0	72.4	0.0	17.2
	10～49人	9.1	18.2	0.0	63.6	0.0	9.1
	50～99人	6.7	20.0	0.0	66.7	0.0	6.7
	100～299人	25.0	12.5	12.5	37.5	0.0	12.5
	300人以上	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0
計	8.0	15.0	1.0	64.0	1.0	11.0	

## ② 取組方法

①で社員教育を行っている事業所に対して、どのような形で環境教育を行っているか聞いたところ、「新入社員研修、管理職研修等の階層別研修の中で実施している」という回答が46.0%（前回比13.7ポイント増・前々回比4ポイント減）、「環境マネジメント研修の中で実施」が24.0%（前回比5.0ポイント・前々回比16ポイント減）となっている。「e-ラーニングを活用した研修」は今回実施した事業所は無く、前回比3.2%減となっている。

### ■ 環境教育をどのような形で行っているか（複数回答）



### ■ 取組の内容（業種別、社員数別）

(%)

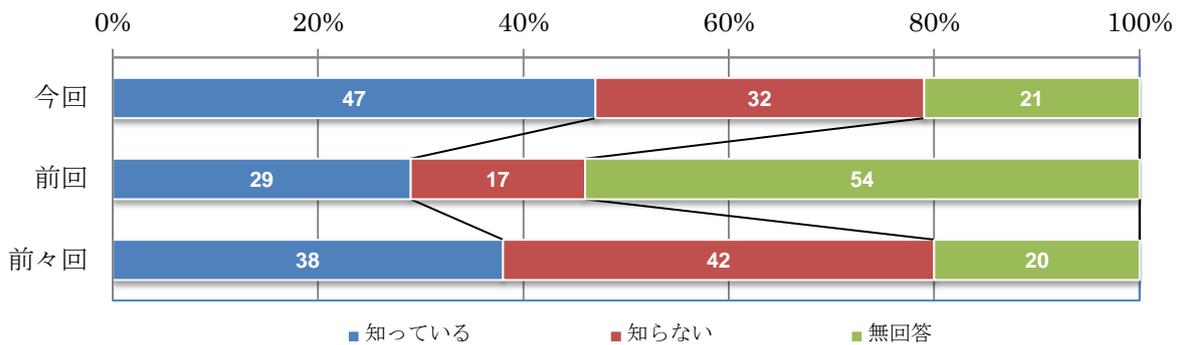
区分	新入社員研修、管理職研修等の階層別研修の中で実施している	環境マネジメント研修の中で実施している	外部の環境教育研修会などに社員を派遣して実施している	e-ラーニングを活用して、全社員に環境教育研修を実施している	その他
業種別	建設業	37.5	12.5	37.5	12.5
	製造業	75.0	25.0	0.0	0.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	100.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	44.4	33.3	0.0	22.2
	サービス業（旅館、医療業含む）	57.1	14.3	0.0	28.6
	その他	25.0	50.0	25.0	0.0
社員数別	10人未満	50.0	25.0	25.0	0.0
	10～49人	37.5	18.8	25.0	18.8
	50～99人	62.5	37.5	0.0	0.0
	100～299人	66.7	33.3	0.0	0.0
	300人以上	0.0	0.0	0.0	100.0
計	45.5	24.2	15.2	0.0	15.2

## 5) 環境マネジメントシステムについて

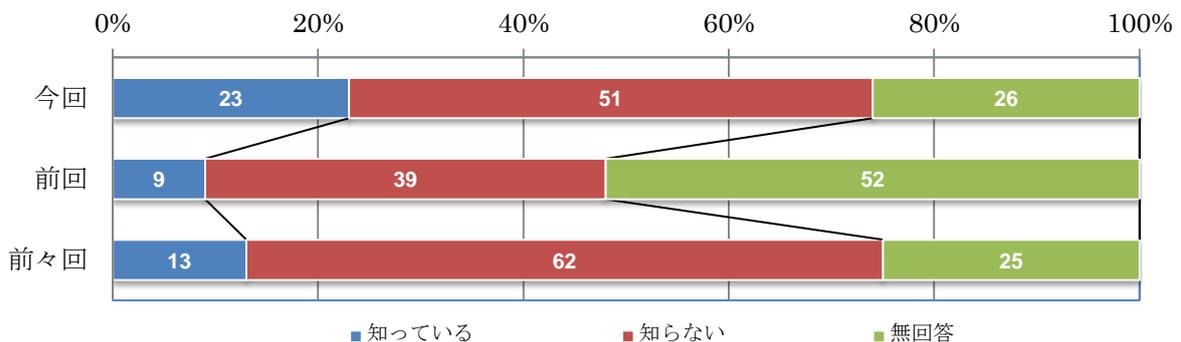
### ① 認知度

環境マネジメントシステムについて聞いたところ、認知度について「知っている」と回答した事業所は、ISO14001が47.0%（前回比18.3ポイント・前々回比8.9ポイント増）、エコアクション21（以下AE21とする）が23.0%（前回比13.8ポイント・前々回比9.9ポイント増）となっている。ISO14001、AE21ともに無回答の割合が前々回とほぼ同率まで戻っている。

#### ■ ISO14001の認知度



#### ■ エコアクション21の認知度



#### ■ 認知度（業種別、社員数別）

##### ● ISO14000 規格の取得

(%)

区分		知っている	知らない	無回答
業種	農林漁業	33.3	33.3	33.3
	建設業	56.3	12.5	31.3
	製造業	66.7	16.7	16.7
	電気・ガス・熱供給・水道業	50.0	0.0	50.0
	運輸・通信業	40.0	60.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	58.3	25.0	16.7
	サービス業(旅館、医療業含む)	29.2	50.0	20.8
	その他	38.5	46.2	15.4
社員数	10人未満	27.6	44.8	27.6
	10～49人	46.7	31.1	22.2
	50～99人	66.7	13.3	20.0
	100～299人	100.0	0.0	0.0
	300人以上	100.0	0.0	0.0
計		47.0	32.0	21.0

##### ● 環境活動評価プログラム(エコアクション21の実施)

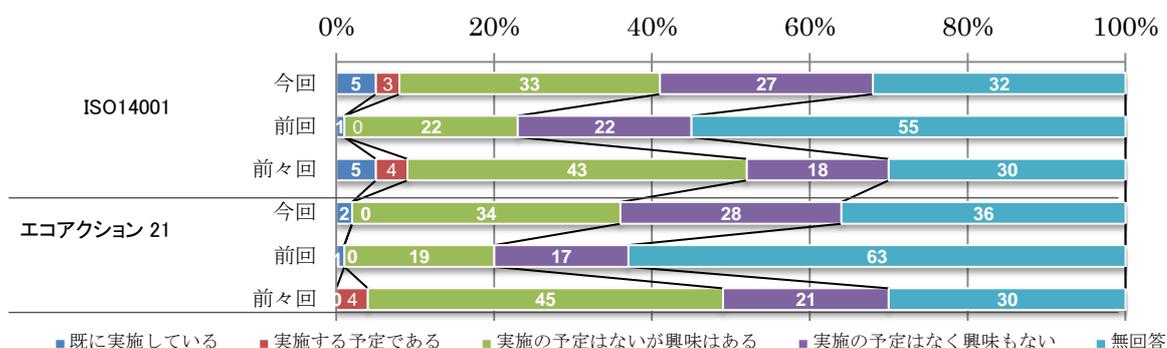
(%)

区分		知っている	知らない	無回答
業種	農林漁業	0.0	33.3	66.7
	建設業	37.5	31.3	31.3
	製造業	33.3	41.7	25.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	50.0	50.0
	運輸・通信業	40.0	60.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	20.8	58.3	20.8
	サービス業(旅館、医療業含む)	12.5	62.5	25.0
	その他	23.1	53.8	23.1
社員数	10人未満	10.3	55.2	34.5
	10～49人	24.4	51.1	24.5
	50～99人	33.3	40.0	26.6
	100～299人	50.0	37.5	12.5
	300人以上	0.0	100.0	0.0
計		23.0	51.0	26.0

## ② 取組状況と今後の意向

ISO14001、EA21 それぞれの取得状況及び今後の意向について聞いたところ、「実施の予定はないが興味はある」と回答した事業者が前回より10ポイント以上増加し、ISO14001は33.0%、EA21は34.0%となっている。

### ■ ISO14001 及びエコアクション21の取り組み状況



### ■ 取組状況（業種別、社員数別）

#### ● ISO14000 規格の取得

(%)

区分	既に実施している	実施する予定である	実施の予定はないが興味はある	実施の予定はなく興味もない	無回答	
業種	農林漁業	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3
	建設業	6.3	0.0	50.0	18.8	24.9
	製造業	25.0	8.3	33.3	16.7	16.7
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	40.0	60.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	4.2	0.0	37.5	25.0	33.3
	サービス業(旅館、医療業含む)	0.0	4.2	20.8	29.2	45.8
	その他	0.0	0.0	23.1	38.5	38.5
社員数	10人未満	0.0	3.4	27.6	27.6	41.4
	10～49人	2.2	0.0	46.7	26.7	24.4
	50～99人	6.7	6.7	13.3	33.3	40.0
	100～299人	37.5	12.5	25.0	20.0	25.0
	300人以上	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
計	5.0	3.0	33.0	27.0	32.0	

#### ● 環境活動評価プログラム(エコアクション21)の実施

(%)

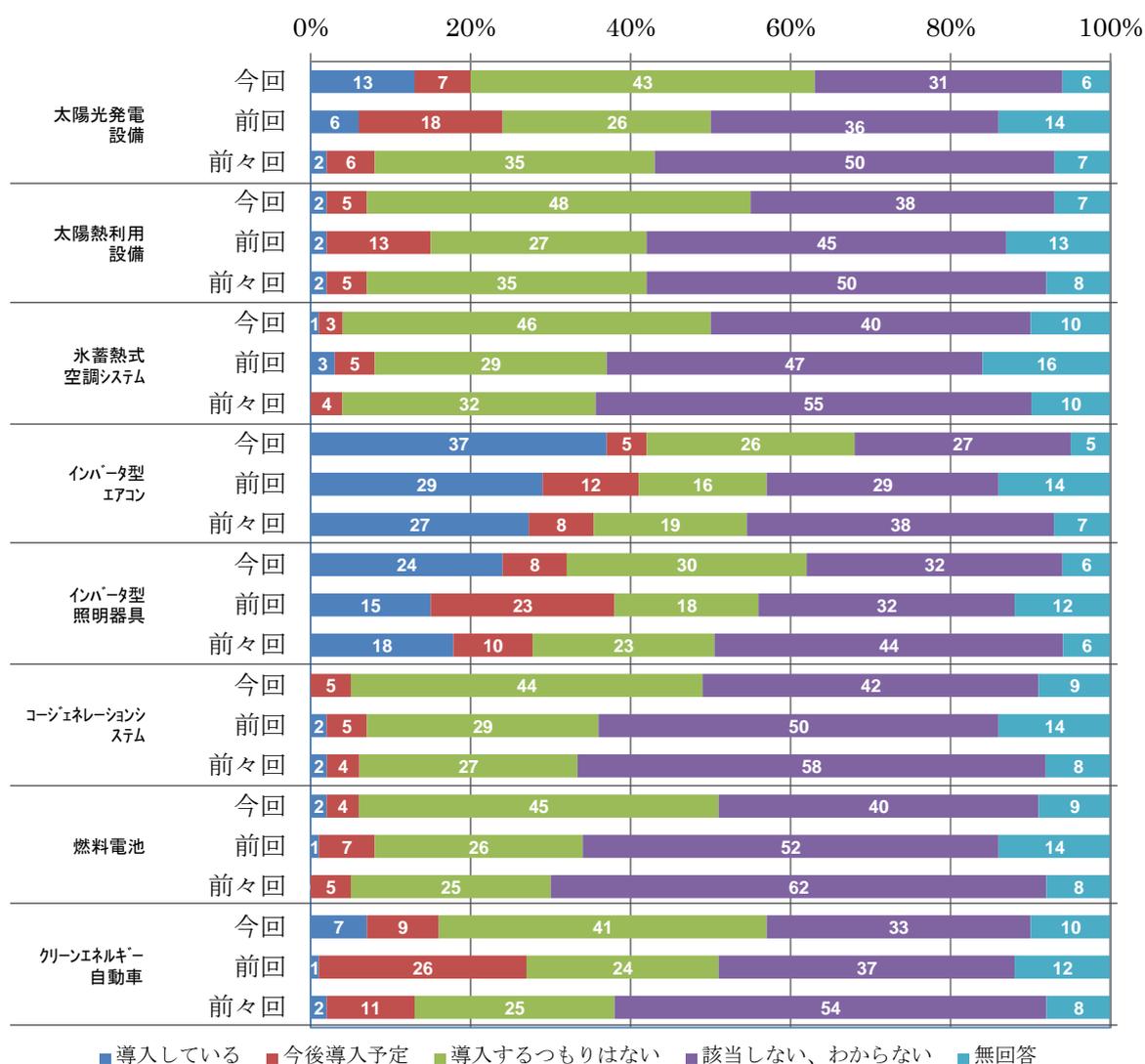
区分	既に実施している	実施する予定である	実施の予定はないが興味はある	実施の予定はなく興味もない	無回答	
業種	農林漁業	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7
	建設業	12.5	0.0	43.8	18.8	24.9
	製造業	0.0	0.0	50.0	33.3	16.7
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	運輸・通信業	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0
	卸売・小売業、飲食店	0.0	0.0	29.2	20.8	50.0
	サービス業(旅館、医療業含む)	0.0	0.0	25.0	29.2	45.8
	その他	0.0	0.0	38.5	30.8	30.8
社員数	10人未満	0.0	0.0	27.6	24.1	48.3
	10～49人	4.4	0.0	40.0	31.1	24.4
	50～99人	0.0	0.0	20.0	33.3	46.7
	100～299人	0.0	0.0	50.0	12.5	37.5
	300人以上	0.0	0.0	33.3	33.3	
計	2.0	0.0	34.0	28.0	36.0	

## 6) 省エネルギー設備・新エネルギー設備の導入状況

### ① 導入状況

省エネルギー設備・新エネルギー設備について導入状況を聞いたところ、1つの項目（同率）を除いた全ての項目において「今後導入予定」と回答した事業者が、前回より減少している。前々回と比べてもほぼ同率となっている。

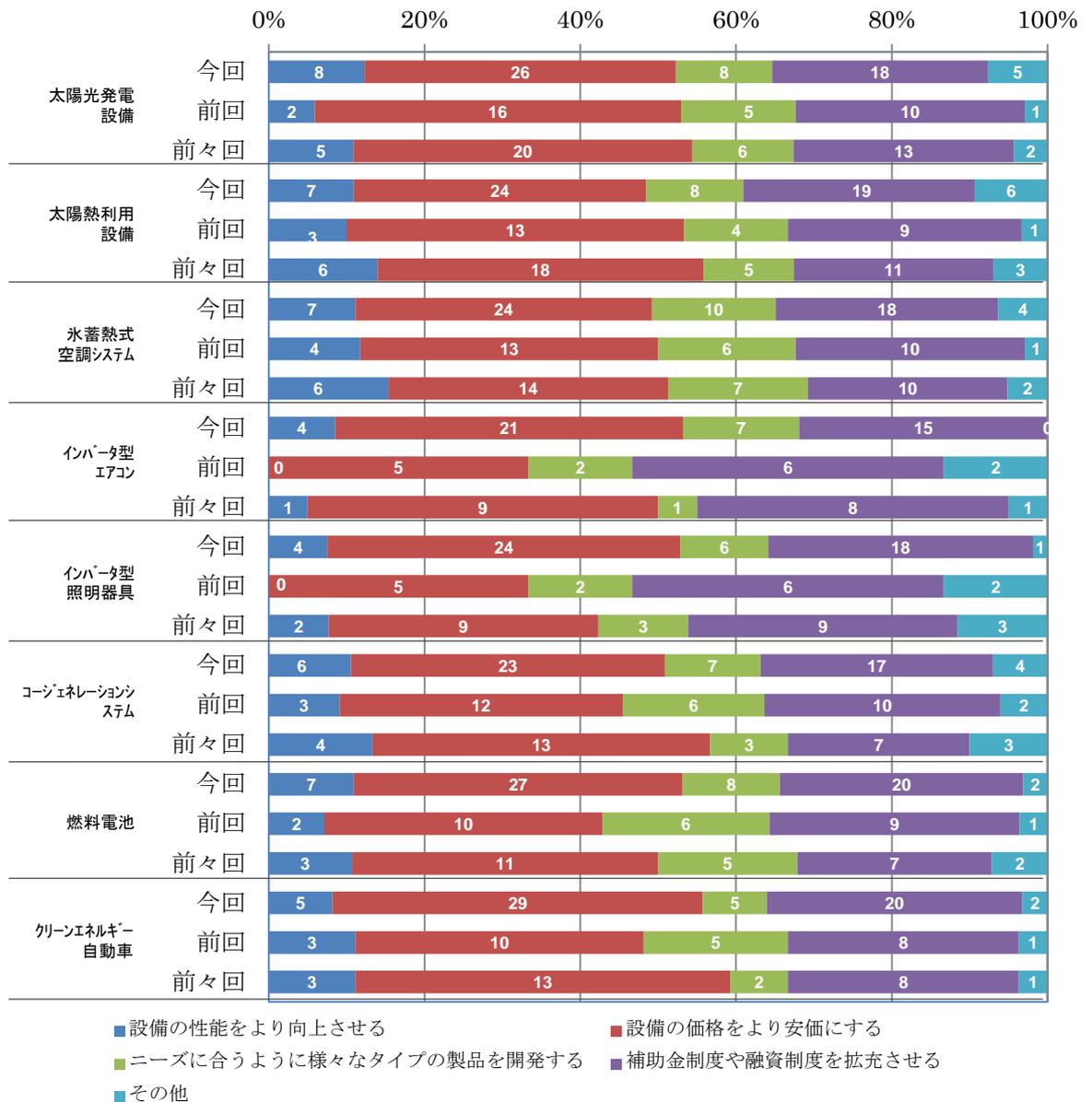
#### ■ 省エネルギー・新エネルギーの導入状況



## ② 導入の条件

①で「導入するつもりはない」と回答した事業所に、どのような条件が整えば導入できるか聞いたところ、前回・前々回同様「設備の価格をより安価にする」が多く、「補助金制度や融資制度を拡充させる」が続いている。

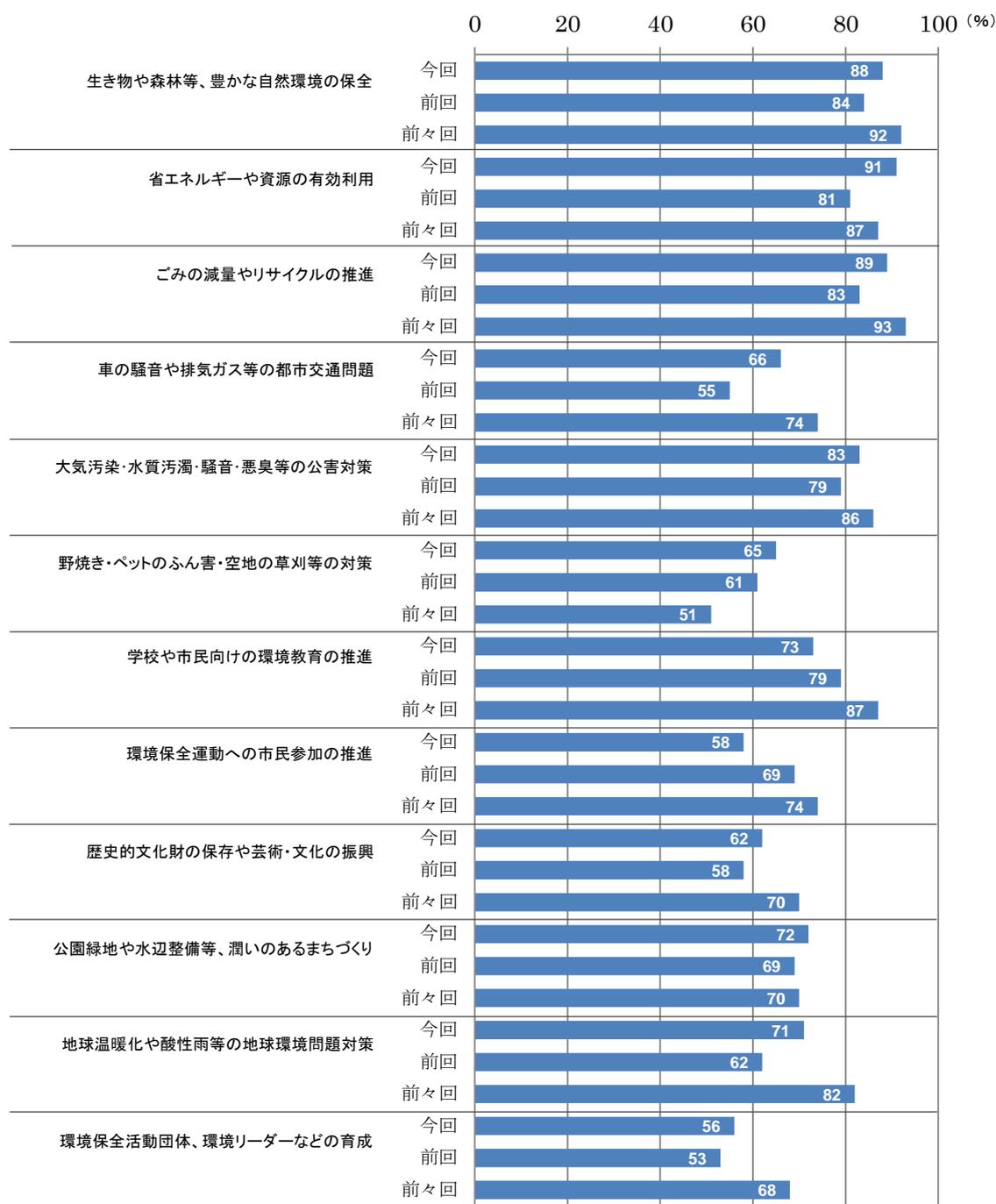
### ■ どのような条件が整えば導入できるか（複数回答）



## 7) 環境行政への要望

佐伯市の環境を守り、より良いものにしていくための市の施策について聞き、「特に重要」又は「重要」と回答している人の割合を以下に示す。2つの項目を除き前回より割合が高くなっていて、「省エネルギーや資源の有効利用」が91%で最も多く、次いで「ごみの減量やリサイクルの推進」や「生き物や森林等、豊かな自然環境の保全」が続いている。また、「環境保全運動への市民参加の推進」「環境保全活動団体、環境リーダーなどの育成」の割合が低くなっている。

### ■ 施策の重要度：「特に重要」「重要」と回答した人の割合



■ 施策の重要度（業種別、社員数別）：「特に重要」「重要」と回答した人の割合

(%)

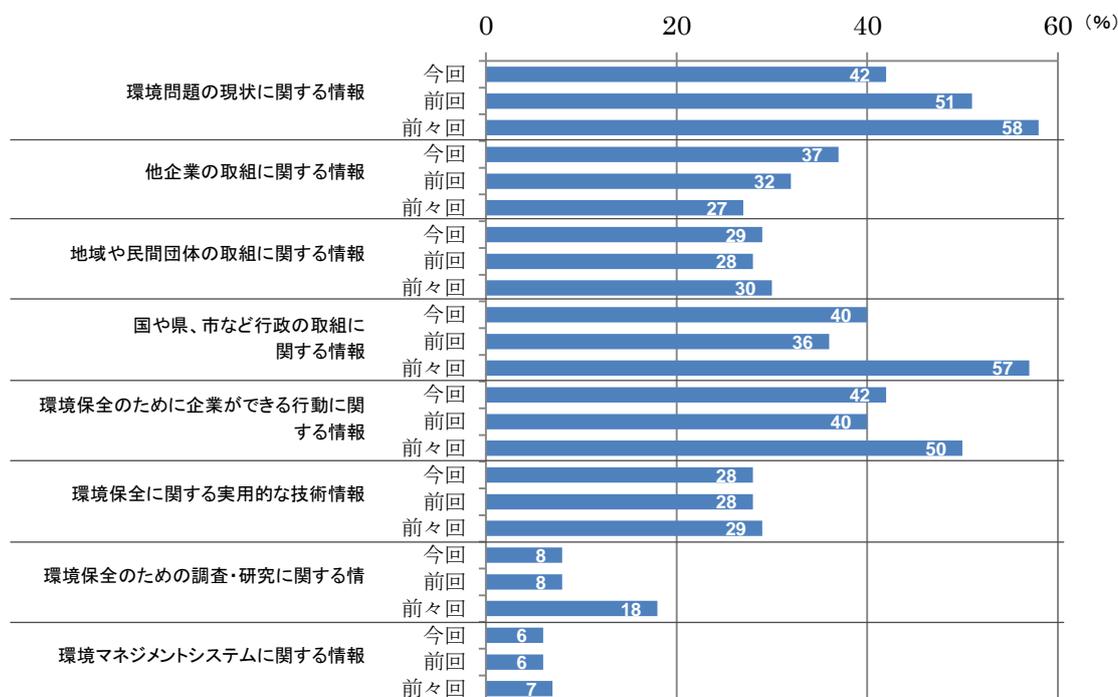
区分		生き物や森林等、豊かな自然環境の保全	省エネルギーや資源の有効利用	ごみの減量やリサイクルの推進	車の騒音や排気ガス等の都市交通問題	大気汚染・水質汚濁・騒音・悪臭等の公害対策	野焼き・ペットのふん害・空地の草刈等の対策
業種	農林漁業	100.0	100.0	100.0	0.0	66.7	0.0
	建設業	87.5	93.8	93.8	93.8	100.0	87.5
	製造業	75.0	75.0	75.0	43.8	75.0	31.3
	電気・ガス・熱供給・水道業	100.0	100.0	100.0	50.0	100.0	50.0
	運輸・通信業	80.0	80.0	60.0	80.0	80.0	80.0
	卸売・小売業、飲食店	100.0	95.8	91.7	66.7	87.5	62.5
	サービス業(旅館、医療業含む)	83.3	87.5	87.5	54.2	70.8	58.3
	その他	100.0	100.0	100.0	69.2	84.6	84.6
社員数	10人未満	86.2	93.1	93.1	72.4	86.2	72.4
	10～49人	53.3	88.9	84.4	60.0	84.4	60.0
	50～99人	85.7	92.9	100.0	78.6	85.7	78.6
	100～299人	75.0	87.5	87.5	62.5	75.0	50.0
	300人以上	100.0	100.0	100.0	66.7	66.7	66.7
計		88.0	91.0	89.0	66.0	83.0	65.0

区分		学校や市民向けの環境教育の推進	環境保全運動への市民参加への推進	歴史的文化的財の保存や芸術・文化の振興	公園緑地や水辺整備等、潤いのあるまちづくり	地球温暖化や酸性雨等の地球環境問題対策	環境保全活動団体、環境リーダーなどの育成
業種	農林漁業	33.3	33.3	66.7	66.7	66.7	66.7
	建設業	68.8	56.3	56.3	93.8	56.3	56.3
	製造業	37.5	31.3	43.8	43.8	50.0	25.0
	電気・ガス・熱供給・水道業	100.0	100.0	50.0	50.0	100.0	50.0
	運輸・通信業	60.0	40.0	60.0	80.0	100.0	60.0
	卸売・小売業、飲食店	79.2	79.2	58.3	75.0	70.8	66.7
	サービス業(旅館、医療業含む)	70.8	50.0	62.5	66.7	75.0	50.0
	その他	100.0	84.6	76.9	76.9	69.2	61.5
社員数	10人未満	75.9	58.6	65.5	72.4	72.4	58.6
	10～49人	71.1	55.6	57.8	73.3	68.9	55.6
	50～99人	92.9	78.6	85.7	92.9	41.7	57.1
	100～299人	50.0	50.0	35.7	35.7	100.0	35.7
	300人以上	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3
計		73.0	58.0	62.0	72.0	71.0	56.0

## 8) 行政に提供してほしい環境情報

行政から提供して欲しい環境保全に関する情報の内容について聞いたところ、前回・前々回と同様ではあるが、「環境問題の現状に関する情報」、「国や県、市など行政の取り組みに関する情報」及び「環境保全のために企業ができる行動に関する情報」等の回答が多くなっている。

### ■ 行政から提供してほしい環境保全に関する情報（複数回答）



### ■ 行政から提供してほしい環境情報（業種、社員数別）

区分		環境問題の現状に関する情報	他企業の取組に関する情報	地域や民間団体の取組に関する情報	国や県、市など行政の取組に関する情報	環境保全のために企業ができる行動に関する情報	環境保全に関する実用的な技術情報	環境保全のための調査・研究に関する情報	環境マネジメントシステムに関する情報	その他	無回答
業種	農林漁業	33.3	33.3	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	建設業	43.8	31.3	25.0	68.8	43.8	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5
	製造業	41.7	58.3	33.3	33.3	50.0	33.3	8.36	8.3	0.0	8.3
	電気・ガス・熱供給・水道業	100.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	運輸・通信業	20.0	60.0	20.0	60.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	卸売・小売業、飲食店	45.8	41.7	37.5	33.3	29.2	33.3	4.2	8.3	8.3	12.5
	サービス業(旅館、医療業含む)	37.5	20.8	20.8	25.0	41.7	16.7	4.2	4.2	4.2	16.7
	その他	38.5	38.5	23.1	38.5	46.2	46.2	0.0	0.0	0.0	0.0
社員数	10人未満	51.7	17.2	37.9	24.1	31.0	27.6	10.3	6.9	4.0	17.2
	10～49人	40.0	44.4	22.2	53.3	44.4	26.7	11.1	6.7	2.2	8.9
	50～99人	33.3	46.7	13.3	26.7	46.7	26.7	6.7	6.7	6.7	0.0
	100～299人	50.0	37.5	62.5	62.5	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	300人以上	00.0	66.7	33.3	0.0	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
計	42.0	37.0	29.0	40.0	42.0	28.0	9.0	6.0	3.0	9.0	

## 9) 自由意見

### ■ 環境づくりについてのアイデア、要望

城山の登り道の舗装
環境づくりに携わる人が生活できるようにするためのなりわい作りとサポート体制の充実を図ることが重要であると思われる。
<ul style="list-style-type: none"><li>・佐伯市は自然が多いのでそれを壊さないような環境づくりをしてほしいです。</li><li>・海が近いので、津波対策のある環境を作ってほしいです。</li><li>・旧佐伯市内の道路沿いの歩道にごみを出しているのはあんまりいい感じがしません。弥生などのように場所を決めて出した方がいいと思います。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・野焼きの推進 昨今の状況では「野焼き＝悪」となっていますが、以下の観点から実験的にでも実施することを強く勧めます。 1. 食害対策 2. 特産品(山菜)収量の増加 3. 防虫(衛生)対策 古くからの慣習には必ず合理的な意味があります。</li><li>・小規模発電 中山間地の河川や水路、廃校、空き地、耕作放棄地はどれも有力な発電地となります。また、既存の公共施設の屋上も太陽光発電の有力な設置場所となります。災害時の電力を確保するためにも、自然エネルギーの小さな積み上げを検討してはいかがでしょうか。</li><li>・ごみの分別 ごみの分別区分けが少なすぎます。水俣市のようにとは言いませんが、他の地域でできている事なので、市民も行政も努力不足だと思います。</li></ul>
環境づくりも大事ですが、人間づくりも大事だと思いますが…。このようなアンケートをペーパーレスすることが、環境づくりの第一歩では？
ごみの分別に関しては現状の分別レベルでよいと思う。あまり細かく分別しすぎると、対応に時間がかかりすぎ負荷が大きくなりすぎる。
佐伯市における海や山川の環境を整備し、維持していく事は今後も大切だと思う。鳥獣被害対策として、広範囲に実のなる落葉樹などを植樹したら如何でしょうか。ボランティアを企業(学生)に募れば市民意識もUPするし、リーダーも育成され、個々の取り組みも日常に生かされると思う。エコは全世界的な問題だが、環境改善を小さな佐伯市で行うのであれば、赤いポストがあるように、佐伯市独自のダストボックスを設置し、道路にごみを捨てない意識を作ったら良い。そんな事はモラルを形成された人々ならあたり前のことだが、いまだに暗いトンネル内や野原に捨てられたコンビニのビニール袋や缶は減っていない。企業にお金を出して設備を強いるより、もっと市民に寄りそったレベルで取り組んでもらいたい。 西浜寄りの女島あたりから港区周辺にまで異臭がするこの季節、体調がすぐれないのだが、これも環境問題のひとつではないかと思う。
公園の掃除や、街灯のLED化などに、もっとお金を使ってほしいです。歴史資料館とかにお金を使わなくても良いです。もっと町を美しく、きれいにして下さい。

<p>佐伯は一年を通して気候も温暖である為、太陽光を利用して自然エネルギー活用のモデル都市構想を進めていくことも一案と思います。</p> <p>豊かな森林資源を利用したバイオマスエネルギー、堆肥システムの構築も行っていくことも一案と思います。</p>
<p>下水道の完全化 清掃活動日の設定 等</p>
<p>海の資源が売りの佐伯市なので、海岸にはごみひとつ無い素晴らしい浜辺の景観作りを市民全体で実践してもらいたい。ブルーツーリズム等と通じて外部の方々に海の環境保全について啓蒙する事が必要。海道3万キロメートルの中でも日本一の環境にやさしい美しい「浦辺」を目指してほしい。</p>
<p>環境標語、ポスターの募集、小中学生への環境教育の実施、処理施設(ごみ)の見学・老人会等のごみ処理施設の見学</p>
<p>リサイクルということを市が本格的に考えてほしい。例えば、廃校校舎へ行ってみると、まだまだ使えるものがほったらかしになっている。以前私の働いている所で、「机をゆずってほしい」と申し込んだが、「個人や企業にはゆずれない」との返答であった。結局はごみになるのに…と思いました。ごみを減らす事を市役所の中から取り組んでほしい。</p>
<p>各人が自動販売機で買った空き缶、ビン等を道路、田んぼに放置する人が大変多いので、自動販売機を置くのを考えねばいけない時代になったような気がします。人のマナーが大変悪くなっています。</p>

## ■ 環境づくりについてのアイデア、要望（つづき）

<p>郷土愛を市民にうえつける!!</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 公害や環境汚染、災害防止(特に地震、津波 etc)を図ること。◎工場に限らず一般家庭、農林業一体となること。◎ごみを少なくして</li> <li>2) 宅地の乱開発の防止。将来を考えた土地利用の適正化を図る。市街地中心部についても然り、”ゆとり”と“賑い”交流の場づくり。</li> <li>3) 水と緑と花を生活の中に活かし人間的で潤いのある街に。美しく魅力的で個性的な景観づくりを</li> </ol>
---

## ■ その他

<p>環境や自然とかエネルギーとか世間ではさわいでいますが、我々業界や一般の市民の思いは生活が第一です。もう余裕のないところまで来ています。この生活環境を「改善」してほしい!!はたから見ると市長をはじめ議員の皆さんや職員の方々が市民の生活の大変さを理解しているとは思えません。くだらない政治とくだらない議会、そしてなによりも市会議員の環境改善をお願いします!!</p>
--

武田邦彦 [takedanet.com](http://takedanet.com) 平野虎丸 [blog.livedoor.jp/rokuten1/](http://blog.livedoor.jp/rokuten1/) 等参考にしてください。  
太陽の磁場が5月に反転しそうだし、温暖化の抑制になるかも？というニュースもあります。むしろ冷温化？

排出権価格も暴落しています。いまや、温暖化説をとっているのは日本ぐらいで、ヨーロッパで取引が消滅すれば取引市場も日本だけという状況になりかねません。

郷土愛を市民にうえつける!!

- 1) 市内に産業を起こし(又は誘致し)働き場の収入の確保を図り、大学或いは専門学校を興し、文化、娯楽などにより人口の定着と雇用の場作り
- 2) 市民自らが質の高い生活が持てる、文化芸術的な充実を図り、伝統的な文化を保全復元し、またその活用を図る“祭り”を作る!!
- 3) スポーツ施設の拡充を図り、プロ野球をはじめ、実業団、大学、高校のスポーツ合宿等を誘致する。
- 4) 佐伯市民として自覚し成長していく市民学習、生涯学習を行い「まちづくり」を行う“人”を育てる。

### 3 小中学生アンケート調査結果

#### (1) 調査概要

1) 調査期間：平成 29 年 4 月（学校ごとに配布回収）

2) 調査方法：小中学生アンケート調査は、市街地、山間部、海岸部に分けて調査対象を抽出した。小学生は、市街地（佐伯地区）の学校 158 人、山間部（弥生地区、直川地区）で 26 人、海岸部（米水津地区、蒲江地区）で 34 人、合計 218 人を対象に調査を行った。中学生は市街地（佐伯地区）の学校 126 人、山間部（本匠地区、宇目地区）で 32 人、海岸部（上浦地区、鶴見地区）で 32 人、合計 190 人を対象に調査を行った。基本的に出席している生徒に配布、回収したため、回収率は 100%である。

#### 3) 回答者属性

##### 〈小学校〉

区 分		男(人)	女(人)	計(人)	構成比(%)	
市街地	佐伯地区	渡町台小	13	19	32	14.7
		鶴岡小	14	15	29	13.3
		佐伯東小	19	13	32	14.7
		八幡小	14	9	23	10.6
		下堅田小	15	11	26	11.9
		青山小	2	0	2	0.9
		木立小	9	5	14	6.4
小計		86	72	158	72.5	
山間部	弥生地区	上野小	11	11	22	10.1
	直川地区	直川小	3	1	4	1.8
	小計		14	12	26	11.9
海岸部	米水津地区	米水津小	5	7	12	5.5
	蒲江地区	蒲江湘南小	11	11	22	10.1
	小計		16	18	34	15.6
合 計		126	112	218	100.0	

##### 〈中学校〉

区 分		男(人)	女(人)	計(人)	構成比(%)	
市街地	佐伯地区	鶴谷中	16	19	35	18.4
		佐伯城南中	18	18	36	18.9
		彦陽中	11	18	29	15.3
		佐伯南中	12	14	26	13.7
	小計		57	69	126	66.3
山間部	本匠地区	本匠中	4	7	11	5.8
	宇目地区	宇目緑豊中	9	12	21	11.1
	小計		13	19	32	16.9
海岸部	上浦地区	東雲中	6	6	12	6.3
	鶴見地区	鶴見中	12	8	20	10.5
	小計		18	14	32	16.8
合 計		88	102	190	100.0	

## (2) 調査結果

### 1) 環境保全行動の実施状況

10項目の環境保全行動の実施状況について聞いたところ、小学校では全体で4項目（前回は8項目・前々回は6項目）について70%以上の実施率となっている。一方で中学校では全体の4項目（前回は3項目・前々回は1項目）について70%以上の実施率となっている。特に「買い物袋を持っていき、レジ袋を断る」は、小、中学校ともに前回調査では実施率が40ポイント以上高くなっていたが（前回：小学生42.7%、中学生53.5%増）、今回の調査では実施率が10ポイント以上前回調査値より低くなっている。（前回：小学生76.3%、中学生67.0%）

#### ■ 環境保全行動の実施状況（実施率）

〈小学生〉

(%)

	区 分	市街地	山間部	海岸部	計
◎●	ものを大切にしている	84.8	73.1	70.6	80.7
◎●	ごみのポイすてはしない	91.8	84.6	88.2	89.9
	食べ物は残さない	65.2	50.0	52.9	61.0
◎	買い物袋を持って行き、レジ袋を断る(または“シール”をはってもらう)	60.8	53.9	55.9	59.2
○	広告の裏紙を使うなど、資源を有効に使っている	60.1	57.7	61.8	60.1
◎◎	見ていないテレビは消している	65.8	65.4	67.7	66.1
◎	冷暖房は適度に調節し、なるべく使用しない	62.7	61.5	73.5	63.8
◎◎●	歯みがきのときは水を止める	91.1	92.3	97.1	92.2
◎◎●	木や花、生き物を大切にしている	85.4	73.1	70.6	81.7
	まちのごみ(空きカン・空きビンなど)拾いに参加している	31.7	50.0	32.4	33.5

※全体で70%以上の実施率の事項に●をつけている。◎は前回調査分。○前々回調査分。

〈中学生〉

(%)

	区 分	市街地	山間部	海岸部	計
◎●	ものを大切にしている	89.7	87.5	90.6	89.5
◎●	ごみのポイすてはしない	88.1	90.6	84.4	87.9
	食べ物は残さない	55.6	34.4	46.9	50.5
	買い物袋を持って行き、レジ袋を断る(または“シール”をはってもらう)	47.6	62.5	65.6	53.2
	広告の裏紙を使うなど、資源を有効に使っている	36.5	40.6	25.0	35.3
	見ていないテレビは消している	64.3	62.5	81.3	66.8
	冷暖房は適度に調節し、なるべく使用しない	58.7	68.8	59.4	60.5
◎◎●	歯みがきのときは水を止める	93.7	84.4	96.9	92.6
●	木や花、生き物を大切にしている	78.6	75.0	68.8	76.3
	まちのごみ(空きカン・空きビンなど)拾いに参加している	15.1	9.4	6.3	12.6

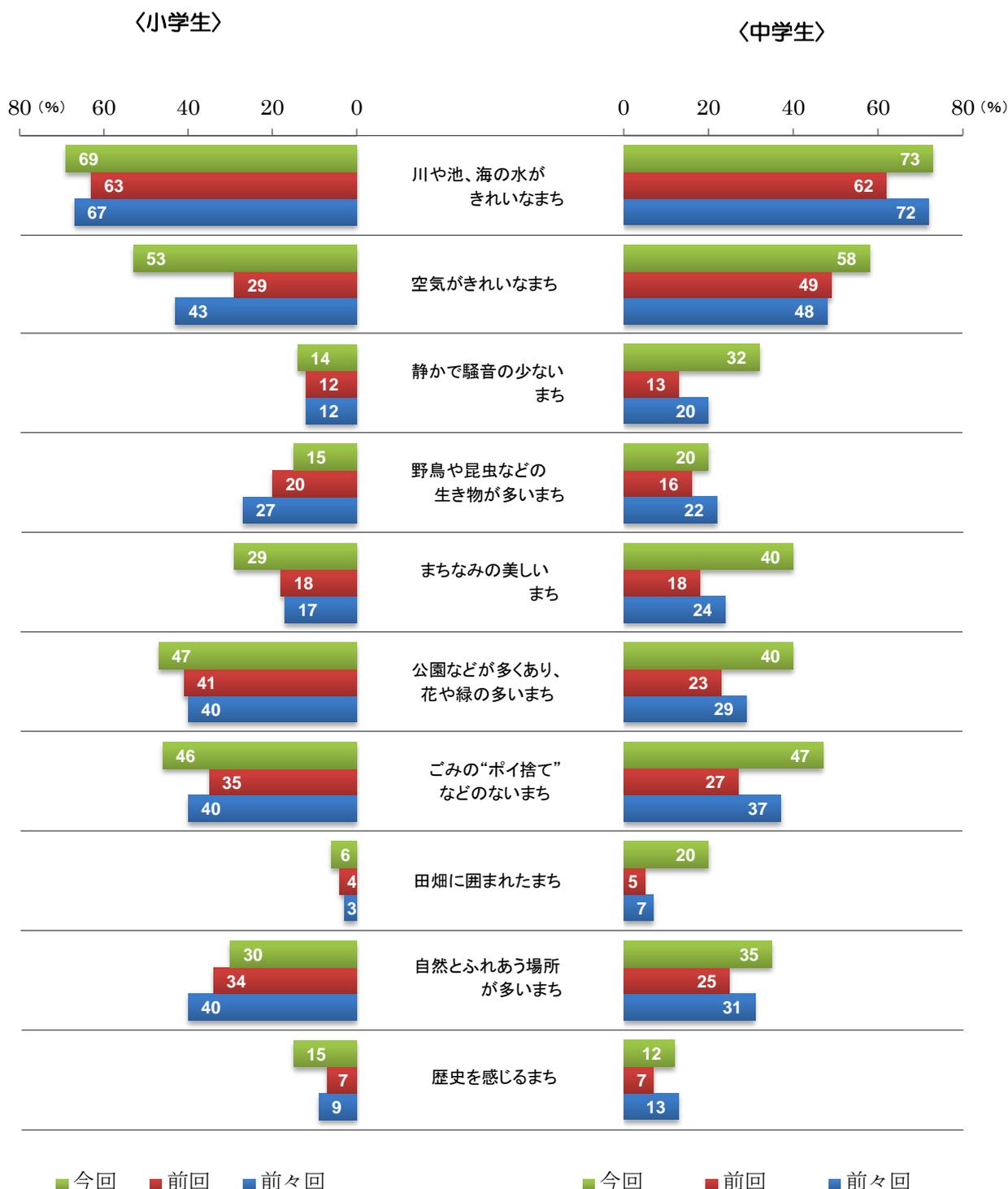
※全体で70%以上の実施率の事項に●をつけている。◎は前回調査分。○前々回調査分。

## 2) 佐伯市の環境のあるべき姿

佐伯市の環境のあるべき姿について聞いたところ、小学生、中学生全体では「川や池、海の水がきれいなまち」と回答した子どもが（小学生68.8%、中学生72.6%）と最も多い。

全体的に前回・前々回より回答率が高くなっており、中でも小学生では「空気がきれいなまち」、中学生では「まちなみの美しいまち」が前回より回答率が高くなっている。

### ■ 佐伯市がどんなまちだったらいいと思いますか



■ 佐伯市の環境のあるべき姿（地域別）

〈小学生〉

(%)

区分	川や池、海の水がきれいなまち	空気がきれいなまち	静かで騒音の少ないまち	野鳥や昆虫などの生き物が多いまち	まちなみの美しいまち	公園などが多くあり、花や緑の多いまち
市街地	69.0	51.9	12.0	13.9	27.2	46.8
山間部	61.5	46.2	7.7	11.5	26.9	53.9
海岸部	73.5	61.8	26.5	20.6	38.2	44.1
平均	68.8	52.8	13.8	14.7	28.9	47.3

区分	ごみの“ポイ捨て”などのないまち	田畑に囲まれたまち	自然とふれあう場所が多いまち	歴史を感じるまち
市街地	45.6	4.4	26.0	10.8
山間部	65.4	11.5	38.5	15.4
海岸部	35.3	11.8	44.1	32.4
平均	46.3	6.4	30.3	14.7

〈中学生〉

(%)

区分	川や池、海の水がきれいなまち	空気がきれいなまち	静かで騒音の少ないまち	野鳥や昆虫などの生き物が多いまち	まちなみの美しいまち	公園などが多くあり、花や緑の多いまち
市街地	79.4	64.3	31.8	16.7	44.4	45.2
山間部	59.4	43.8	34.4	25.0	31.3	31.3
海岸部	59.4	50.0	28.1	28.1	31.3	25.0
平均	72.6	58.4	31.6	20.0	40.0	39.5

区分	ごみの“ポイ捨て”などのないまち	田畑に囲まれたまち	自然とふれあう場所が多いまち	歴史を感じるまち
市街地	46.0	27.8	41.3	13.5
山間部	40.6	3.1	25.0	12.5
海岸部	59.4	6.3	18.8	6.3
平均	47.4	20.0	34.7	12.1

### 3) 身近な環境の評価

#### ① 川・池・海のきれいさ

川・池・海のきれいさについてどう感じているか聞いたところ、前回・前々回同様に小中学生ともにすべての地域で「良い」と回答した人が、「悪い」と回答した人の割合を上回っている。また、小学生ではすべての地域で「良い」と回答した人の割合が前回より高くなっている。

市民アンケートでは、川や池、海の水のきれいさについて満足度を聞いているが、全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合（合計約 48%）が、「かなり不満」又は「やや不満」と回答した人の割合（合計約 24%）を上回っているが、小中学生より大人の評価がやや厳しくなっている。

#### ■ 川、池、海のきれいさの評価

〈小学生〉 (％)

区分		良い	どちらとも いえない	悪い	無回答
市街地	今回	39.9	46.2	12.0	1.9
	前回	30.8	49.4	19.8	0
	前々回	27.2	53.7	19.1	0
山間部	今回	69.2	23.0	3.9	3.9
	前回	41.7	50.0	4.2	4.2
	前々回	57.4	40.4	2.1	0
海岸部	今回	58.8	38.2	3.0	0
	前回	52.4	31.0	16.7	0
	前々回	48.6	37.8	13.5	0
平均	今回	46.3	42.2	9.7	1.8
	前回	36.3	46.6	16.4	0.8
	前々回	37.3	48.2	14.5	0

〈中学生〉 (％)

区分		良い	どちらとも いえない	悪い	無回答
市街地	今回	32.6	45.2	22.2	0
	前回	36.7	48.9	13.3	1.1
	前々回	31.3	55.5	11.7	1.6
山間部	今回	59.4	34.4	6.2	0
	前回	68.3	29.3	2.4	0
	前々回	61.5	26.9	9.6	1.9
海岸部	今回	50.0	28.1	21.9	0
	前回	37.2	53.5	9.3	0
	前々回	16.1	52.9	31.0	0
平均	今回	40.0	40.5	19.5	0
	前回	41.7	46.6	11.0	0.8
	前々回	32.2	49.1	17.6	1.1

## ② 空気のきれいさ

空気のきれいさについてどう感じているか聞いたところ、前回・前々回と同様に小中学生ともにすべての地域で「良い」と回答した人が、「悪い」と回答した人の割合を上回っている。また、小中学生ともにすべての地域で「良い」と回答した人の割合が前回より高くなっている。

市民アンケートでは、空気のきれいさ・においについて満足度を聞いているが、全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人割合（合計約 59%）が、「かなり不満」又は「やや不満」と回答した人の割合（合計約 15%）を大きく上回っていて、小中学生の評価と大きな違いはない。

### ■ 空気のきれいさの評価

〈小学生〉

(%)

区分		良い	どちらとも いえない	悪い	無回答
市街地	今回	61.3	36.7	0.7	1.3
	前回	55.8	41.9	2.3	0.0
	前々回	58.8	34.6	6.6	0.0
山間部	今回	69.2	26.9	0	3.9
	前回	58.3	31.3	2.1	8.3
	前々回	63.8	34.0	0	2.1
海岸部	今回	67.7	32.3	0	0
	前回	64.3	35.7	0	0
	前々回	70.3	29.7	0	0
平均	今回	63.3	34.9	0.4	1.4
	前回	57.6	38.9	1.9	1.5
	前々回	61.8	33.6	4.1	0.5

〈中学生〉

(%)

区分		良い	どちらとも いえない	悪い	無回答
市街地	今回	69.0	27.8	2.4	0.8
	前回	57.8	39.4	1.1	1.7
	前々回	51.6	45.3	0	3.1
山間部	今回	96.9	3.1	0	0
	前回	87.8	12.2	0	0
	前々回	76.9	19.2	1.9	1.9
海岸部	今回	62.5	37.5	0	0
	前回	58.1	41.9	0	0
	前々回	56.3	41.4	2.3	0
平均	今回	72.6	25.2	1.6	0.6
	前回	62.5	35.6	0.8	1.1
	前々回	58.1	39.0	1.1	1.9

### ③ まちの清潔さ

まちの清潔さについてどう感じているか聞いたところ、前回・前々回と同様に小中学生ともにすべての地域で「良い」と回答した人が、「悪い」と回答した人の割合を上回っている。また、小学生では市街地と山間部で、中学生ではすべての地域で「良い」と回答した人の割合が前回より高くなっている。

市民アンケートでは、まちなみ景観の美しさについて満足度を聞いているが、全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合（合計約 41%）が、「かなり不満」又は「やや不満」と回答した人の割合（合計約 26%）を上回っているものの、小中学生より大人の評価がかなり厳しくなっている。

#### ■ まちの清潔さの評価

##### 〈小学生〉

(%)

区分		良い	どちらとも いけない	悪い	無回答
市街地	今回	34.2	49.4	13.3	3.1
	前回	29.1	59.3	11.6	0
	前々回	16.9	69.1	14.0	0
山間部	今回	46.1	46.1	0	7.8
	前回	27.1	60.4	4.2	8.3
	前々回	29.8	53.2	14.9	2.1
海岸部	今回	32.4	64.7	2.9	0
	前回	42.9	52.4	2.4	2.4
	前々回	43.2	56.8	0	0
平均	今回	35.3	51.4	10.1	3.2
	前回	30.9	58.4	8.8	1.9
	前々回	24.1	63.8	11.8	0.5

##### 〈中学生〉

(%)

区分		良い	どちらとも いけない	悪い	無回答
市街地	今回	35.7	52.4	11.9	0
	前回	32.2	60.6	5.6	1.7
	前々回	23.4	64.8	10.2	1.6
山間部	今回	53.1	40.6	6.3	0
	前回	29.3	58.5	12.2	0
	前々回	28.8	57.7	11.5	1.9
海岸部	今回	34.4	56.2	9.6	0
	前回	30.2	62.8	7.0	0
	前々回	19.5	67.8	11.5	1.1
平均	今回	38.4	51.1	10.5	0
	前回	31.4	60.6	6.8	1.1
	前々回	23.2	64.4	10.9	1.5

#### ④ 風景の美しさ

風景の美しさについてどう感じているか聞いたところ、前回・前々回と同様に小中学生ともにすべての地域で「良い」と回答した人が、「悪い」と回答した人の割合を上回っている。また、小学生では市街地と海岸部で、中学生では山間部で「良い」と回答した人の割合が前回より高くなっている。

市民アンケートでは、自然景観、農村景観の美しさについて満足度を聞いているが、全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合（合計約 49%）が、「かなり不満」又は「やや不満」と回答した人の割合（合計約 15%）を大きく上回っているものの、小中学生より大人の評価がやや厳しくなっている。

#### ■ 風景の美しさの評価

##### 〈小学生〉

(%)

区分		良い	どちらとも いけない	悪い	無回答
市街地	今回	62.7	32.2	3.2	1.9
	前回	58.1	39.5	2.3	0
	前々回	64.0	33.8	1.5	0.7
山間部	今回	46.1	46.1	3.9	3.9
	前回	56.3	33.3	2.1	8.3
	前々回	66.0	27.7	0	6.4
海岸部	今回	79.4	20.6	0	0
	前回	76.2	21.4	0	2.4
	前々回	81.1	16.2	0	2.7
平均	今回	63.3	32.1	2.8	1.8
	前回	60.7	35.5	1.9	1.9
	前々回	67.3	29.5	0.9	2.3

##### 〈中学生〉

(%)

区分		良い	どちらとも いけない	悪い	無回答
市街地	今回	53.2	42.0	4.0	0.8
	前回	59.4	38.9	0.6	1.1
	前々回	48.4	48.4	1.6	1.6
山間部	今回	65.6	28.1	6.3	0
	前回	61.0	34.1	4.9	0
	前々回	71.2	26.9	0	1.9
海岸部	今回	75.0	25.0	0	0
	前回	79.1	20.9	0	0
	前々回	57.5	37.9	3.4	1.1
平均	今回	58.9	36.8	3.7	0.6
	前回	62.9	35.2	1.1	0.8
	前々回	55.8	40.8	1.9	1.5

## ⑤ 緑とのふれあいの多さ

緑とのふれあいの多さについてどう感じているか聞いたところ、前回・前々回と同様に小中学生ともにすべての地域で「多い」と回答した人が、「少ない」と回答した人の割合を上回っている。また、すべての地域で「多い」と回答した人の割合が前回より高くなっている。

市民アンケートでは、緑とのふれあいについて満足度を聞いているが、全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合（合計約 55%）が、「かなり不満」又は「やや不満」と回答した人の割合（合計約 12%）を大きく上回っているものの、小中学生より大人の評価がやや厳しくなっている。

### ■ 緑とのふれあいの多さの評価

#### 〈小学生〉

(%)

区分		多い	どちらとも いえない	少ない	無回答
市街地	今回	72.1	24.7	1.9	1.3
	前回	61.6	37.2	1.2	0
	前々回	69.1	27.2	3.7	0
山間部	今回	84.6	11.5	0	3.9
	前回	56.3	33.3	2.1	8.3
	前々回	80.9	17.0	0	2.1
海岸部	今回	76.5	23.5	0	0
	前回	76.2	21.4	0	2.4
	前々回	70.3	29.7	0	0
平均	今回	74.3	22.9	1.4	1.4
	前回	63.0	34.0	1.1	1.9
	前々回	71.8	25.5	2.3	0.5

#### 〈中学生〉

(%)

区分		多い	どちらとも いえない	少ない	無回答
市街地	今回	69.0	28.6	1.6	0.8
	前回	58.3	39.4	1.1	1.1
	前々回	57.8	40.6	0.0	1.6
山間部	今回	96.9	3.1	0	0
	前回	80.5	19.5	0	0
	前々回	76.9	21.2	0	1.9
海岸部	今回	75.0	21.9	3.1	0
	前回	74.4	25.6	0	0
	前々回	59.8	36.8	3.4	0
平均	今回	74.7	23.1	1.6	0.6
	前回	64.4	34.1	0.8	0.8
	前々回	62.2	35.6	1.1	1.1

## ⑥ 公園の多さ

公園の多さについてどう感じているか聞いたところ、小学生では市街地と海岸部で、中学生では山間部と海岸部で「少ない」と回答した人が「多い」と回答した人の割合を上回っている。また、小学生では山間部で、中学生では海岸部で「良い」と回答した人の割合が前回より高くなっている。

市民アンケートでは、公園や野外レクリエーション地の充実について満足度を聞いているが、全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合（合計約 32%）が、「かなり不満」又は「やや不満」と回答した人の割合（合計約 23%）を若干上回っていて、小中学生との評価の違いがみられる。

### ■ 公園の多さの評価

#### 〈小学生〉

(%)

区 分		多い	どちらとも いえない	少ない	無回答
市街地	今回	20.9	50.0	27.8	1.3
	前回	24.4	48.8	26.7	0
	前々回	19.9	55.9	24.3	0
山間部	今回	26.9	50.0	19.2	3.9
	前回	10.4	64.6	16.7	8.3
	前々回	21.3	61.7	14.9	2.1
海岸部	今回	17.7	47.0	35.3	0
	前回	26.2	50.0	19.0	4.8
	前々回	5.4	40.5	54.1	0
平 均	今回	21.1	49.5	28.0	1.4
	前回	22.1	51.9	23.7	2.3
	前々回	17.7	54.5	27.3	0.5

#### 〈中学生〉

(%)

区 分		多い	どちらとも いえない	少ない	無回答
市街地	今回	30.2	46.0	23.8	0
	前回	32.2	55.6	11.1	1.1
	前々回	25.8	60.9	11.7	1.6
山間部	今回	9.4	50.0	40.6	0
	前回	9.8	65.9	24.4	0
	前々回	1.9	55.8	40.4	1.9
海岸部	今回	15.6	62.5	21.9	0
	前回	11.6	76.7	11.6	0
	前々回	10.3	70.1	19.5	0
平 均	今回	24.2	49.5	26.3	0
	前回	25.4	60.6	13.3	0.8
	前々回	16.1	62.9	19.9	1.1

## ⑦ 水や水辺とのふれあいの多さ

水や水辺とのふれあいについてどう感じているか聞いたところ、前回・前々回と同様に小中学生すべての地域で「多い」と回答した人が、「少ない」と回答した人の割合を上回っている。また、小学生では市街地と山間部で、中学生では市街地と海岸部で「多い」と回答した人の割合が前回より高くなっている。

市民アンケートでは、水や水辺とのふれあいについて満足度を聞いているが、全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合（合計約 37%）が、「かなり不満」又は「やや不満」と回答した人の割合を（合計約 19%）を上回ってはいるが、小中学生より大人の評価がかなり厳しくなっている。

### ■ 水や水辺とのふれあいの多さの評価

#### 〈小学生〉

(%)

区分		多い	どちらとも いえない	少ない	無回答
市街地	今回	43.7	43.1	10.1	3.1
	前回	40.7	56.4	2.3	0.6
	前々回	40.4	51.5	7.4	0.7
山間部	今回	46.1	50.0	0	3.9
	前回	31.3	58.3	0.0	10.4
	前々回	59.6	34.0	2.1	4.3
海岸部	今回	55.9	38.2	0	5.9
	前回	59.5	35.7	2.4	2.4
	前々回	43.2	51.4	5.4	0
平均	今回	45.9	43.1	7.3	3.7
	前回	42.0	53.4	1.9	2.7
	前々回	45.0	47.7	5.9	1.4

#### 〈中学生〉

(%)

区分		多い	どちらとも いえない	少ない	無回答
市街地	今回	39.7	56.3	4.0	0
	前回	34.4	60.6	3.3	1.7
	前々回	38.3	53.9	4.7	3.1
山間部	今回	50.0	46.9	3.1	0
	前回	53.7	46.3	0	0
	前々回	50.0	42.3	3.8	3.8
海岸部	今回	62.5	34.4	0	3.1
	前回	53.5	46.5	0	0
	前々回	43.7	52.9	3.4	0
平均	今回	45.2	51.0	3.2	0.6
	前回	40.5	56.1	2.3	1.1
	前々回	42.3	51.3	4.1	2.2

## ⑧ 歴史的な感じ（ふんい気）

歴史的な感じ（ふんい気）についてどう感じているか聞いたところ、前回・前々回と同様に小中学校すべての地域で「良い」と回答した人が、「悪い」と回答した人の割合を上回っている。また、小学生では山間部と海岸部で、中学生では市街地と海岸部で「多い」と回答した人の割合が前回より高くなっている。

市民アンケートでは、歴史や伝統に関するまちの雰囲気について満足度を聞いているが、全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合（合計約29%）が、「かなり不満」又は「やや不満」と回答した人の割合（合計約16%）を上回っているが、小中学生より大人の評価がやや厳しくなっている。

### ■ 歴史的な感じ（ふんい気）の評価

#### 〈小学生〉

(%)

区 分		良い	どちらとも いえない	悪い	無回答
市街地	今回	24.7	63.9	10.1	1.3
	前回	30.8	57.0	11.0	1.2
	前々回	19.9	71.3	8.1	0.7
山間部	今回	23.1	73.0	0	3.9
	前回	16.7	68.8	6.3	8.3
	前々回	34.0	61.7	0	4.3
海岸部	今回	47.1	47.1	2.9	2.9
	前回	35.7	59.5	0	4.8
	前々回	18.9	73.0	8.1	0
平 均	今回	28.0	62.4	7.8	1.8
	前回	29.0	59.5	8.4	3.1
	前々回	22.7	69.5	6.4	1.4

#### 〈中学生〉

(%)

区 分		良い	どちらとも いえない	悪い	無回答
市街地	今回	28.6	66.6	4.8	0
	前回	26.7	65.6	6.7	1.1
	前々回	24.2	68.0	6.3	1.6
山間部	今回	6.3	87.5	6.2	0
	前回	24.4	73.2	2.4	0
	前々回	11.5	75.0	11.5	1.9
海岸部	今回	21.9	71.9	6.2	0
	前回	11.6	74.4	11.6	2.3
	前々回	12.6	81.6	4.6	1.1
平 均	今回	23.7	71.0	5.3	0
	前回	23.9	68.2	6.8	1.1
	前々回	18.0	73.8	6.7	1.5

## ⑨ 生き物とのふれあいの多さ

生き物とのふれあいの多さについてどう感じているか聞いたところ、前回・前々回と同様に小中学生すべての地域で「多い」と回答した人が、「少ない」と回答した人の割合を上回っている。また、小学生では市街地と海岸部で、中学生ではすべての地域で「多い」と回答した人の割合が前回より高くなっている。

市民アンケートでは、野鳥や昆虫とのふれあいについて満足度を聞いているが、全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計約 38%で、「かなり不満」又は「やや不満」と回答した人の割合（合計約 11%）を上回っているものの、小中学生より大人の評価がやや厳しくなっている。

### ■ 生き物とのふれあいの多さの評価

#### 〈小学生〉

(%)

区分		多い	どちらとも いけない	少ない	無回答
市街地	今回	56.3	39.2	0.7	3.8
	前回	53.5	41.9	4.7	0
	前々回	66.2	29.4	4.4	0
山間部	今回	42.3	53.8	0	3.9
	前回	43.8	47.9	0	8.3
	前々回	70.2	25.5	0	4.3
海岸部	今回	58.9	35.3	2.9	2.9
	前回	57.1	35.7	0	7.1
	前々回	62.2	35.1	0	2.7
平均	今回	55.0	40.4	2.8	1.8
	前回	52.3	42.0	3.1	2.7
	前々回	66.4	29.5	2.7	1.4

#### 〈中学生〉

(%)

区分		多い	どちらとも いけない	少ない	無回答
市街地	今回	42.1	54.8	3.1	0
	前回	37.2	58.3	3.3	1.1
	前々回	34.4	58.6	4.7	2.3
山間部	今回	59.4	40.6	0	0
	前回	46.3	53.7	0	0
	前々回	46.2	48.1	3.8	1.9
海岸部	今回	40.6	56.3	3.1	0
	前回	32.6	58.1	7.0	2.3
	前々回	42.5	55.2	2.3	0
平均	今回	44.8	52.6	2.6	0
	前回	37.9	57.6	3.4	1.1
	前々回	39.3	55.4	3.7	1.5

#### 4) 環境に関する言葉の認知度

環境に関する言葉の認知度で、知っていると回答した割合が高かったものとしては、小学生では「リサイクル (97.7%)」、「太陽光発電 (91.7%)」、「下水道 (89.9%)」の順となっている。中学生では「地球温暖化 (99.0%)」が最も高く、「リサイクル (98.4%)」、「太陽光発電 (96.3%)」の順となっている。また、「ダイオキシン」は、前回より小学生が 16.8 ポイント、中学生で 30.3 ポイントも減少している。その他、認知度の低い言葉としては、前回・前々回と同様に「ビオトープ」、「レッドデータブック」が、小中学生ともに低くなっている。

#### ■ 環境に関することばの認知度

〈小学生〉

(%)

区 分	今 回			
	市街地	山間部	海岸部	計
省エネ	72.8	57.7	73.5	72.0
リサイクル	96.8	88.5	100.0	97.7
エコマーク、グリーンマーク	73.4	50.0	58.8	69.3
ビオトープ	9.5	3.9	2.9	7.8
レッドデータブック	8.2	7.7	8.8	8.3
酸性雨	28.5	15.4	20.6	25.7
下水道	94.3	69.2	79.4	89.9
ダイオキシン	10.1	0.0	11.8	9.2
地球の温暖化	79.8	46.2	76.5	75.7
太陽光発電	93.0	80.8	85.3	91.7

〈小学生〉

(%)

区 分	前 回				前々回			
	市街地	山間部	海岸部	計	市街地	山間部	海岸部	計
省エネ	86.0	81.3	88.1	85.5	65.4	72.3	54.1	65.0
リサイクル	98.8	87.5	85.7	94.7	97.8	100.0	97.3	98.2
エコマーク、グリーンマーク	87.8	68.8	81.0	83.2	91.9	93.6	91.9	92.3
ビオトープ	8.1	2.1	21.4	9.2	4.4	2.1	48.6	11.4
レッドデータブック	8.1	6.3	11.9	8.4	5.1	0.0	2.7	3.6
酸性雨	20.9	8.3	21.4	18.7	33.8	19.1	27.0	29.5
下水道	91.3	77.1	83.3	87.4	94.1	97.9	89.2	94.1
ダイオキシン	29.1	18.8	21.4	26.0	58.8	44.7	37.8	52.3
地球の温暖化	92.4	81.3	88.1	89.7	91.2	93.6	89.2	91.4
太陽光発電	97.1	87.5	88.1	93.9	88.2	89.4	81.1	87.3

〈中学生〉

(%)

区 分	今 回			
	市街地	山間部	海岸部	計
省エネ	94.4	96.9	100.0	95.8
リサイクル	97.6	100.0	100.0	98.4
エコマーク、グリーンマーク	90.5	96.9	96.9	92.6
ビオトープ	1.6	3.1	9.4	3.2
レッドデータブック	4.8	9.4	6.3	5.8
酸性雨	76.2	93.8	59.4	76.3
下水道	94.4	93.8	96.9	94.7
ダイオキシン	44.4	78.1	43.8	50.0
地球の温暖化	99.2	96.9	100.0	99.0
太陽光発電	94.4	100.0	100.0	96.3

〈中学生〉

(%)

区 分	前 回				前々回			
	市街地	山間部	海岸部	計	市街地	山間部	海岸部	計
省エネ	90.6	100.0	93.0	92.4	80.5	88.5	79.3	81.6
リサイクル	93.3	100.0	95.3	94.7	96.1	98.1	89.7	94.4
エコマーク、グリーンマーク	87.2	87.8	97.7	89.0	86.7	94.2	79.3	85.8
ビオトープ	7.2	4.9	37.2	11.7	3.9	11.5	4.6	5.6
レッドデータブック	8.9	12.2	4.7	8.7	7.8	15.4	4.6	8.2
酸性雨	74.4	90.2	74.4	76.9	80.5	92.3	75.9	81.3
下水道	85.6	97.6	90.7	88.3	86.7	94.2	83.9	87.3
ダイオキシン	79.4	95.1	69.8	80.3	88.3	96.2	85.1	88.8
地球の温暖化	91.1	95.1	95.3	92.4	93.8	94.2	88.5	92.1
太陽光発電	89.4	97.6	93.0	91.3	82.8	80.8	80.5	81.6

## 5) 自由意見

### ① 大人にやめて欲しい環境に悪いこと

区分	意見件数	主な意見(概要)
ごみ問題・ 環境美化	50	ごみ・タバコのポイ捨てをやめてほしい(罰金も考えてはどうか)
	3	海にごみを捨てないでほしい
	2	ごみの焼却をやめてほしい
	2	環境に悪いので、タバコの喫煙数を減らしてほしい
	2	犬や猫のフンの後始末をしてほしい
	1	タバコの吸い殻を拾ってほしい
	1	生き物を大切にしてほしい
	1	公園にごみを捨てているから拾ってほしい
	1	ゴミ拾いを週に1度はやってほしい
	1	ごみがポイ捨てされていたら拾って捨ててほしい
	1	地域の人と一緒にゴミ拾いをしてほしい
交通	1	レジ袋をもらわずに、買い物袋を持っていく。
	1	車に乗らず自転車を使う

### ② 佐伯市の環境を守るためにあなたができること

区分	意見件数	主な意見(概要)
ごみ問題・ 環境美化	44	ごみを拾う・ごみ箱に捨てる
	37	ごみのポイ捨てをしない・
	12	レジ袋をもらわずに、買い物袋を持っていく。
	8	ごみの分別、リサイクルをする
	8	ごみを捨てない、出さない
	7	ポイ捨てをしないように呼び掛ける(注意)
	4	地域、学校のクリーン活動(ボランティア活動)に参加する
	1	ごみを出さないようにポスターを張って呼び掛ける
	1	タバコをやめさせたい
	1	大人になったら、タバコの喫煙など周りに迷惑をかけることはしない
	1	環境やエコについて学ぶ、聞く、考える
	1	佐伯市が一番きれいな町になるよう、清掃活動をしたい
	1	ごみを減らす努力をする
	1	ごみ拾いの範囲を広くし、ごみを無くしていきたい
	1	町をきれいにする
	1	空き缶、空きビンの回収をする
	27	電気、水、物を節約する・大切に使う

自然	7	自然を大切にする
	6	川や海をきれいにする、汚さない
	6	食べ残しをしない
	2	植物を大切にする
	2	無駄づかいはせず、資源を大切にする
省エネ・ 省資源	1	木を植える
	1	もっと地球をきれいにしたい
	1	環境を守る

### ③ 佐伯市の環境を守るために市役所をお願いしたいこと

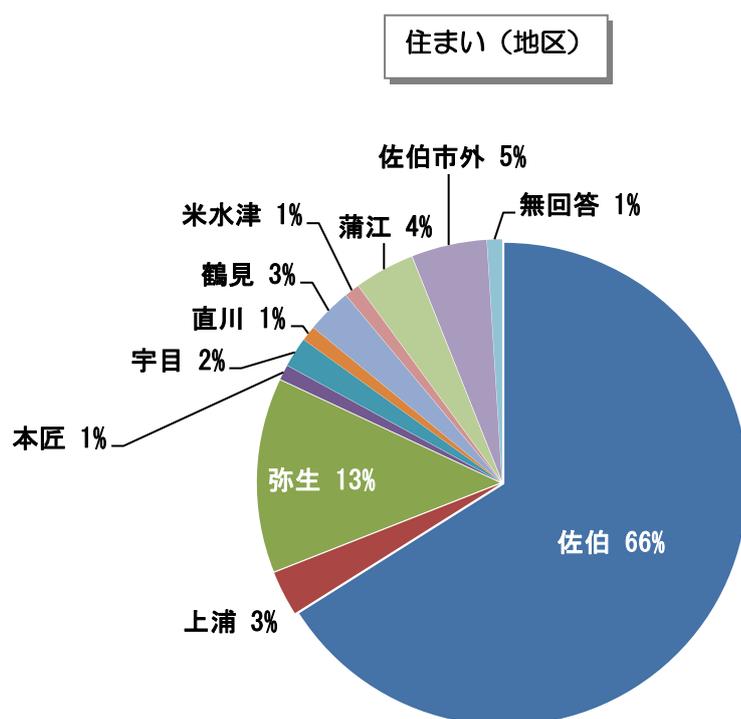
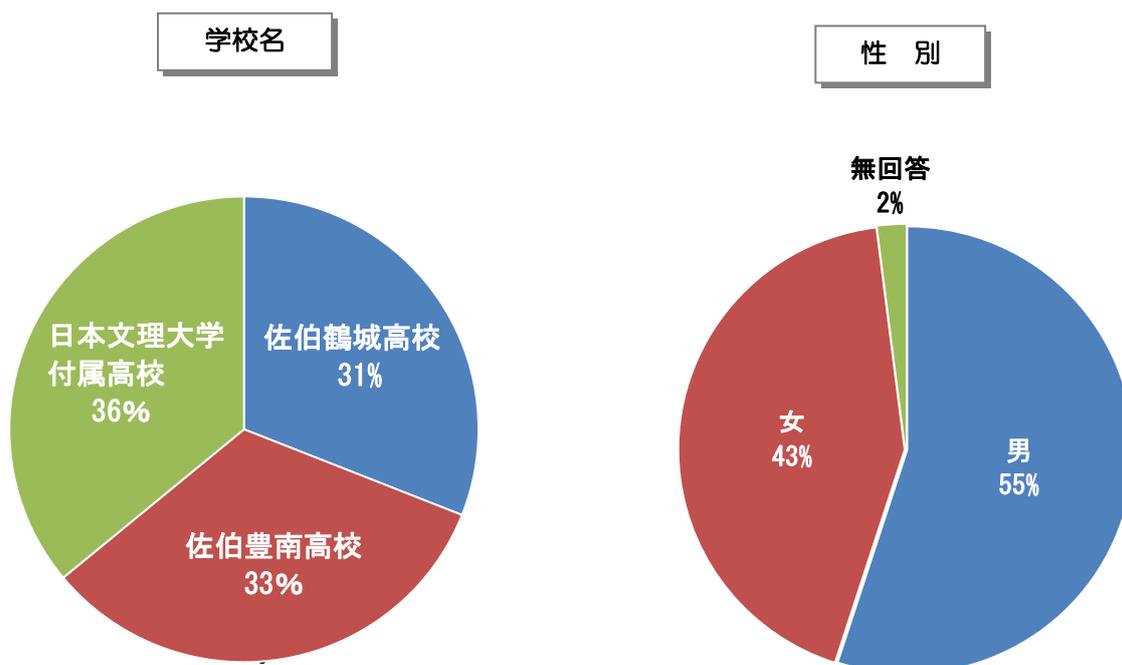
区分	意見件数	主な意見(概要)
ごみ問題・ 環境美化	28	いろいろな所にごみ箱を設置してほしい
	7	ポイ捨て・ごみ捨て禁止のポスター、看板を設置してほしい
	4	タバコの吸い殻入れを設置してほしい・数を増やしてほしい
	4	ごみやタバコをポイ捨てした場合罰金を取ってほしい・厳しく取り締まってほしい
	3	ポイ捨てをやめさせてほしい
	3	トイレを増やしてほしい
	2	喫煙スペースを設置する
	2	空き家対策をお願いします
	1	全地区にちゃんとしたごみ捨て場を作ってほしい
	1	「タバコポイ捨て禁止！」を呼び掛ける
	1	学校で「食べ残しダメ」の呼びかけをしてほしい
	1	ごみの収集日を増やしてほしい
1	ペットのフンを捨てないで持ち帰ってほしい	
公園・自然	43	公園を作ってほしい・もっと広くしてほしい・遊具を増やしてほしい
	15	公園などに花や木を植えてほしい
	6	海・川・池をきれいにしてほしい
	5	自然を増やしてほしい
	4	雑草の手入れをしてほしい
	2	ベンチを作ってほしい
	1	花や木を大切にする
その他	13	楽しい場所を沢山作ってほしい
	6	スーパー・コンビニ・遊び場・野球場等を増やしてほしい
	5	ボランティアへの参加の呼びかけ、活動を行ってほしい
	1	動物と触れ合える場所がほしい

## 4 高校生アンケート調査結果

### (1) 調査概要

- 1) 調査期間：平成 29 年 4 月（学校ごとに配布回収）
- 2) 調査方法：佐伯市内の高校 3 校（県立 2 校、私立 1 校）すべて、各学校 1～2 クラスを対象に調査を行った。基本的に出席している生徒に配布、回収したため回収率は 100%（計 122 人）である。

### 3) 回答者属性



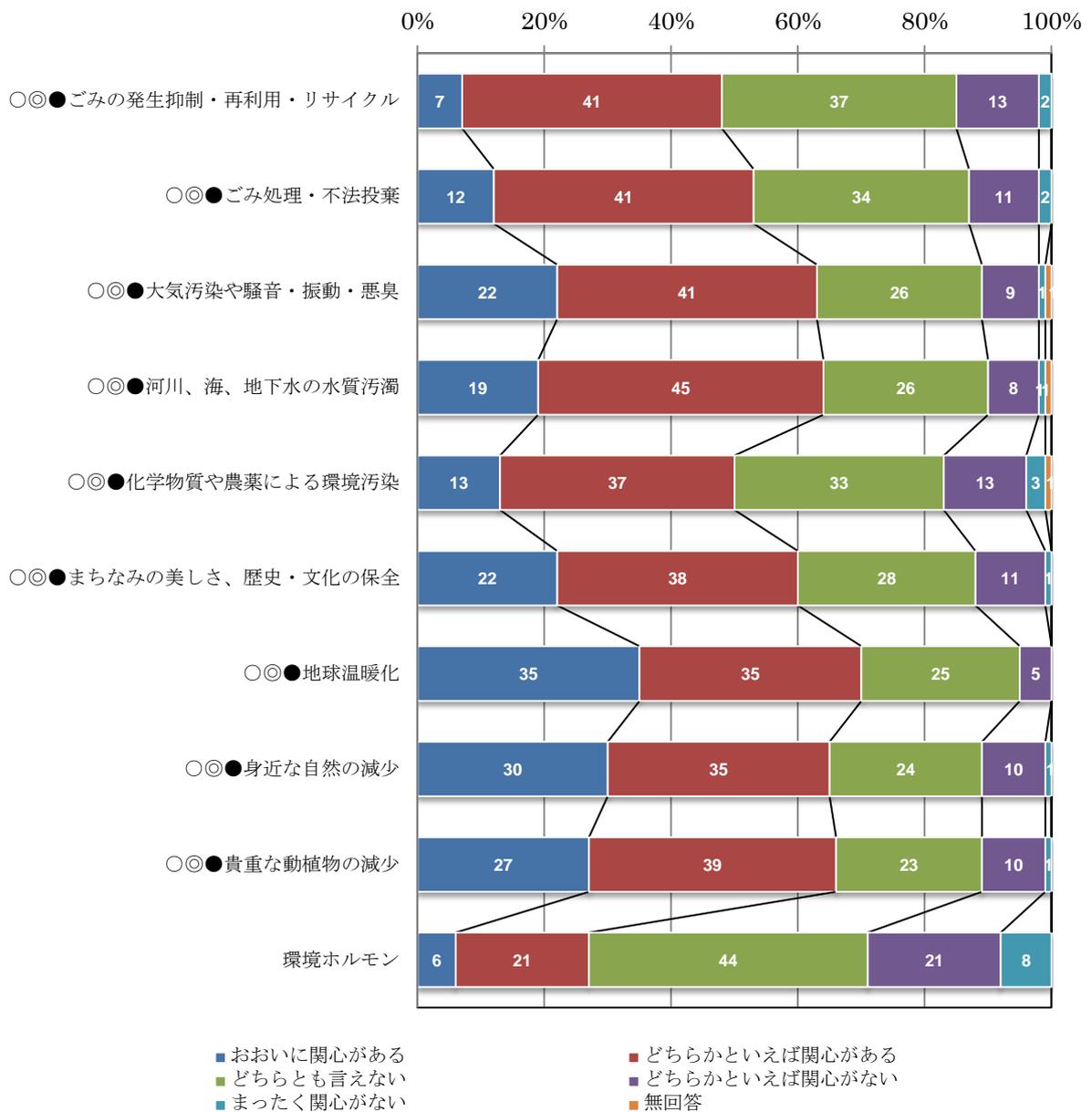
### (3) 調査結果

#### 1) 環境問題への関心

10 項目の環境問題について関心の度合いについて聞いたところ、前回・前々回と同様に 10 項目全てについて「おおいに関心がある」又は「どちらかといえば関心がある」と回答した人の割合が、「どちらかといえば関心がない」又は「全く関心がない」と回答した人の割合を上回っている。

また、「おおいに関心がある」又は「どちらかといえば関心がある」と回答した人の割合が 60%以上となっている項目は、10 項目の内、6 項目であった。(前回 6 項目・前々回 8 項目)

#### ■ 環境に関することからの関心度

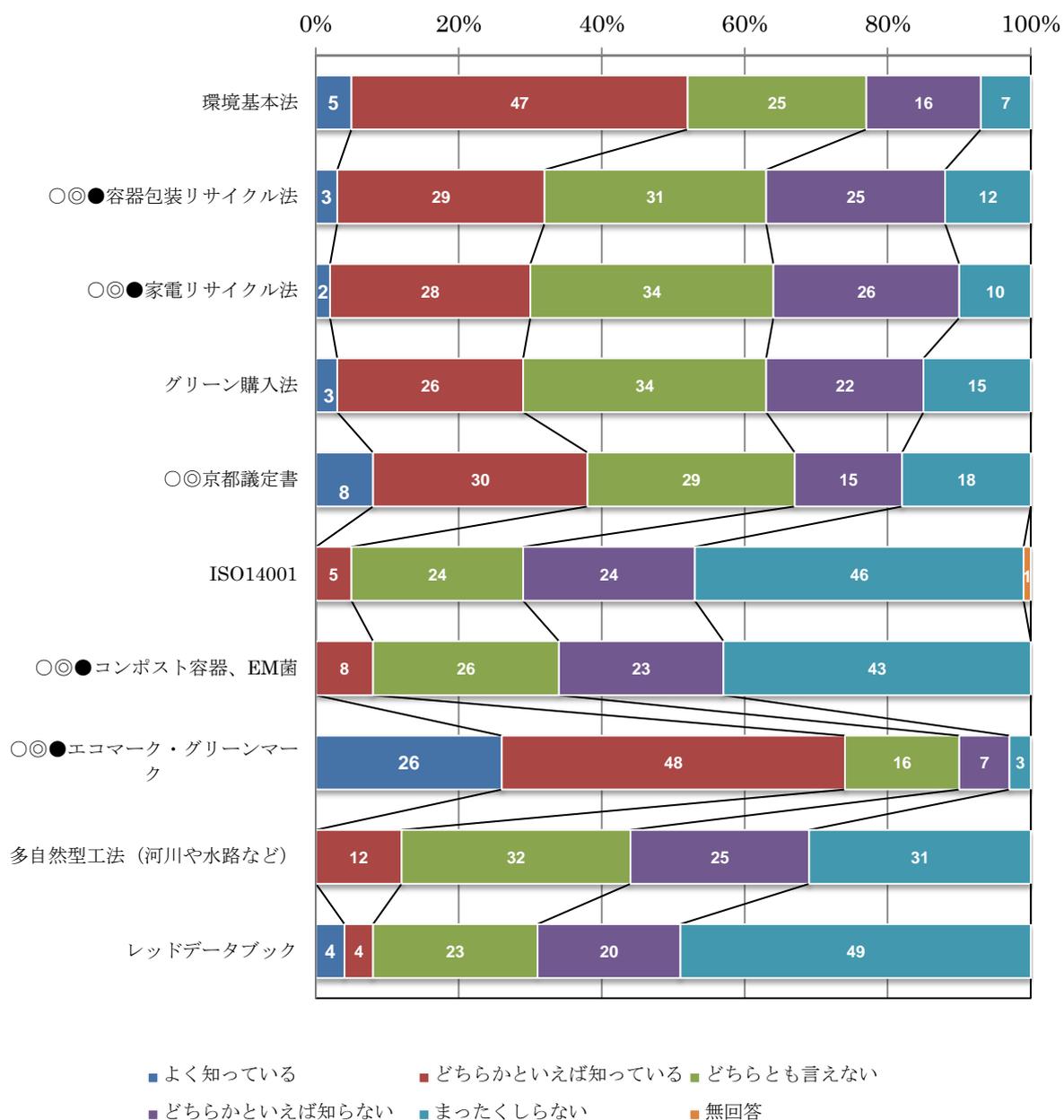


※「おおいに関心がある」又は「どちらかといえば関心がある」と回答した人の割合が「どちらかといえば関心がない」又は「全く関心がない」と回答した人を上回っている項目に●(前回該当分は○前々回該当分は○)をつけている。

## 2) 環境用語の認知度

10 項目の環境に関する用語について認知度を聞いたところ、「よく知っている」又は「どちらかといえば知っている」と回答した人の割合が、「どちらかといえば知らない」又は「まったく知らない」と回答した人の割合を上回っていたのは、「環境基本法」「京都議定書」「エコマーク、グリーンマーク」の3項目であった。前回は、「エコマーク、グリーンマーク」のみ、前々回は、「家電リサイクル法」「京都議定書」「エコマーク、グリーンマーク」であった。

■ 環境用語についての認知度



※「よく知っている」又は「どちらかといえば知っている」と回答した人が「どちらかといえば知らない」又は「全く知らない」と回答した人の割合を上回る項目に●（前回該当分は◎・前々回は○）をつけている。

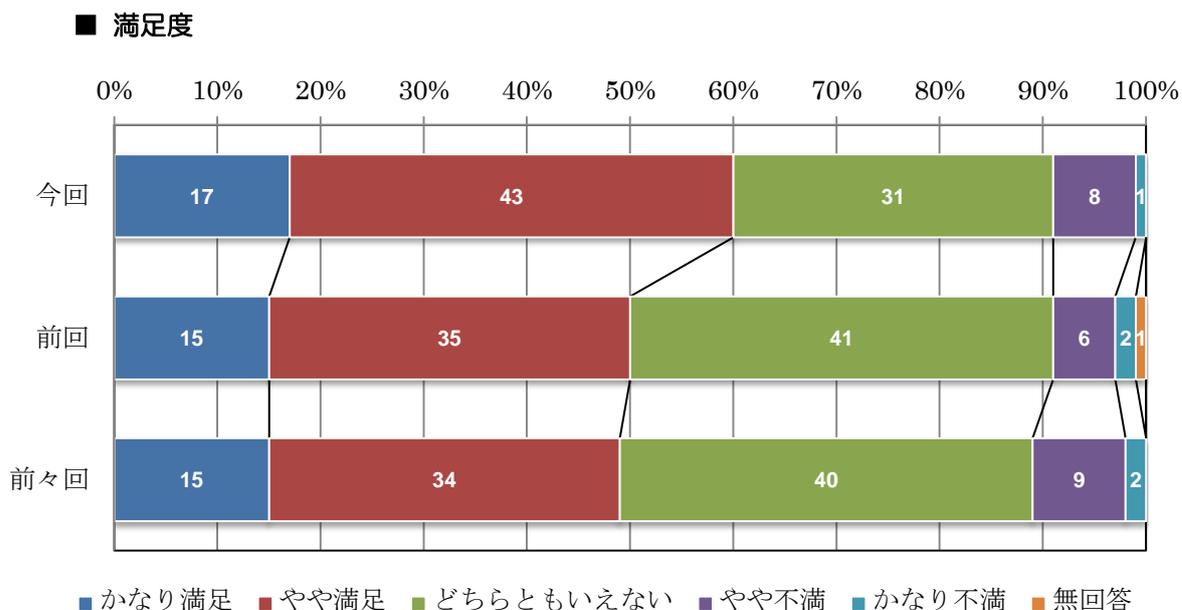
(%)

### 3) 身近な環境の満足度

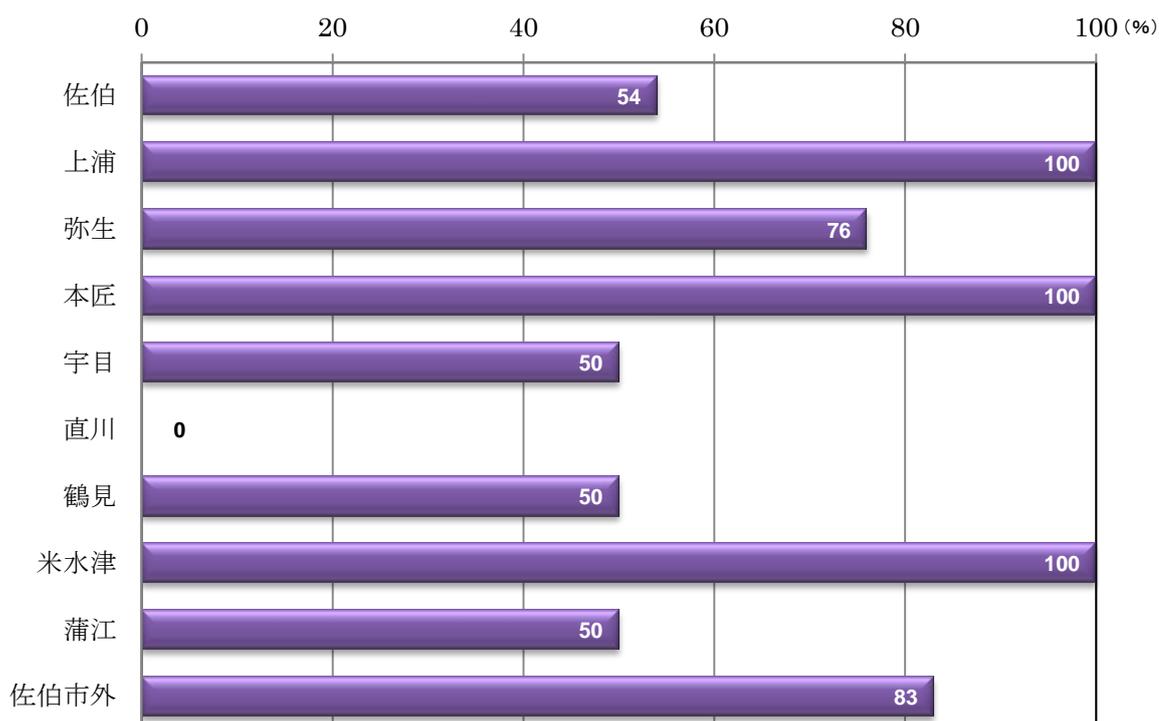
#### ① 自然景観、農村景観の美しさ

自然景観、農村景観の美しさについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計約60%（前回比10ポイント・前々回比11ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の割合（合計約9%：前回比1ポイント増・前々回比2ポイント減）を上回っている。

住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「上浦」「本匠」「米水津」が同率で最も高くなっている。



#### ■ 住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）

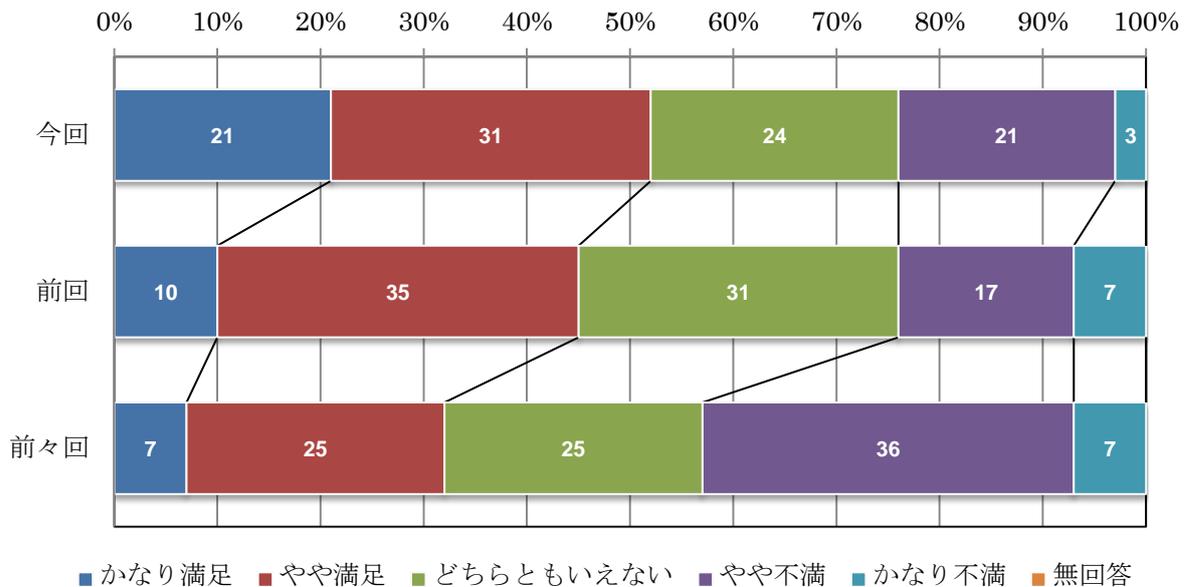


## ② 川や池、海の水のきれいさ

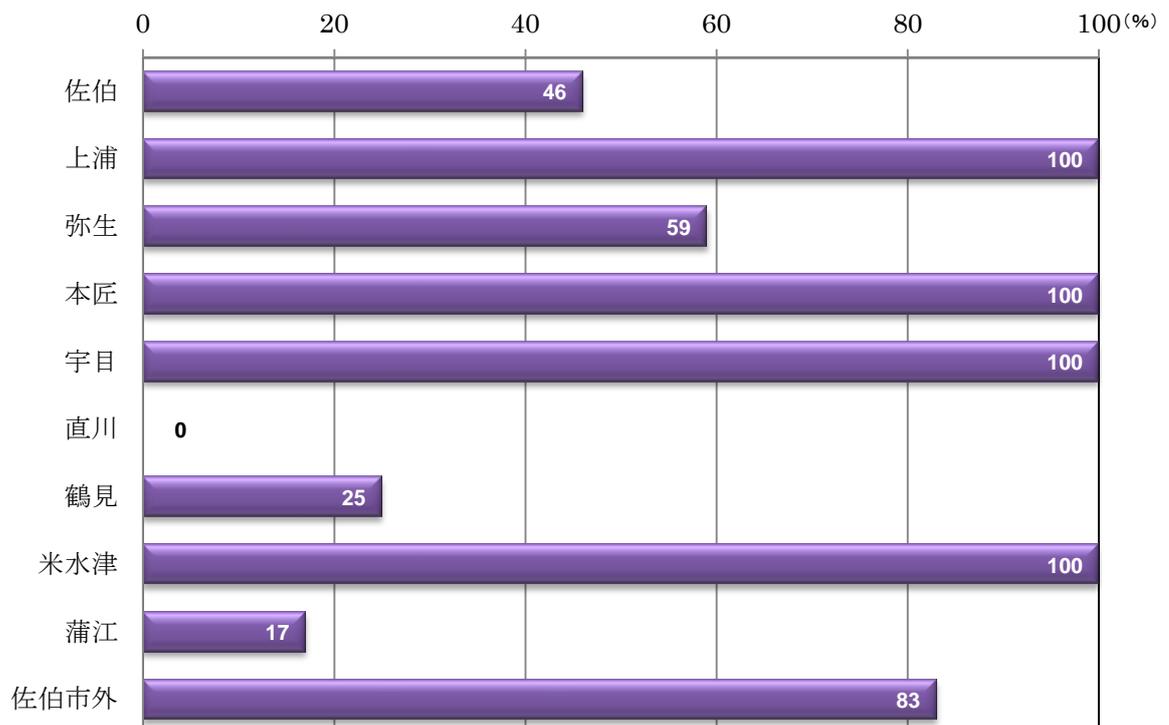
川や池、海の水のきれいさについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計約 52%（前回比 7 ポイント・前々回比 20 ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の割合（合計約 24%：前回と同率・前々回比 19 ポイント減）を上回っている。

住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「上浦」「本匠」「宇目」「米水津」が同率で最も高くなっている。

### ■ 満足度



### ■ 住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）

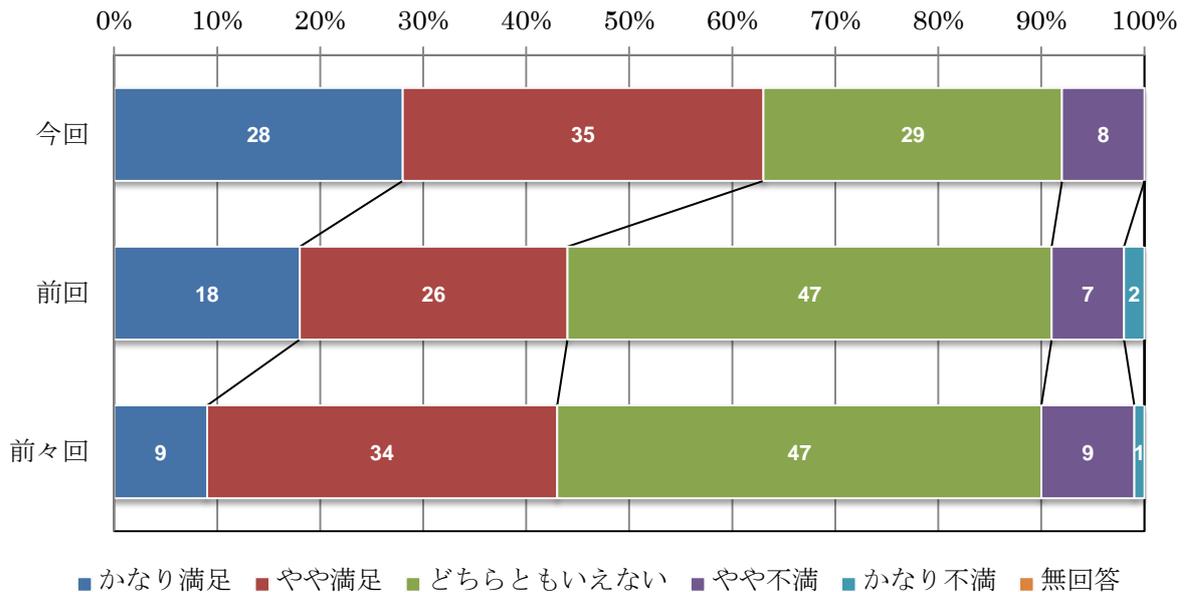


### ③ 緑（樹木、草花）とのふれあい

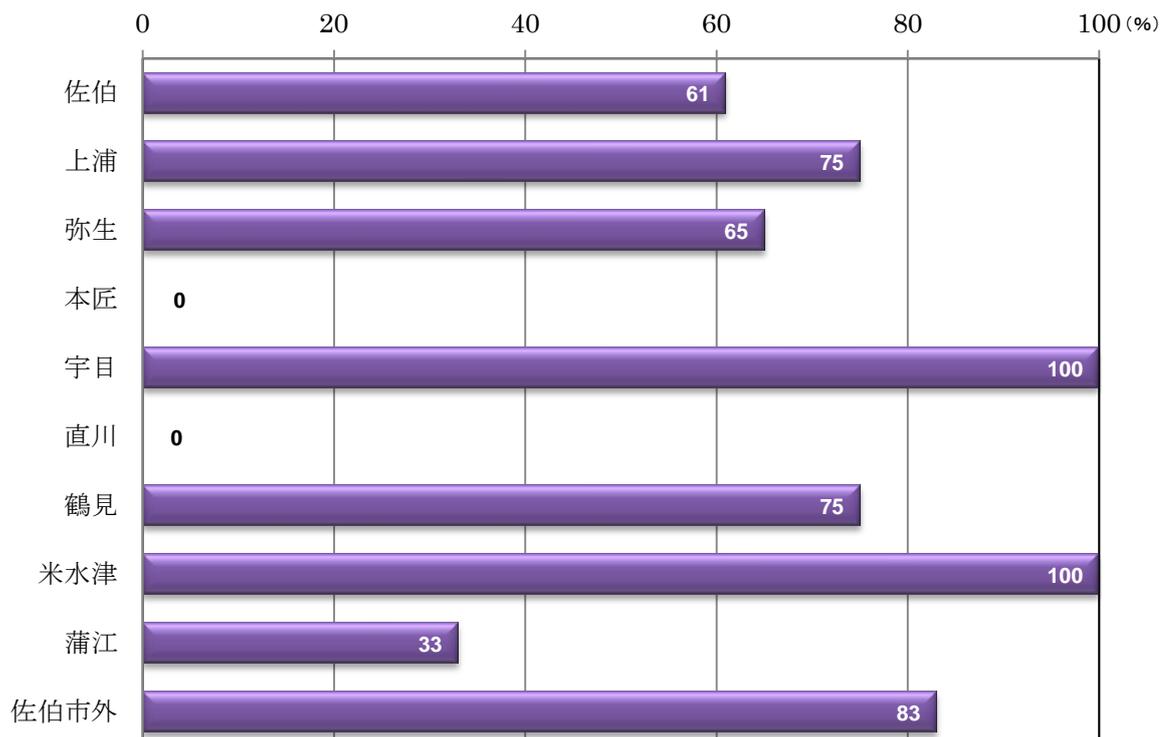
緑とのふれあいについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計約63%（前回比19ポイント・前々回比20ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の割合（合計約8%：前回比1ポイント減・前々回比2ポイント減）を上回っている。

住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「宇目」「米水津」が同率で最も高く、次いで、「佐伯市外」の順となっている。

#### ■ 満足度



#### ■ 住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）

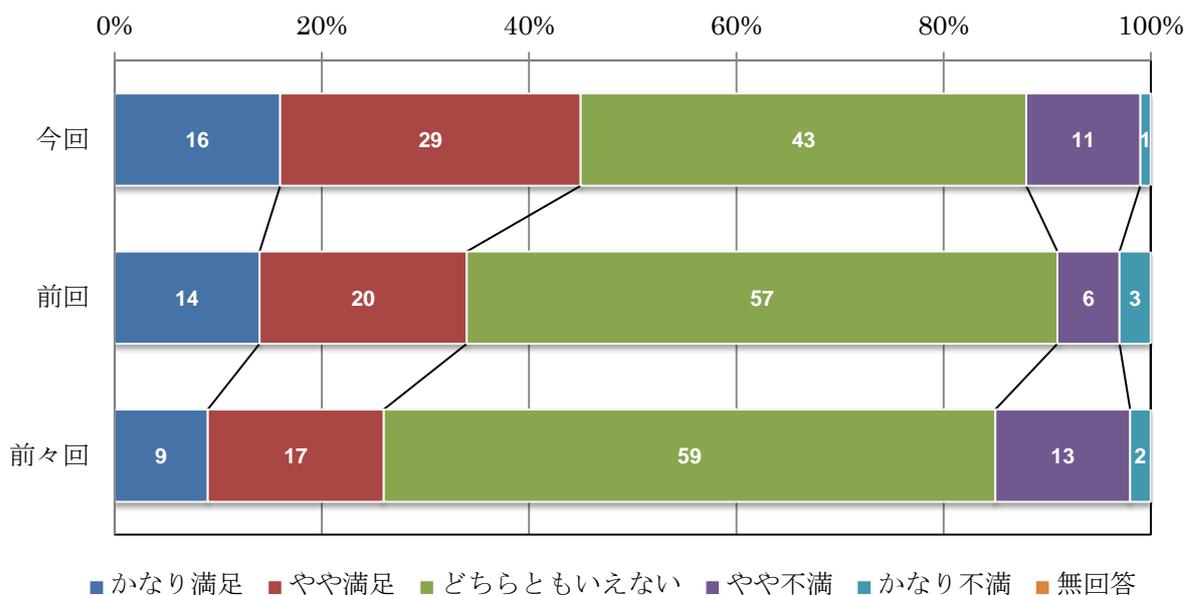


#### ④ 野鳥や昆虫とのふれあい

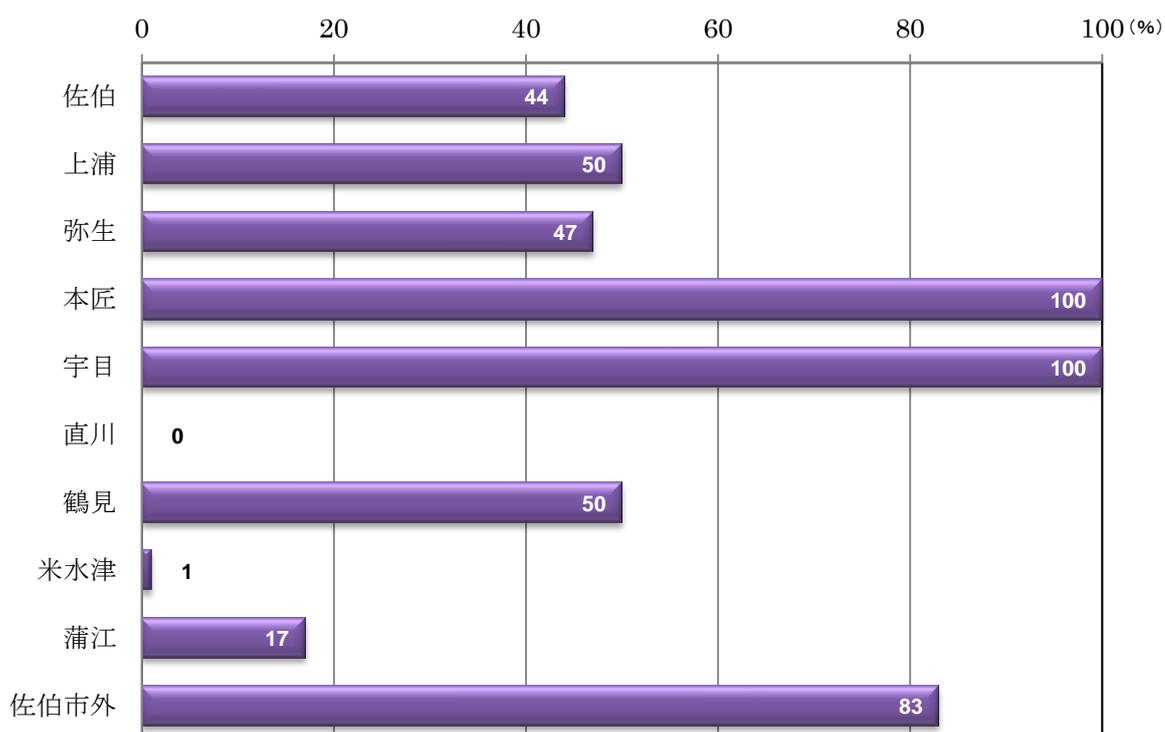
野鳥や昆虫とのふれあいについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計約45%（前回比11ポイント・前々回比19ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の割合（合計約12%：前回比3ポイント増・前々回比3ポイント減）を上回っている。

住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「本匠」「宇目」が同率で最も高く、次いで、「佐伯市外」の順となっている。

##### ■ 満足度



##### ■ 住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）

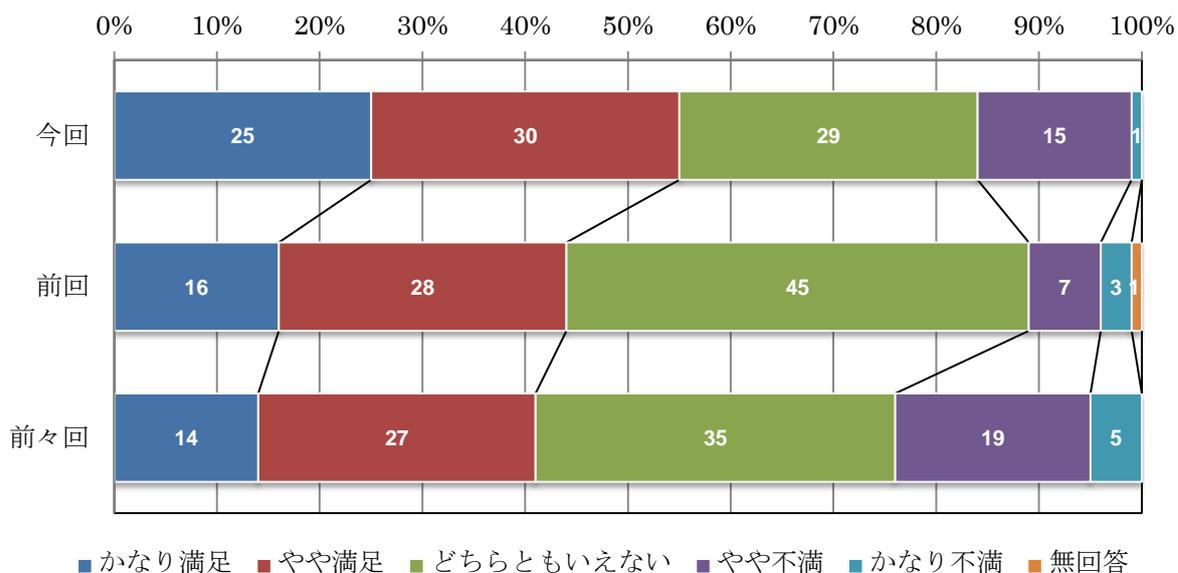


⑤ 水や水辺とのふれあい

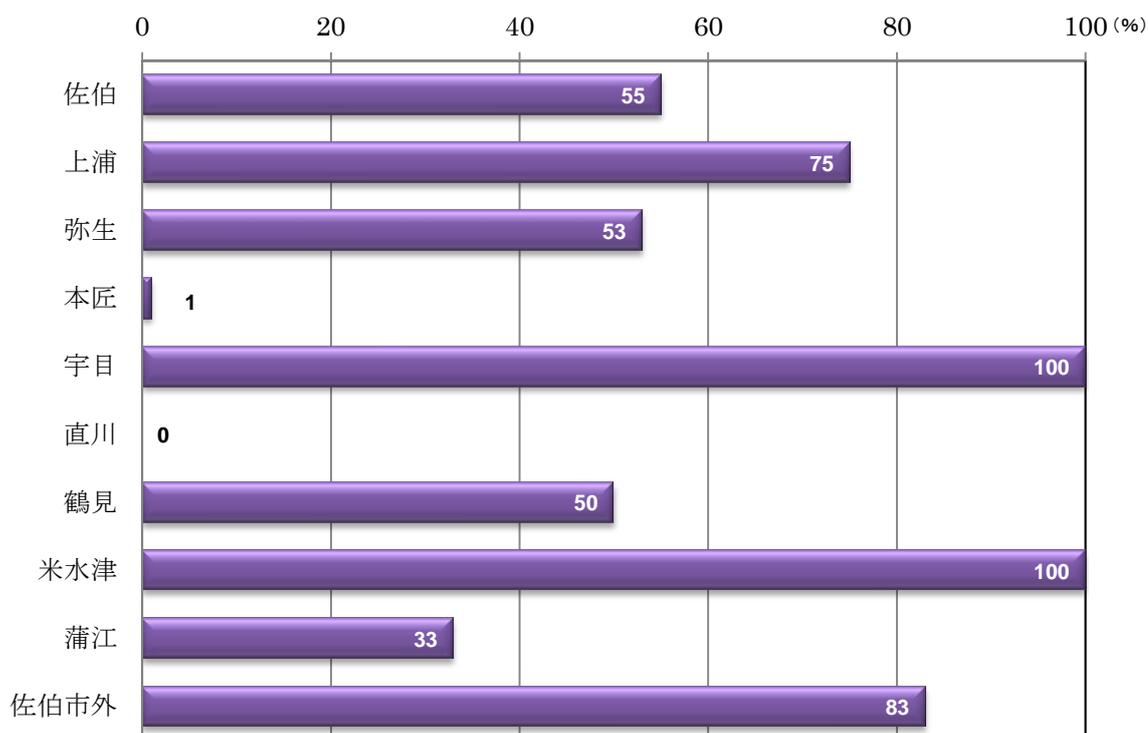
水や水辺とのふれあいについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計約 55%（前回比 11 ポイント・前々回比 14 ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の割合（合計約 16%：前回比 6 ポイント増・前々回比 8 ポイント減）を上回っている。

住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「宇目」「米水津」が同率で最も高く、次いで、「佐伯市外」の順となっている。

■ 満足度



■ 住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）

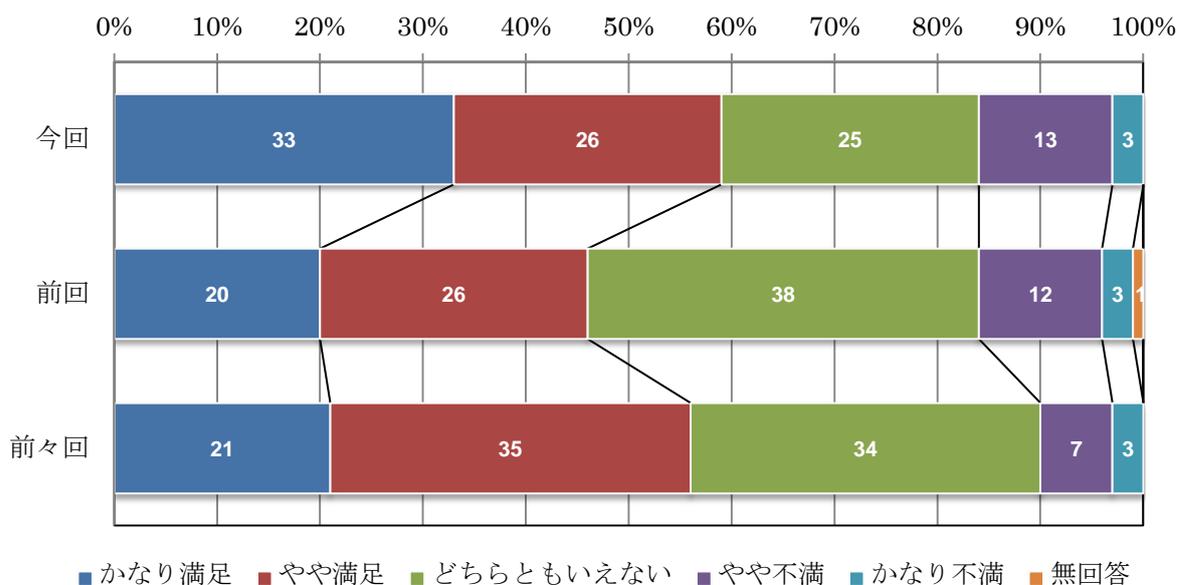


⑥ 空気のきれいさ・におい

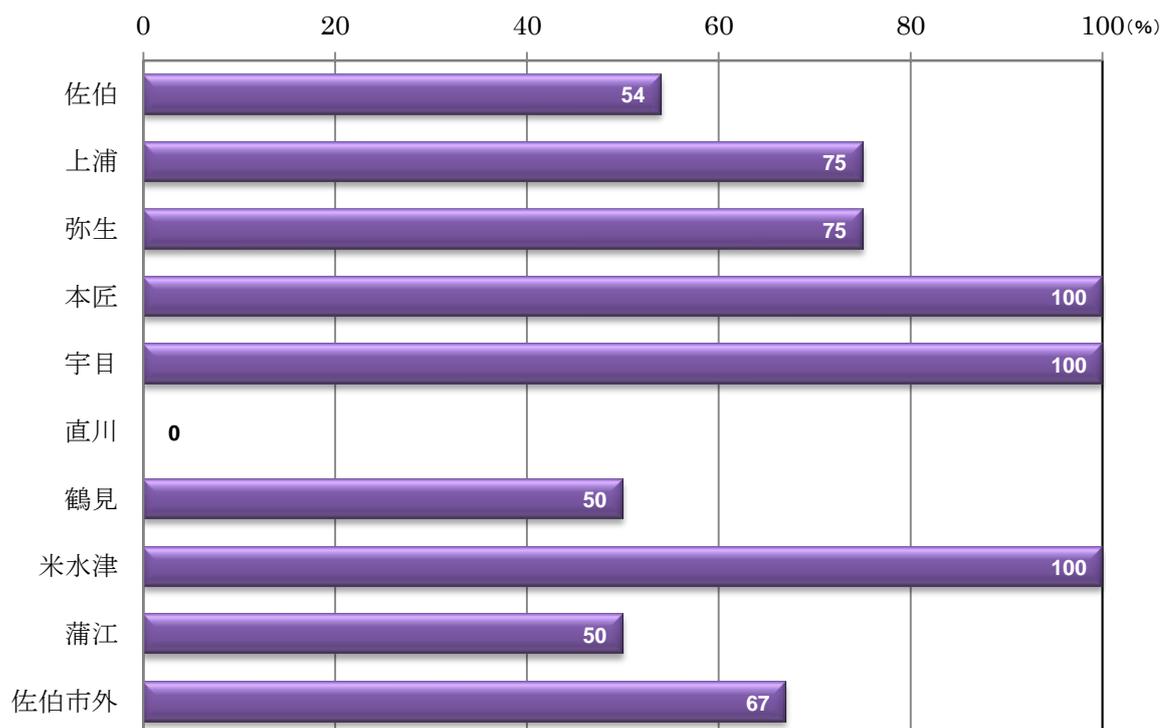
空気のきれいさ・においについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計約 59%（前回比 13 ポイント・前々回比 3 ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の割合（合計約 16%：前回比 1 ポイント・前々回比 6 ポイント増）を上回っている。

住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「本匠」「宇目」「米水津」が同率で最も高くなっている。

■ 満足



■ 住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）

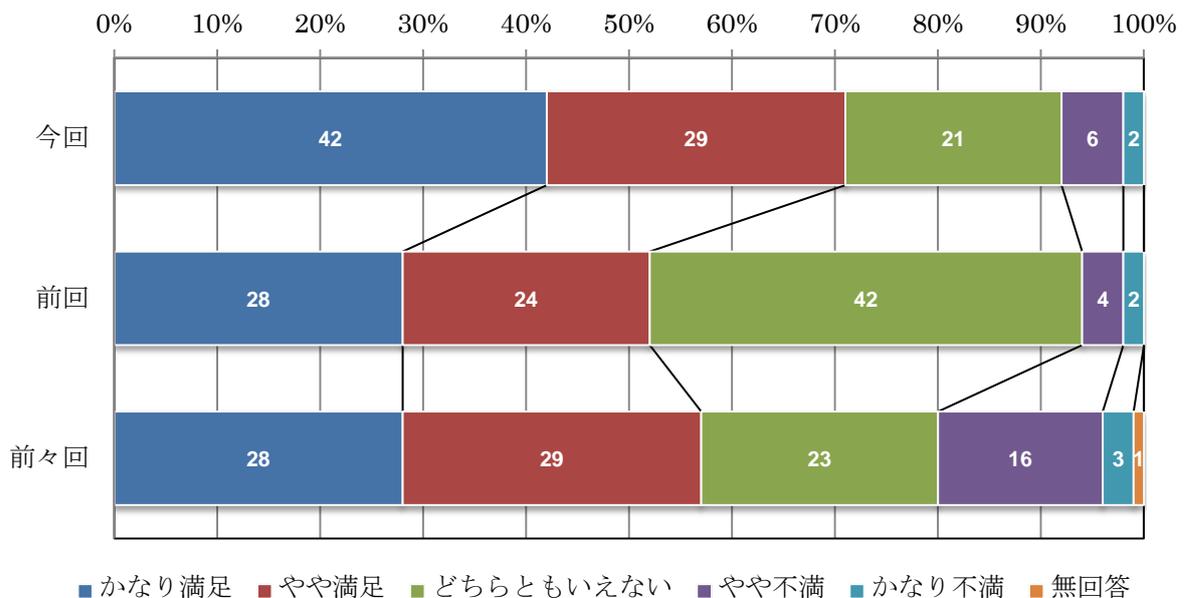


⑦ 周辺の静けさ

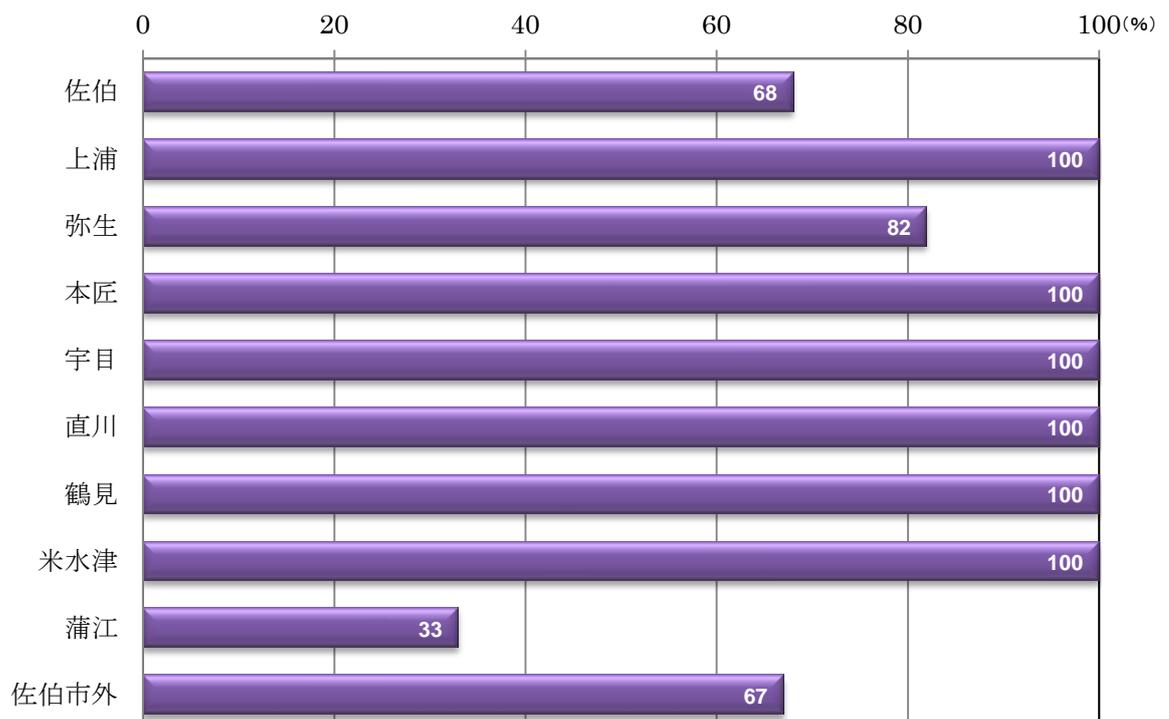
周辺の静けさについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計約71%（前回比19ポイント・前々回比14ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の割合（合計約8%：前回比2ポイント増・前々回比11ポイント減）を上回っている。

住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「上浦」「本匠」「宇目」「直川」「鶴見」「米水津」が同率で最も高くなっている。

■ 満足度



■ 住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）

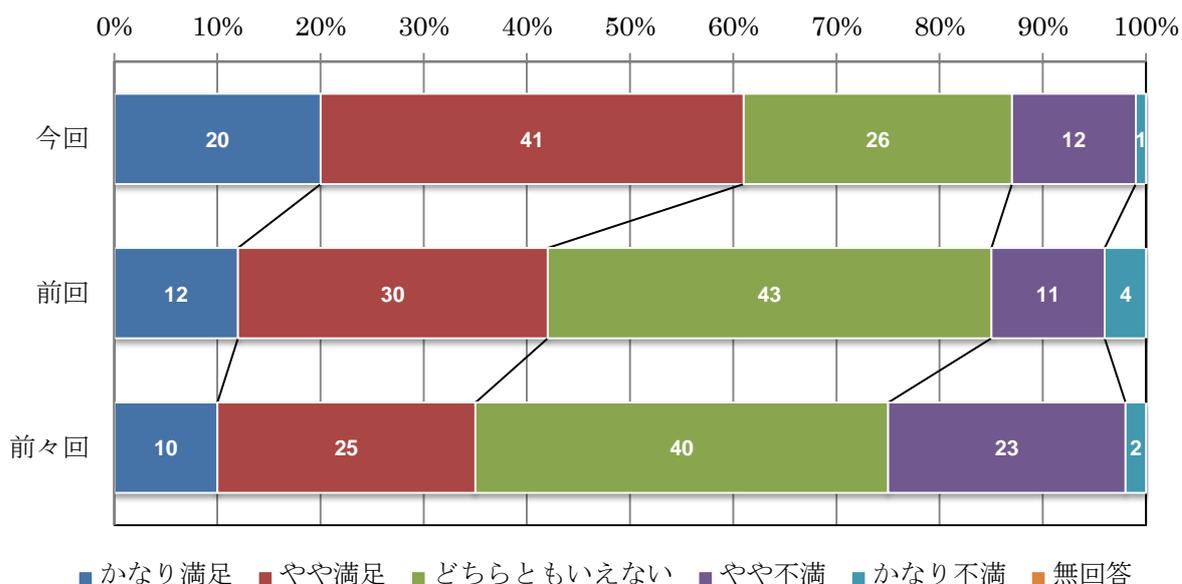


## ⑧ まちなみ景観の美しさ

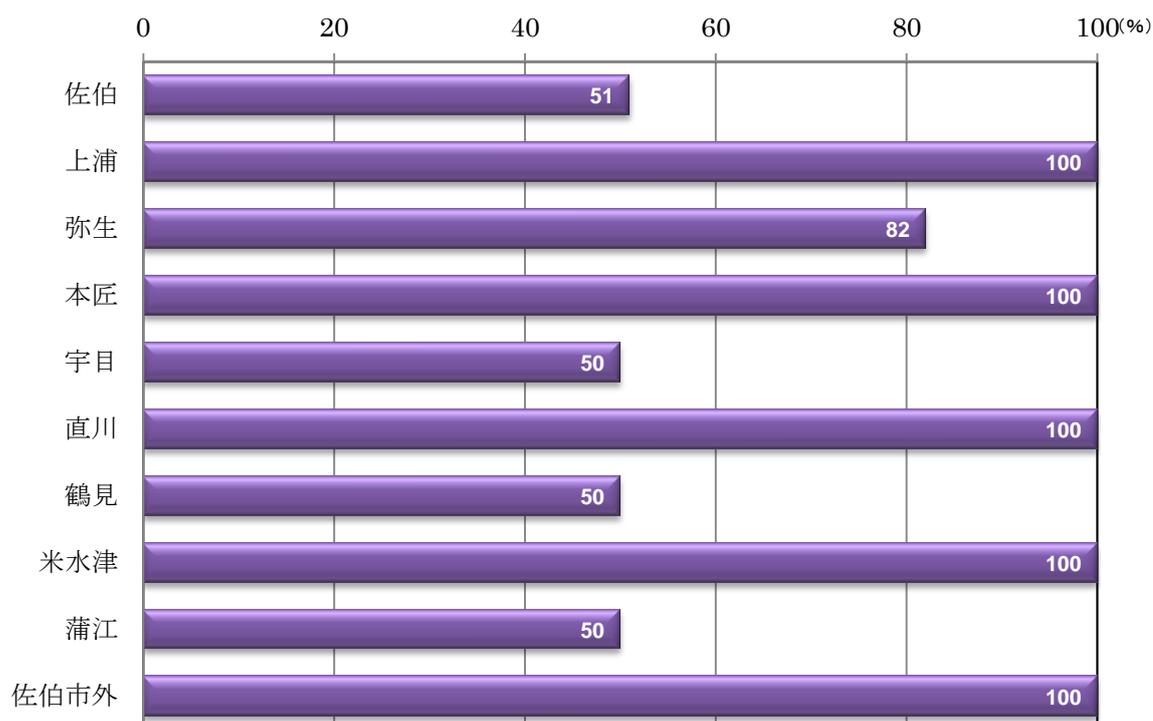
まちなみ景観の美しさについて満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計約 61%（前回比 19 ポイント・前々回比 26 ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の割合（合計約 13%：前回比 2 ポイント・前々回比 12 ポイント減）を上回っている。

住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「上浦」「本匠」「直川」「米水津」「佐伯市外」が同率で最も高くなっている。

### ■ 満足度



### ■ 住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）

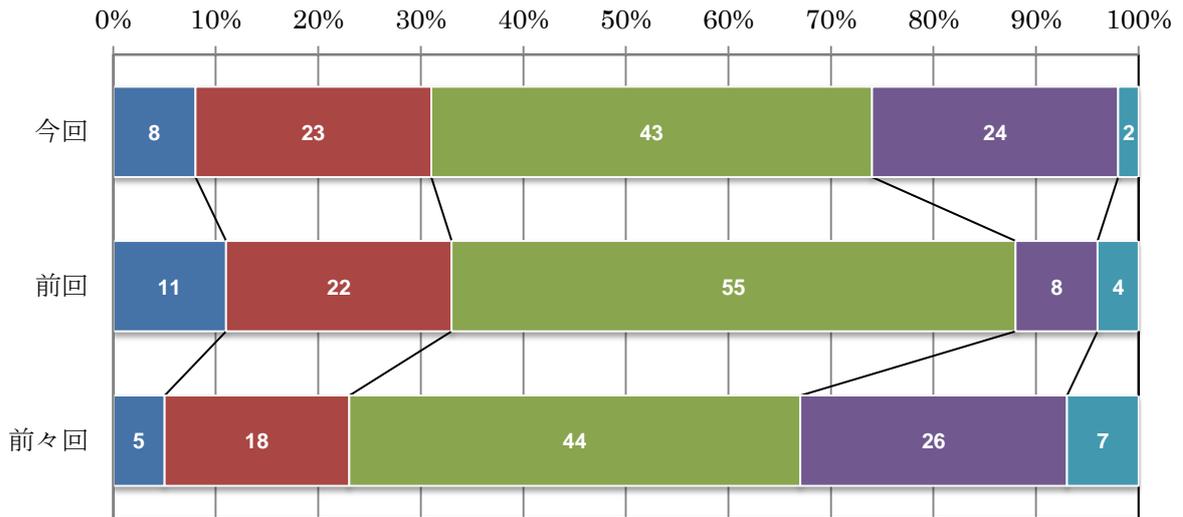


⑨ 公園や野外レクリエーション地の充実

公園や野外レクリエーション地の充実について満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計約31%（前回比2ポイント減・前々回比8ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の割合（合計約26%：前回比12ポイント増・前々回比7ポイント減）を上回っている。

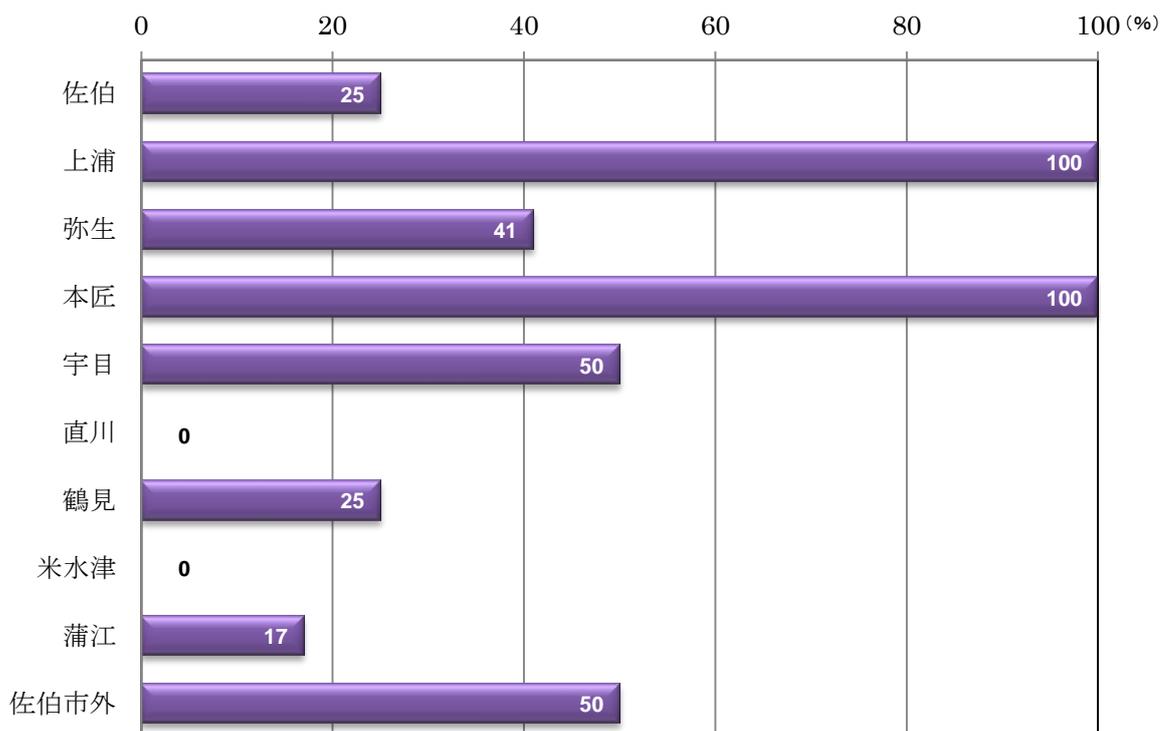
住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「上浦」「本匠」が同率で最も高く次いで、「宇目」「佐伯市外」が同率で続いている。

■ 満足度



■ かなり満足 ■ やや満足 ■ どちらともいえない ■ やや不満 ■ かなり不満 ■ 無回答

■ 住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）

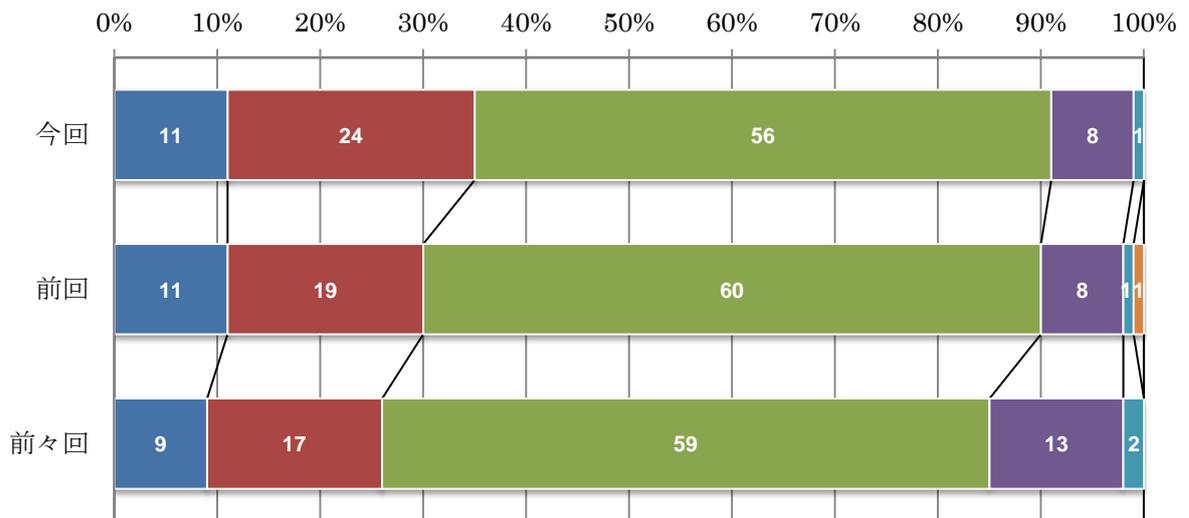


⑩ 文化財、遺跡等の保存・整備状況

文化財、遺跡等の保存・整備状況について満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計約35%（前回比5ポイント・前々回比9ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の割合（合計約9%：前回と同率・前々回比に6ポイント減）を上回っている。

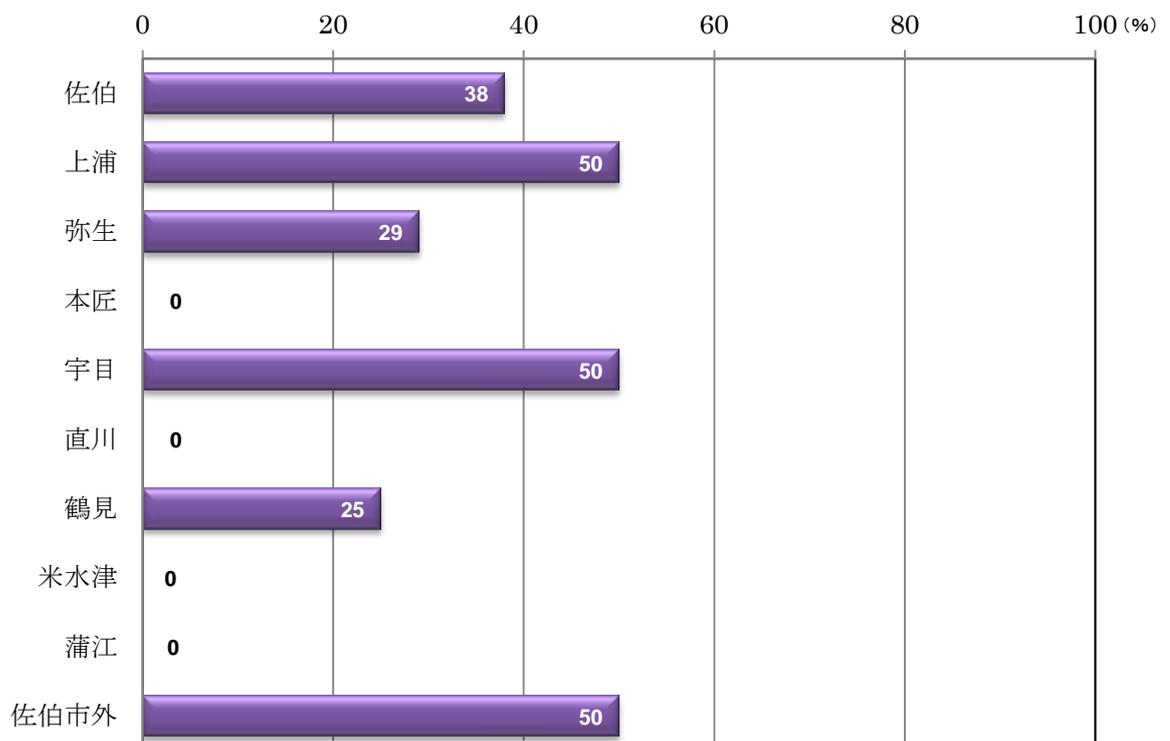
住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「上浦」「宇目」「佐伯市外」が同率で最も高くなっている。

■ 満足度



■ かなり満足 ■ やや満足 ■ どちらともいえない ■ やや不満 ■ かなり不満 ■ 無回答

■ 住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）

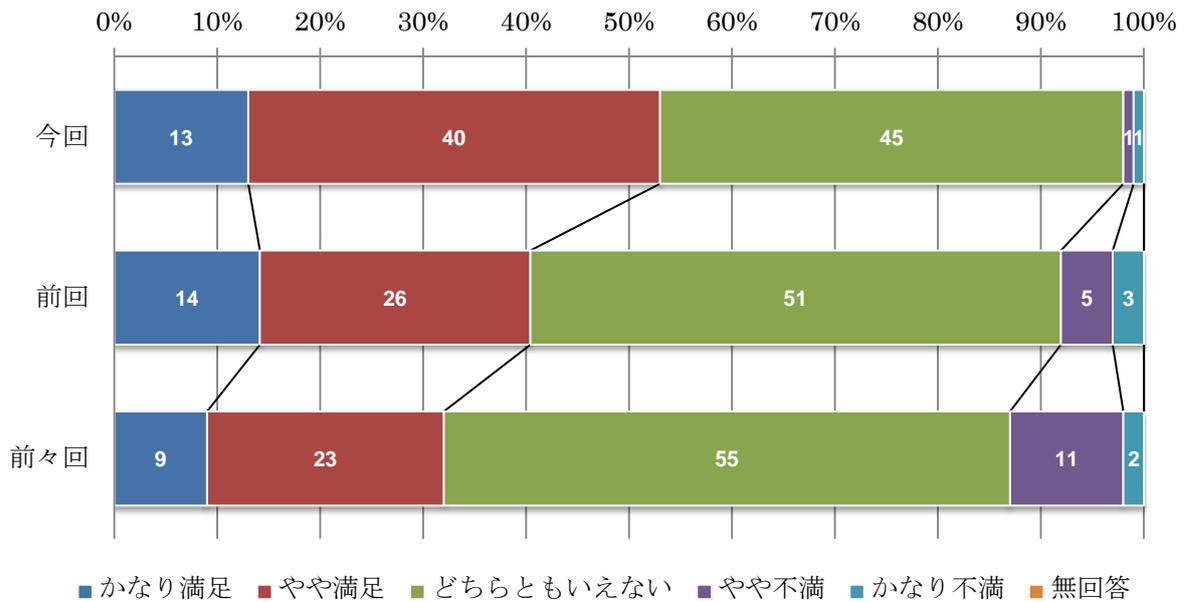


⑪ 歴史や伝統に関するまちの雰囲気

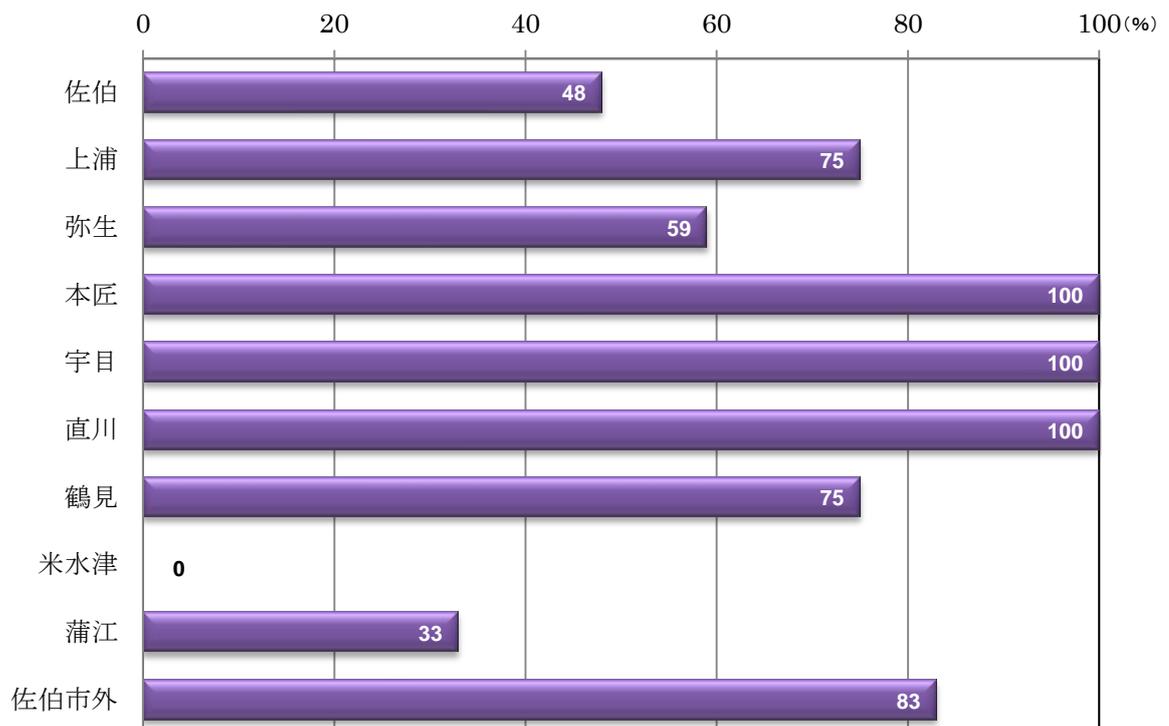
歴史や伝統に関するまちの雰囲気について満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計約 53%（前回比 13 ポイント増・前々回比 21 ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の割合（合計約 2%：前回比 6 ポイント・前々回比 11 ポイント減）を上回っている。

住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「本匠」「宇目」「直川」が同率で最も高く次いで、「佐伯市外」が続いている。

■ 満足度



■ 住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）

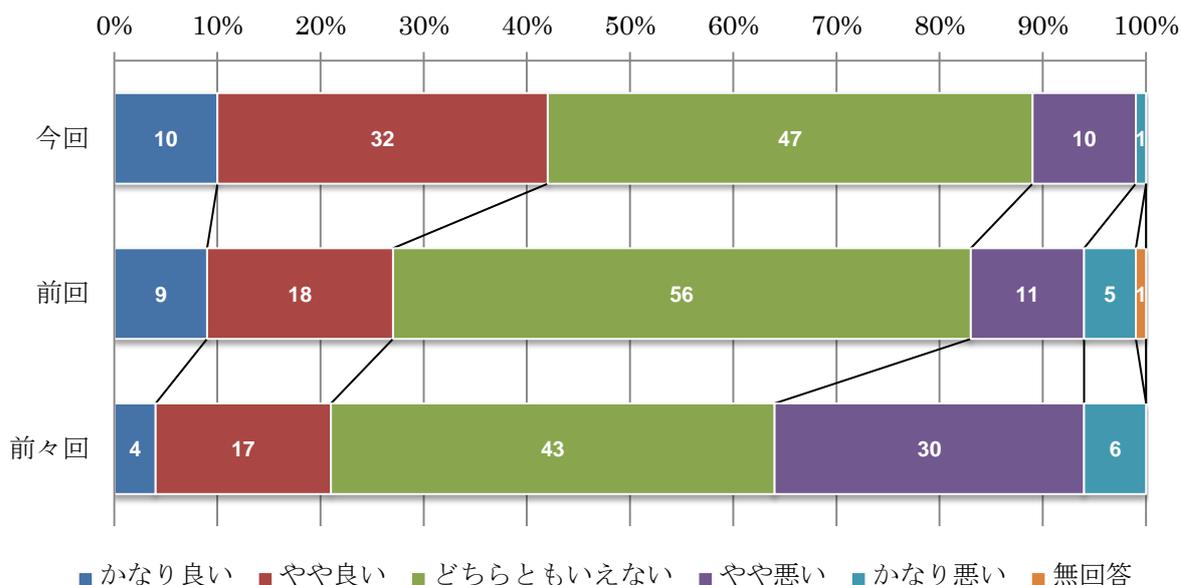


⑫ 市民の環境に関するモラル（道徳）

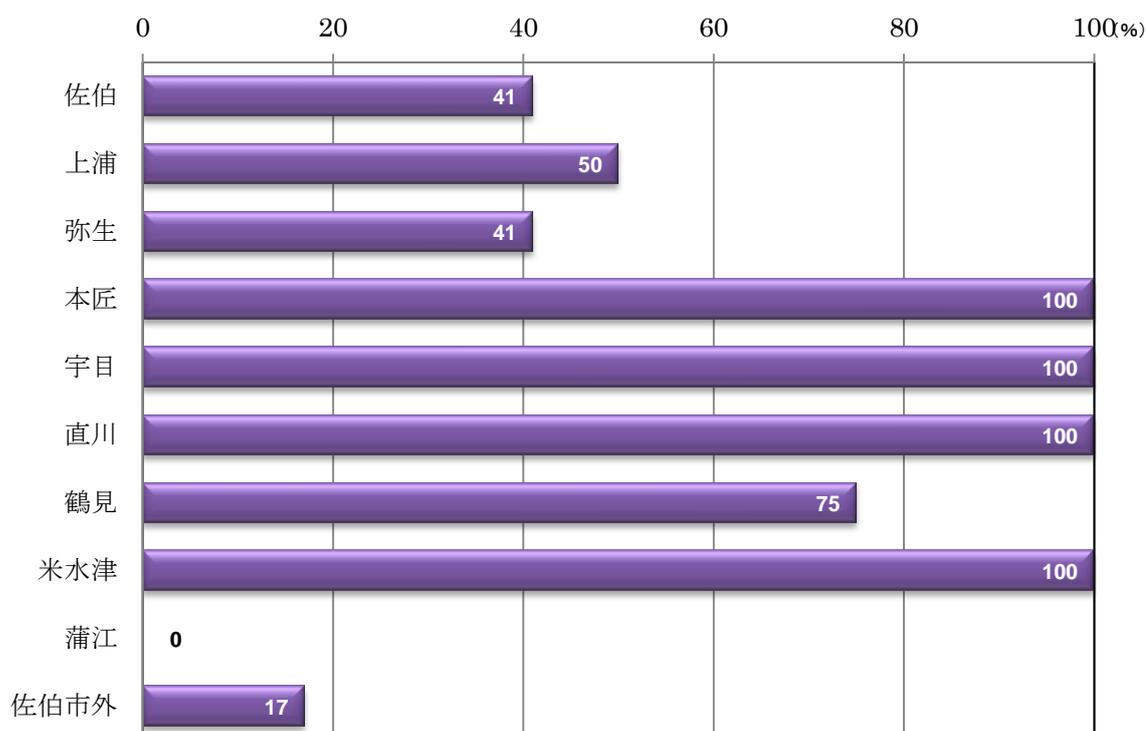
市民の環境に関するモラル（道徳）について聞いたところ、全体では「やや悪い」又は「かなり悪い」と回答した人が合計約11%（前回比5ポイント減・前々回比25ポイント減）で、「かなり良い」又は「やや良い」と回答した人の割合（合計約42%：前回比15ポイント増・前々回比21ポイント増）を上回っている。

住まい別には、「かなり良い」又は「やや良い」と回答した人の割合は、「本匠」「宇目」「直川」「米水津」が同率で最も高くなっている。

■ 満足度



■ 住まい（地区）別の満足度（「かなり良い」＋「やや良い」の割合）

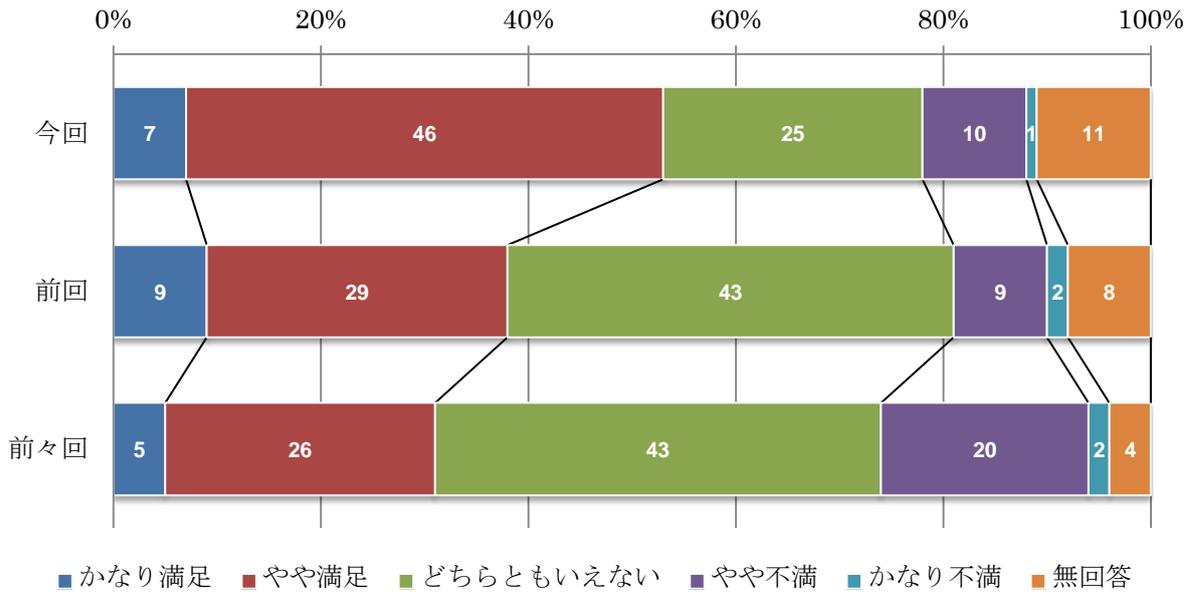


⑬ ①～⑫を総合した身近な環境全体

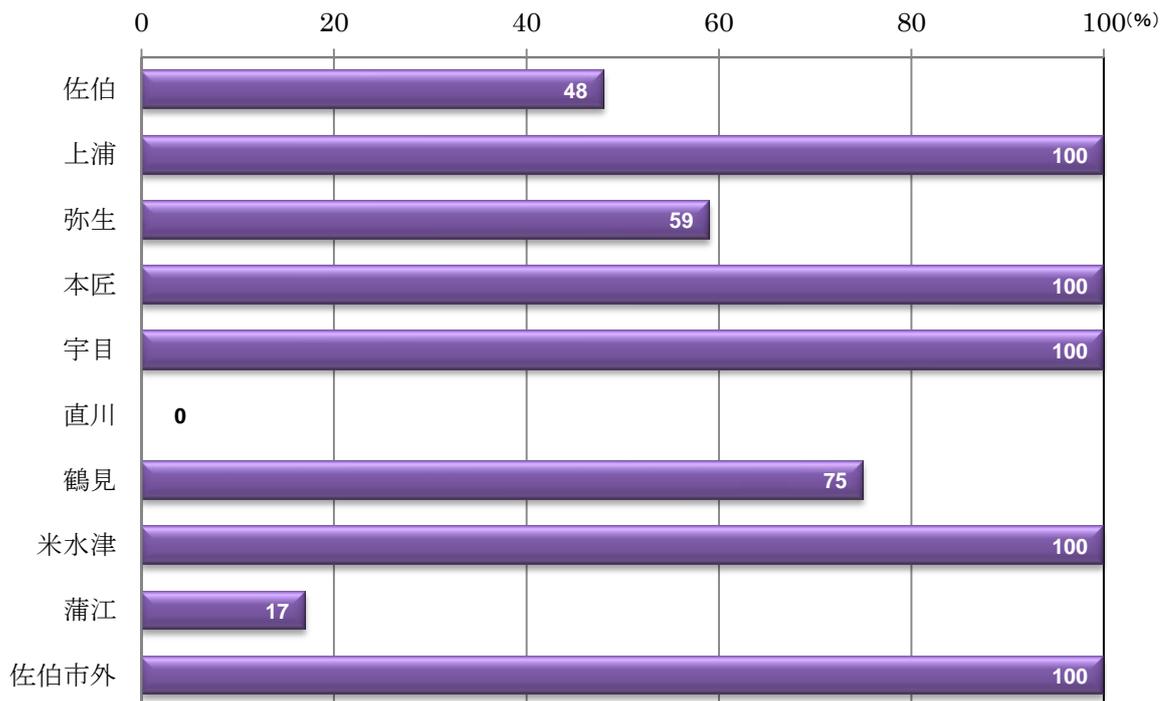
1) ～12) の満足度の結果をふまえ、総合的な環境満足度を聞いたところ、満足度は全体では「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人が合計約 53%（前回比 15 ポイント・前々回比 22 ポイント増）で、「やや不満」又は「かなり不満」と回答した人の割合（合計約 11%：前回と同率・前々回比 11 ポイント減）を上回っている。

住まい別には、「かなり満足」又は「やや満足」と回答した人の割合は、「上浦」「本匠」「宇目」「米水津」「佐伯市外」が同率で最も高くなっている。

■ 満足度



■ 住まい（地区）別の満足度（「かなり満足」＋「やや満足」の割合）

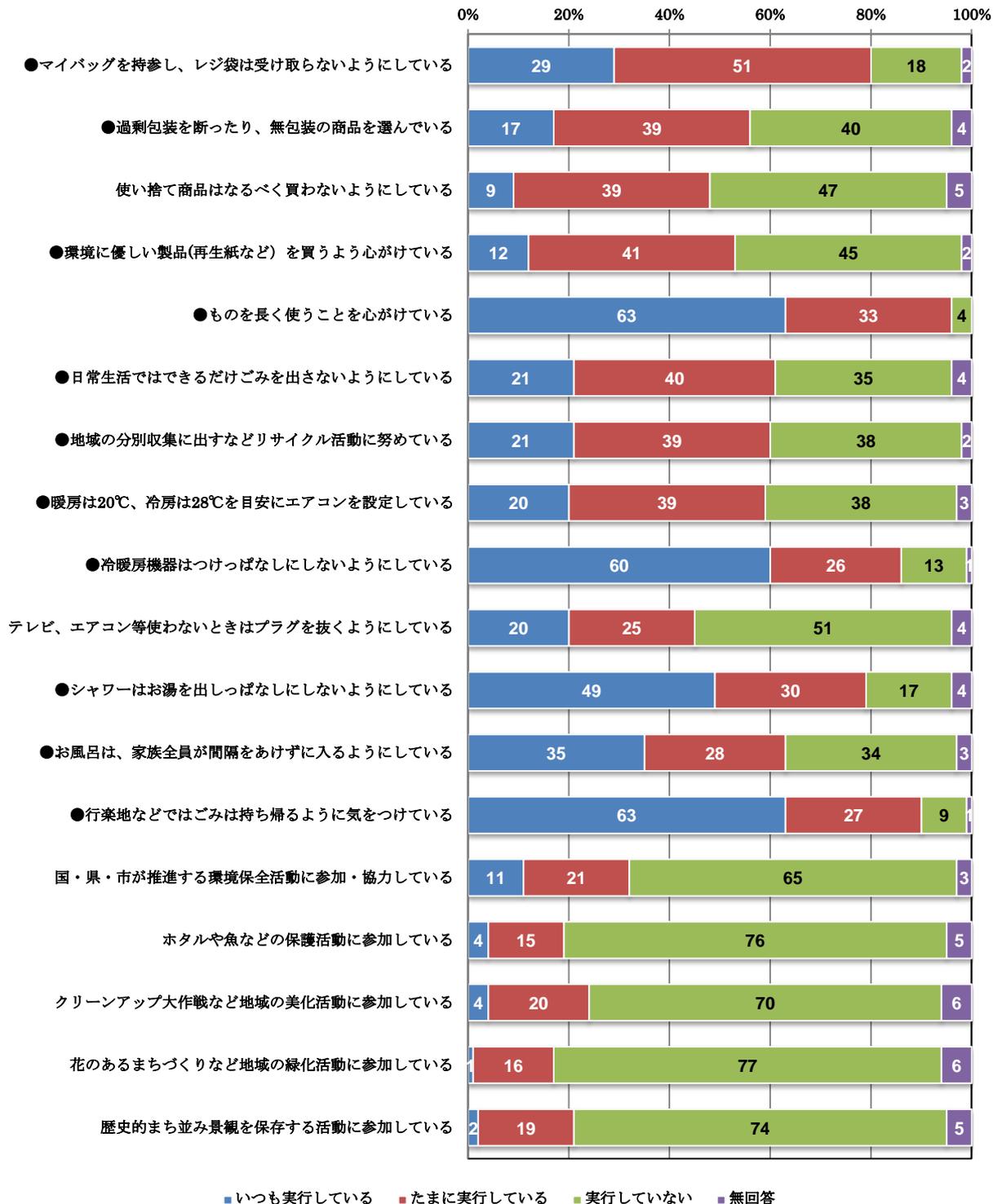


#### 4) 環境保全行動の実施状況、意向

18 項目について環境保全行動の実施状況について聞いた結果、「いつも実行している」、「たまに実行している」あわせて約 50%を超えている項目は、前回から 4 項目・前々回から 7 項目増の 11 項目となっている。実施状況が低い項目としては、地域や団体、行政と関わりの深い活動について、実施状況が低くなっている。

##### ① 現状

##### ■ 環境保全行動の実施状況

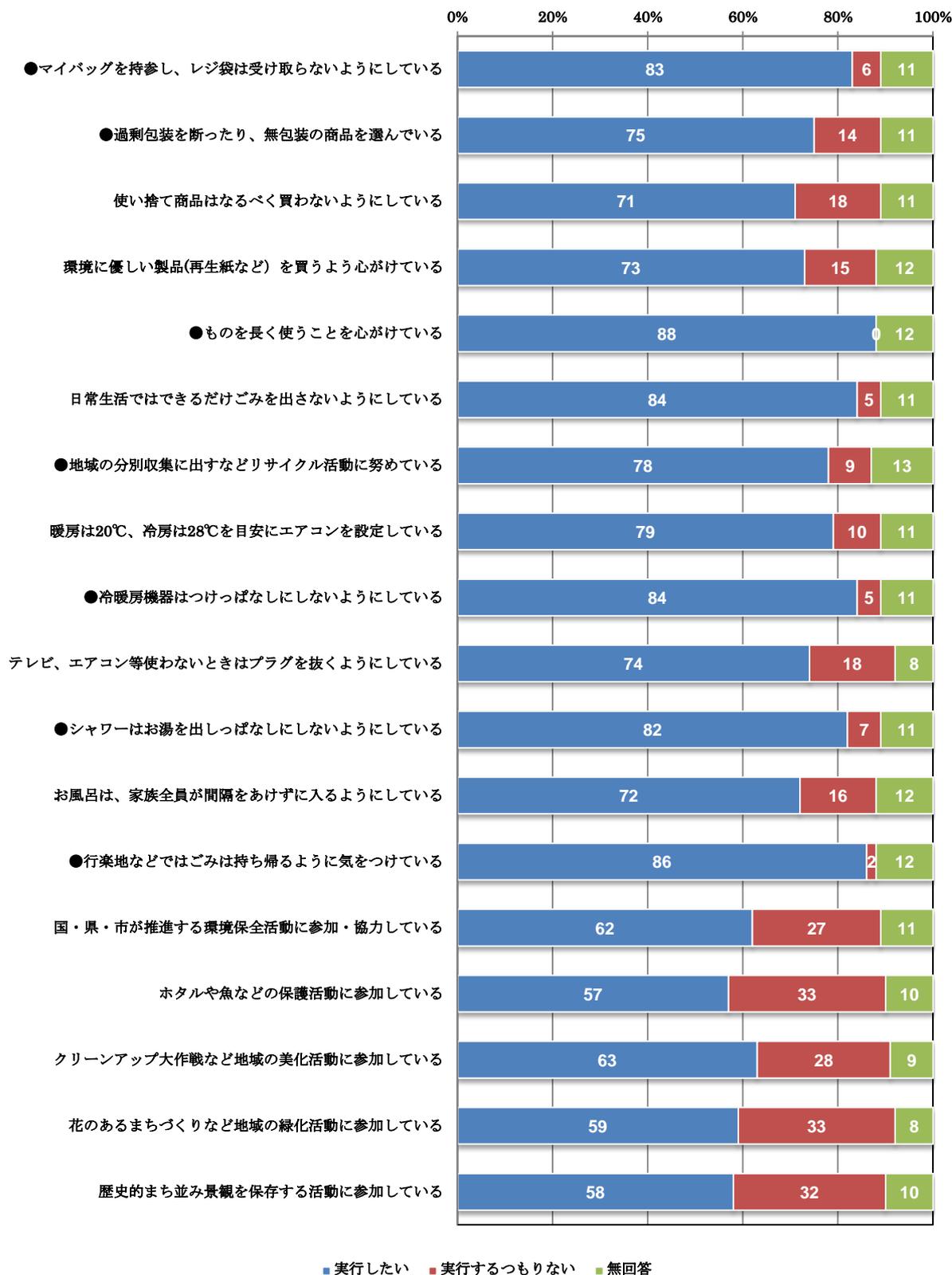


※ 「いつも実行している」「たまに実行している」合わせて約 50%を超えている項目に●をつけている。

## ② 今後

18項目について環境保全行動の今後の実施可能性について聞いた結果、全ての項目について「実行したい」と回答した人の割合が前回より多くなっている。実施状況が低かった地域や団体、行政と関わりの深い活動についても、前回は大幅に上回っている。

### ■ 環境保全行動についての今後の意向



## 5) ごみの減量意向

今後のごみの減量意向について聞いたところ、現在と比べて65.6%が削減可能と回答していて、前回より13.4ポイント・前々回より7ポイント増加している。また、平均削減率は16.8%となっていて、前回より2.6ポイント・前々回より4ポイント増加している。

市民アンケートと比較して、「現在より削減できる」と回答した人は多いが、平均削減率はやや低くなっている。

### ■ どの程度の目標なら達成できるか

(%)

区分	現在より削減できる	削減は難しい	無回答
今回	65.6	31.2	3.2
前回	52.2	37.1	10.7
前々回	58.6	37.5	3.9



### ■ 現在より何%削減できるか

区分	平均削減率(%)
今回	16.8
前回	14.2
前々回	12.8

## 6) 市の施策について

佐伯市の環境を守り、より良いものにしていくための市の施策について聞き、「特に重要」特に重要「重要」と回答している人の割合を以下に示す。全体では「ごみの減量やリサイクルの推進」を特に重要特又は重要と回答した割合が最も大きく、「生き物や森林の保全等、豊かな自然環境の保全」、「省エネルギーや資源の有効利用」、「大気汚染・水質汚濁・騒音・悪臭等の公害対策」が続いていて、前回とほぼ同じ傾向である。

市民アンケートの結果では「ごみの減量やリサイクルの推進」を特に重要特又は重要と回答した割合が大きく、「省エネルギーや資源の有効利用」、「生き物や森林等、豊かな自然環境の保全」、「大気汚染・水質汚濁・騒音・悪臭等の公害対策」が続いている。

■ 施策の重要度（地区別）：特に重要又は重要と回答した人の割合

(%)

		生き物や森林の保全等、豊かな自然環境の保全	省エネルギーや資源の有効利用	ごみの減量やリサイクルの推進	車の騒音や排気ガス等の都市交通問題	大気汚染・水質汚濁・騒音・悪臭等の公害対策	野焼き・飼い犬等のふん害・空き宅地の草刈などの対策
佐伯	今回	88.9	87.7	90.1	72.8	82.7	84.0
	前回	83.7	77.9	80.8	67.3	77.9	73.1
	前々回	86.1	84.7	87.5	77.8	86.1	63.9
上浦	今回	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	前回	-	-	-	-	-	-
	前々回	100.0	100.0	100.0	50.0	100.0	50.0
弥生	今回	100.0	94.1	82.4	88.2	94.1	70.6
	前回	83.8	72.2	83.3	72.2	77.8	83.3
	前々回	94.7	94.7	84.2	84.2	84.2	78.9
本匠	今回	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	前回	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	前々回	-	-	-	-	-	-
宇目	今回	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0
	前回	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	前々回	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	33.3
直川	今回	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	前回	50.0	0.0	100.0	50.0	0.0	50.0
	前々回	75.0	50.0	75.0	75.0	75.0	75.0
鶴見	今回	75.0	75.0	100.0	25.0	75.0	75.0
	前回	66.7	66.7	66.7	33.3	66.7	100.0
	前々回	100.0	100.0	100.0	66.7	66.7	100.0
米水津	今回	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	前回	75.0	100.0	100.0	50.0	75.0	50.0
	前々回	75.0	75.0	50.0	25.0	75.0	25.0
蒲江	今回	83.3	100.0	100.0	66.7	66.7	100.0
	前回	68.2	72.7	59.1	68.2	68.2	50.0
	前々回	100.0	81.3	100.0	68.8	68.8	43.8
佐伯市外	今回	60.0	60.0	100.0	100.0	100.0	80.0
	前回	66.7	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0
	前々回	100.0	60.0	100.0	0.0	80.0	0.0
合計	今回	89.3	88.5	90.2	75.4	84.4	82.0
	前回	79.9	74.8	78.0	66.0	74.2	69.2
	前々回	89.1	83.6	87.5	71.9	82.0	60.2

区分		学校や市民向けの環境教育の推進	環境保全運動への市民参加の推進	歴史的文化的財の保存や芸術・文化の振興	公園緑地や水辺整備等の潤いのあるまちづくり	地球温暖化や酸性雨、オゾン層破壊等の地球環境問題対策	環境保全活動団体、環境リーダーなどの育成
佐伯	今回	75.3	69.1	69.1	81.5	84.0	69.1
	前回	61.5	61.5	63.5	76.0	72.1	62.5
	前々回	61.1	45.8	52.8	79.2	81.9	51.4
上浦	今回	75.0	75.0	75.0	75.0	100.0	75.0
	前回	-	-	-	-	-	-
	前々回	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
弥生	今回	76.5	70.6	70.6	88.2	82.4	76.5
	前回	61.1	66.7	61.1	66.7	66.7	66.7
	前々回	63.2	84.2	73.7	89.5	94.7	78.9
本匠	今回	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	前回	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	前々回	-	-	-	-	-	-
宇目	今回	50.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0
	前回	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	前々回	33.3	66.7	33.3	33.3	66.7	66.7
直川	今回	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	前回	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	前々回	25.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
鶴見	今回	100.0	25.0	25.0	100.0	75.0	75.0
	前回	66.7	33.3	66.7	33.3	66.7	66.7
	前々回	100.0	100.0	66.7	66.7	100.0	33.3
米水津	今回	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	前回	50.0	50.0	50.0	75.0	75.0	50.0
	前々回	25.0	25.0	0.0	50.0	75.0	25.0
蒲江	今回	100.0	100.0	83.3	83.3	83.3	66.7
	前回	31.8	50.0	45.5	50.0	54.5	54.5
	前々回	50.0	43.8	56.3	56.3	87.5	50.0
佐伯市外	今回	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	前回	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3
	前々回	0.0	20.0	60.0	40.0	100.0	60.0
合計	今回	77.9	69.7	68.9	83.6	83.6	70.5
	前回	58.5	58.5	59.7	68.6	67.9	60.4
	前々回	56.3	52.3	55.5	73.4	84.4	55.5

## 7) 自由意見

区分	主な意見(概要)
ごみ問題 環境美化	ゴミのポイ捨てがあるので、気づいたら持ち帰る。
	ごみが落ちていたら拾う。
	タバコの吸い殻などを捨てない。
	歩行者が良く歩いている所にゴミ箱を設置する。そしたら、ポイ捨てが減るのでは・・・。
自然	道などに植えてある木が成長しすぎて通りづらい道があるので整備してほしいです。
	もっと自然な緑の景色を活用していきたい。
	これ以上、佐伯の山の緑をなくさないでほしい。
	開発と農村保全。農業環境を守るための人材育成・企画・施策の導入。地域ぐるみの農業・林業・環境整備。
交通	まずは、道路や交通整備をしてほしい。
その他	もう少し公共施設のトイレをきれいにしたら良いと思います。
	地域ごとに1年に1回全員参加で掃除をする。
	ベンチやゴミ箱を増やしてほしいです。
	海のゴミ拾い活動がしたい。
	ゴミのリサイクルや、生き物を大切にしていくことはとても重要だと思う。
	公園を増やす。
	城下町を今と変えないようにすることは大切だと思います。
	電灯の数が少なくて夜道が危ないから数を増やしてほしい。
	野良犬や野良猫が多くても保険所には連れて行かずに里親を探す努力をしてほしい。